

平成26年度

年 報



平成27年10月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

目 次

1. 保健学部門の活動	・・・・・・・・	1
2. 各分野の活動		
2-1. 分野の活動：看護学分野	・・・・・・・・	4
2-2. 分野の活動：医用量子線科学分野	・・・・・・・・	9
2-3. 分野の活動：検査技術科学分野	・・・・・・・・	14
3. 教員の活動		
3-1. 教員の活動：看護学分野	・・・・・・・・	17
3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野	・・・・・・・・	56
3-3. 教員の活動：検査技術科学分野	・・・・・・・・	82
4. 教員組織および委員会一覧	・・・・・・・・	103

1. 保健学部門の活動

❖ 保健学部門の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年4月1日	新部門長の就任	保健学部門長に大喜雅文教授が就任した。任期は平成26年4月1日から平成28年3月31日	
平成26年5月	助産学教育の大学院化	助産学教育の大学院化について、部門会議で承認した。	保健学部門会議資料 (5月7日承認)
平成26年5月	本館改修の着工	10ヶ月の工期で本館改修が始まる。工事期間中は本館に研究室のある教員、学生係は病院地区キャンパスの各所へ一時的に移動	保健学部門施設環境委員会議事録
平成26年7月	「5年目評価、10年以内組織見直し」制度の評価意見への対応報告	「5年目評価、10年以内組織見直し」制度の評価意見への対応報告をした。	保健学部門会議資料 (7月2日承認)
平成26年7月17日	次期九州大学総長候補者の決定	九州大学総長選考会議は久保千春氏を次期総長候補者として選考した。	九州大学総長選考会議議事録
平成26年10月1日	新九州大学総長の就任	久保千春氏が九州大学総長に就任した。任期は平成26年10月1日～平成32年9月30日 (再任不可)	九州大学ホームページ

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年4月7日	学部入学式	新入生141名(看護:68、放射:34、検査:35)が入学した。	学生係 資料
平成26年4月8日	大学院入学式	修士33名(看護:7、医用量子:15、検査技術:11)、博士10名(看護:7、医療技術:3)が入学した。	学生係 資料
平成26年4月19日	新入生合宿研修	新入生、2年生のリーダーと教員が福岡県立社会教育総合研修センター(糟屋郡篠栗町)にて研修を行った。	学生委員会 議事録
平成26年6月11日	就職セミナー	参加:3年生145名 会場:コラボステーション I 視聴覚ホール 福岡県若者しごとサポートセンターから講師を招き、三専攻合同での研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成26年8月25日	修士課程入学試験	34名(看護:11、医用量子:16、検査技術:7)が志願した。	学生係 資料
平成26年9月19日	博士後期課程入学試験	15名(看護:8、医療技術:7)が志願した。	学生係 資料
平成26年9月25日	秋季学位記授与式	修士1名(医用量子:1) 博士1名(医療技術[看護]:1)	保健学専攻 学年暦
平成26年10月	博士後期課程保健学国際コース学生 10月入学	3名(医用量子:3)が入学した。	保健学専攻 学年暦
平成27年1月9日	修士課程助産学コース入学試験	5名が志願した。	学生係 資料
平成27年1月17日、18日	大学入試センター試験		保健学科 学年暦

平成27年1月31日	入学者選抜個別学力検査(AOⅡ)	76名(看護:42、放射:15、検査:19)が志願した。	学生係 資料
平成27年2月18日	就職セミナー	参加:3年生71名(放射34名、検査37名) 会場:総合研究棟105セミナー室 インターナショナル・エアアカデミーから講師を招き、就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
平成27年2月25日、26日	入学者選抜個別学力検査(前期日程)	271名(看護:120、放射:71、検査:80)が志願した。 保健学科本館改修工事のため、伊都キャンパスで実施した。	学生係 資料
平成27年3月25日	卒業式・学位記授与式	学士139名(看護:68、放射:35、検査:36) 修士29名(看護:6、医用量子:14、検査:9) 博士9名(看護:4、医療技術:5)	保健学科 学年暦 保健学専攻 学年暦

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年11月21日	第9回 九州大学保健学国際フォーラム	会場:医学部百年講堂 講演会:「保健医療福祉のグローバル化と日本社会」 平野裕子先生(長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 教授)	第9回九州大学保健学国際フォーラム報告書,2014

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年6月21日	大学院進学説明会	保健学専攻大学院受験希望者を対象に大学院の概要についての説明会を開催した。 参加者:修士課程希望者30名、博士後期課程希望者10名 会場:総合研究棟105およびサイエンスカフェ	保健学部門会議議事録 入試実施委員会議事録
平成26年8月4日	オープンキャンパス	保健学科の受験を考えている高校生ならびに一般の方を対象にオープンキャンパスを開催した。 参加者:1065名 全体説明会:百年講堂 専攻別企画:本館改修中のため総合研究棟で展示	学生委員会議事録
平成26年9月13日	第12回保健学公開講座	会場:百年講堂中ホール 1.「医療における放射線-その貢献と安全性を考える-」豊福不可依教授 2.「尿から見えるあなたの健康-今日も元気なおしっこ出てますか?-」外園栄作講師 3.「男性と女性:SexとGenderに深く関与する健康問題-あなたの人生を振り返って-」谷口初美教授 受講者:92名(一般参加者68名、本学教員:24名)	保健学公開講座プログラム アンケート資料
平成26年7月8日 平成26年10月10日	高校への出前講義	明善高校(吉田助教) 東筑高校(藤田教授)	
平成27年3月11日	「実践能力強化型チーム医療加速プログラム」キックオフシンポジウムの開催	会場:コラボステーションI 2階視聴覚ホール 医療従事者を対象に九州大学総長、九州大病院長、医療技術部長、放射線部技師長、検査部技師長、筑波大学教員等の参加の下で取組開始にあたってのキックオフシンポジウムを実施した。	キックオフシンポジウムのポスターならびにプログラム

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年7月28日	文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」の採択	医用量子線科学分野と検査技術科学分野が申請した「実践能力強化型チーム医療加速プログラム」が採択された。取組2の生体機能診断支援領域は1件につき2500万円/年、最大5年間。（申請件数:17件中選定件数2件） 実施責任者：杜下淳次教授 平成26年度経費：2500万円	「実践能力強化型チーム医療加速プログラム」パンフレットならびにホームページ
平成26年8月6日	平成26年度九州大学教育の質向上支援プログラム(EEP)の採択	保健学部門の「教育力セルフマネジメントプログラムの構築」が九州大学EEPに採択された。 実施責任者：大池美也子教授 平成26年度経費：150万円	九州大学教育の質向上支援プログラム(EEP)報告
平成26年10月	平成27年度大学改革活性化制度改革計画の申請について	内部組織の新設改変等に係る計画書として、「保健学ヘルスケア研究センターの新設」改革計画書を提出した。	保健学部門会議資料
平成27年1月16日	スーパーグローバル大学(SGU)創成支援(SHARE-Q)に係る事業計画の採択	看護学分野と医用量子線科学分野が申請したSGU創成支援事業が採択された。 平成26年度経費：3,298,200円	九州大学スーパーグローバル大学創成支援(SHARE-Q)報告

6. 主な人事異動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年4月1日	藤田 君支（看護・教授）	採用（佐賀大学・教授より）	
平成27年3月31日	豊福 不可依（量子・教授）	定年退職（退職後の就職先なし）	
平成27年3月31日	梅村 創（検査・教授）	定年退職（高邦会高木病院・検査部長／国際医療福祉大学・教授へ）	
平成27年3月31日	熊澤 誠志（量子・講師）	退職（北海道科学大学・教授へ）	

7. 大型設備・機器の整備

年月日	分野	物品・事項	資料
平成26年11月	放射	教育用採血・静注シミュレータ、血圧トレーナー（京都科学）の導入 ／実践能力強化型チーム医療加速プログラム	「実践能力強化型チーム医療加速プログラム」実施報告者
平成27年3月	看護	教育用ICT学習システム（システムラボラトリー）の整備／建物新営	

2. 各分野の活動

◆ 看護学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年4月23日 平成26年5月28日 平成26年6月23日 平成26年7月7日 平成26年7月23日 平成26年9月25日 平成26年10月15日 平成26年11月19日 平成26年12月17日 平成27年1月21日 平成27年2月18日	看護学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

2. 教育活動 1) 学生・教員

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年4月7日	学部生(第12期)の入学	担任: 谷口初美教授、野口ゆかり講師、木下由美子助教、梶原弘平助教	分野会議議事録
平成27年2月19日	看護学分野FD	「看護学教育課程のカリキュラム再考」をテーマに、「学士課程における人材育成と基本方針と到達目標について」中尾分野長より、「看護教育におけるFDマザーマップの活用について」小野教授より講演を頂いた。またその後、平成28年度入学者を想定したカリキュラム案について参加教員でグループワークを行い、討議、発表を行った。(参加者29名)	平成26年度看護学分野FD報告書

2. 教育活動 2) 実習関係

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年 第1回4/18 第2回5/12 第3回6/9 第4回7/14 第5回9/29 第6回10/29 第7回11/26 第8回12/15 第9回1/28 第10回2/23 第11回3/31	実習委員会	各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する検討会を開催した。	実習委員会議事録
平成26年 通年	臨地実習に関する説明会 (九大病院以外)	老年、精神、在宅、地域、助産領域の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項
平成26年4-7月	総合実習に関する実習説明会	看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項
平成26年5月29日	福岡県地域看護実習連絡協議会	保健師課程を置く県内大学等が、地域看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、協議会に出席した。	福岡県地域看護実習連絡協議会議事録

平成26年6月13日	九州大学病院実習連絡会	九州大学病院における臨地実習を円滑かつ適性に実施するため、看護部および各部署の看護管理者および実習指導者に説明会を行った。	実習連絡会議議事録
平成26年9月1日	福岡県地域看護実習連絡協議会/福岡市連絡会	保健師課程を置く県内大学等が、地域看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、福岡市への依頼・協議を行った。	福岡県地域看護実習連絡協議会議事録
平成26年10月15日	福岡県地域看護実習連絡協議会/筑紫ブロック/保健所連絡会	保健師課程を置く県内大学等が、地域看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、筑紫保健所および管内市町への依頼・協議を行った。	福岡県地域看護実習連絡協議会議事録
平成26年12月11日	在宅看護学実習指導者連絡会議	看護学専攻3年生～4年生の在宅看護学実習に関して、実習施設(訪問看護ステーション)の実習指導者に説明を行った。	実習指導者連絡会議議事録
平成26年10月27日	福岡県・福岡県地域看護実習協議会合同研修会	平成27年度の福岡県における公衆衛生看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、県内市町村・保健所と大学で実習内容を検討する研修会に出席した。	福岡県地域看護実習ワーキング議事録

2. 教育活動 3) 選抜試験

平成27年3月2日 (海外研修学生のみ 2月24日)	保健師課程選抜試験	看護学専攻2年生の保健師選択課程志願者について、筆記試験(小論文)と面接試験を行った。	分野会議議事録
平成27年3月3日	助産師課程選抜試験	看護学専攻2年生の助産師選択課程志願者について、各自のテーマに沿ったプレゼンテーションと面接試験を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 4) 研究発表会

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年9月18日	修士課程 看護学特別研究の中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録
平成26年9月18日	博士後期課程特別研究の中間発表	博士後期課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表会を行った。	分野会議議事録
平成26年10-11月	講座卒業研究中間発表会	看護学専攻4年生が、各講座において、卒業研究の中間発表会を行った。	講座会議議事録
平成26年12月8日	卒業研究発表会	医学部保健学科看護学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	卒業研究抄録集

2. 教育活動 5) 国家試験

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年 4回/年	国家試験学内模擬試験(看護師、保健師)	4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	分野会議議事録
平成27年1月	助産師国家試験学内模擬試験	医学部保健学科看護学専攻4年生助産師教育課程選択学生を対象に助産師国家試験の学内模擬試験を行った。	模擬試験資料
平成27年2月	第104回看護師国家試験、第101回保健師国家試験、第98回助産師国家試験	3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国家試97%、保健師国家試験100%、助産師国家試験100%の合格率だった。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年10月27日-31日	中国 台湾・高雄市 高雄医学大学	部局間協定を結んだ高雄医科大学看護学分野とco-teaching programとして、藤田君枝教授、瀧田裕子准教授が交流のために台湾高雄医科大学を訪問した。	分野会議議事録 報告書
平成26年11月21日	第9回九州大学保健 学国際フォーラム	・国際フォーラムにおいて台湾高雄医学大学から演者 Dr. Li-Min Wuと2名の看護学生を招聘し、講演、意見交換の交流を行なった。 ・Student Meetingでは高雄医学大学看護学生と本学部2年生の看護学生とプレゼンテーションと意見交換を行なった。	国際フォーラム資料
平成26年11月22日	台湾・高雄医学大学 看護学部と国際交流	・本学部看護2年生が計画を立案し、台湾高雄医学大学看護学部のDr. Li-Min Wuと2名の学生を看護学専攻2年生学生数名と教師数名で福岡市内に案内し歴史、文化を交えた国際交流を実践した。	国際フォーラム資料
平成27年1月21日-2月8日	台湾・高雄医学大学 看護学部と国際交流	部局間協定を結んだ高雄医科大学看護学分野とStudent Meeting Exchange programによる交流として、Dr.Chen Lih-mihと学生9名が来学し、九州大学病院、地域行政等で見学実習や講義の参加や、看護学専攻2年生とのプレゼンテーションや意見交換等の国際交流を行った。	分野会議議事録 報告書
平成27年2月16日、17日	タイ・マヒドン大学との 学生間、教員間の学 術交流推進	Super Global University創生支援学術交流プログラム開発事業における交流推進を目的として、①交流プログラム創設に向けた(内容、実施における前提条件等)の検討、②マヒドン大学の教育事情(教育内容、学生生活)について現地にて意見交換等を行った。(谷口初美教授・原田博子准教授・前野有佳里講師)	平成26年度看護学 分野の国際交流報 告書
平成27年3月17日-21日	オーストラリア・モナ シュ大学	Super Global University創生支援学術交流プログラム開発事業における部局間協定設立準備と留学生確保の大学案内を目的として、①交流プログラム創設に向けた内容や実施における前提条件等の検討、②モナシュ大学の教育事情(主に教育環境や教育内容等)について現地にて意見交換等を行った。(中尾久子分野長・鳩野洋子教授・寺岡佐和講師)	平成26年度看護学 分野の国際交流報 告書
平成27年3月19日-21日	アメリカ合衆国・ハワイ 大学	Super Global University創生支援学術交流プログラム開発事業における学術・学生間国際交流推進を目的として、①交流プログラムの内容、実施における前提条件等の検討、②ハワイ大学のシミュレーション教育および学生生活の実態把握、③ハワイ大学周辺の医療施設環境の把握を現地にて実施した。(谷口初美教授・樗木晶子教授・藤田君枝教授・能登裕子講師)	平成26年度看護学 分野の国際交流報 告書
平成27年3月26日-29日	中国 台湾・高雄市 高雄医学大学	部局間協定を結んだ高雄医科大学看護学分野とStudent Meeting Exchange programによる交流、およびSuper Global University創生支援学術交流プログラム開発事業における学術・学生間国際交流推進を目的として、大喜雅文部門長、加来恒壽教授、末次美子助教、梶原弘平助教、看護学専攻2年生4名が交流のために台湾高雄医科大学を訪問した。	分野会議議事録、 出張報告書

4. 社会連携 1)人材育成

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年度	九州大学病院の看護研究コース指導	看護教員が大学病院看護職員の研究指導を実施し、学会発表を目指し活動をしている。	看護研究コース資料
平成26年9月2日	京都大学医学部附属病院看護部実習指導者研修	「学生理解」に関する臨床指導者のためのセミナー・ワークショップを行なった	京都大学病院指導者研修資料
平成26年10月19日	第54回医学教育セミナーとワークショップ	学生の心をつかむ臨床指導～1分間指導法Get！を臨床指導者のために行なった。	第54回医学教育セミナーとワークショップ報告書
平成26年12月20日	熊本県助産師のための研修会	熊本県の助産師・看護師のために周産期のメンタルヘルスを理解するための研修会を行なった。	研修会資料
平成27年1月14日	九州大学病院臨床指導者研修	九州大学病院看護部指導者のためのコーチング研修会を行なった。	研修会資料

4. 社会連携 2)看護教育協議会など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会:看護基礎教育検討委員会	看護基礎教育検討委員会委員として、基礎教育の課題と取組みに関してメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成26年度 通年	国立大学保健医療学系代表者協議会・分科会:大学院教育検討委員会	大学院教育検討委員会委員として、大学院教育の充実に関してメール会議を含めて意見交換を行った。	医療系代表者協議会組織検討委員会議事録
平成26年 通年	医療系代表者協議会組織検討委員会	医療系代表者協議会組織検討委員会委員としてメール会議などに参加し意見交換を行った。	平成26年度組織検討委員会活動報告
平成26年6月2日	国立大学保健医療学系代表者協議会	鹿児島市で開催された国立大学保健医療学系代表者協議会に出席して、臨床と大学教育の連携等について協議を行った。	国立大学保健医療学系代表者協議会報告書
平成26年6月7日	全国保健師教育機関協議会定時社員総会	東京で開催された協議会の総会に出席し、会運営のあり方について検討を行った。	分野会議議事録
平成26年6月16日	平成26年度 日本看護系大学協議会定時社員総会	東京医科歯科大学で開催された総会に出席し、協議会の活動方針や、各委員会の活動計画について検討を行った。	分野会議議事録
平成26年6月20日-21日	通算50回全国助産師教育協議会	横浜市で開催された。25年度活動報告、27年度事業計画の協議、助産師教育の将来ビジョンに関する講演後、地区別検討会を行った。	分野会議議事録
平成26年7月11日	平成26年度国立大学助産師教育専任教員会議	助産師教育の各大学から提示された、①助産師教育修士課程への取り組み準備状況②本会の開催目的③助産実習に関する環境について協議した。	分野会議議事録

平成26年8月2日	九州・沖縄地区助産師教育協議会	福岡県日本赤十字九州国際看護大学にて九州、沖縄地区の加盟校により全国助産師教育の検討課題および教育、実習の情報交換と教育講演に出席した。	分野会議議事録
平成26年8月7日、8日	第27回全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会	熊本市の保健科学大学で実施された研修会において、幹事校としての運営の企画・実施に協力した。	全国保健師教育機関協議会平成26年度九州ブロック総会・研修会資料
平成26年8月21日	全国保健師教育機関協議会スキルアップ研修会・教員研修会	仙台で開催された当該研修会に参加し、保健師教育のあり方に関する検討を行った。	全国保健師教育機関協議会平成26年度スキルアップ研修会・教員研修会資料
平成26年10月20日-22日	平成26年度看護学教育ワークショップ	千葉大学において開催された。「看護系大学教員の職能開発とキャリア支援」FDマザーマップの活用についての講演とGWを行った。	分野会議議事録
平成26年11月4日	全国保健師教育機関協議会秋季研修会	宇都宮市で開催された秋季研修会に参加し、保健師教育の方法論についての検討を行った。	全国保健師教育機関協議会平成26年度秋季研修会資料

4. 社会連携 3) 公開講座

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年9月13日	第12回九州大学医学部保健学科公開講座講演	地域住民の方を対象にテーマ「男性と女性:SexとGenderに深く関与する健康問題～あなたの人生を振り返って」の講演を実施した。講師:谷口初美教授	公開講座資料

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

◆ 医用量子線科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年4月3日 平成26年5月8日 平成26年6月5日 平成26年7月2日 平成26年8月8日 平成26年9月3日 平成26年10月1日 平成26年11月11日 平成26年12月8日 平成27年1月9日 平成27年2月18日 平成27年3月9日	医用量子線科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年 4月 7日	学部生(第13期)の入学	主担任:藤淵敏王 副担任:杜下淳次 オリエンテーションは4月9日	分野会議議事録 学生便覧
平成26年 4月8日	大学院生(第9期)の入学	オリエンテーション実施	分野会議議事録 臨地実習会議議事録
平成26年 4月17日 平成26年11月11日	臨地実習に関する検討会。	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生の臨地実習に関して、実習施設3か所の指導者による検討会を行った。	分野会議議事録 臨地実習会議議事録
平成26年5月1日 平成26年7月22日 平成26年10月7日 平成26年11月18日 平成27年1月13日 平成27年2月13日	国家試験学内模擬試験	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。	
平成25年5月29日	修士課程 中間発表会	修士課程大学院生13名の研究の進捗状況について発表会を行った。	中間発表会プログラム
平成26年7月5日	博士後期課程 中間発表会	博士後期課程大学院生4名の研究の進捗状況について発表会を行った。	中間発表会プログラム
平成26年8月26日	学生懇親ソフトボール大会	学部1～4年生、大学院生の60名が参加し、病院地区グラウンドにおいてソフトボールを通じて懇親を深めた。	開催プログラム
平成26年 9月29日～30日	九重合宿研修	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生と教員がともに1泊2日の研修を行った。 卒業研究紹介、九重登山、地熱発電所見学会場:九州大学九重研修所(山の家)、九州地区国立大学九重共同研修所	分野会議議事録 九重研修のしおり
平成26年10月7日	2014年度医学物理士認定試験	大学院生8名中4名合格	http://www.jbmp.org/certification/passers/
平成26年11月1日2日	第9回 九州放射線医療技術学術大会	学部4年生、大学院生の合計60名が参加し、学術研究発表や講演の聴講を行った。	開催プログラム

平成26年11月27日 28日	卒業研究発表会	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生35名が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録 卒業研究発表会プログラム
平成27年 1月20日 21日	先端技術紹介セミナーの開催	医学部保健学科放射線技術科学専攻学生、医学系学府保健学専攻修士課程大学院生を対象に、最新医療機器の先端技術に関する紹介を行った。	分野会議議事録 先端技術セミナープログラム
平成27年3月31日	第67回診療放射線技師国家試験	35名中34名の97.1%が合格した。	官報

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年7月1日～ 9月30日	IAEA Seiversdorf laboratyへの短期留学	放射線防護・計測に関する研究のため、IAEA Seiversdorf Laboratyへ藤淵講師が短期留学した	短期留学報告書
平成26年10月1日 ～平成27年1月31 日	訪問教授の受け入れ	韓国 高麗大学校の金 正敏教授を訪問教授として当分野として在籍した(受入教員 杜下教授)。	分野会議・部門会議議事録
平成26年9月1日～ 12月19日	インドネシアのバンドン工科大学からの短期留学生受入	高精度放射線治療に関する研究のため(有村准教授)インドネシア政府奨学金(サンドイッチプログラム)で、Sitti Yaniさんを受け入れた	分野会議・部門会議議事録
平成26年10月1日 ～平成27年1月31 日	タイ Mahidol大学からの短期留学生受入	コンピュータ支援診断に関する研究のため(有村准教授)マヒドン大学の奨学金で、Chonnikan Jongkreangkraiさんを受け入れた	分野会議・部門会議議事録
平成26年10月1日 ～平成27年1月31 日	タイ Mahidol大学からの短期留学生受入	コンピュータ支援診断に関する研究のため(大喜教授)マヒドン大学の奨学金で、Anucha Chaichanaさんを受け入れた	分野会議・部門会議議事録
平成26年10月23日	University of Science Ho Chi Minh city (ベトナム) 訪問	University of Science Ho Chi Minh city (ベトナム) を訪問し、"Prospects of Computational Medical Image Analysis in High Precision Radiation Therapy", "Introduction of Kyushu Universit," のタイトルで講演するとともに、留学生のリクルート活動を行った。(有村准教授)	講演会ポスター
平成26年11月3日	バンドン工科大学 (インドネシア) 訪問	バンドン工科大学 (インドネシア) を訪問し、"Prospects of Computational Image Processing in High Precision Radiation Therap" のタイトルで講演するとともに、留学生のリクルート活動を行った。(有村准教授)	講演会ポスター
平成26年12月16日 ～12月18日	高雄医科大学 (台湾)	高麗医科大学の招聘により、MRIに関する講義を3コマ実施した。Basic of diffusion MRI 1コマとAcquisition of difussion MRI 2コマ (熊澤講師)	

平成27年3月10日 ～13日	Nanyang Technological University, Singapore, 及び National Cancer Centre Singapore訪問 (シンガポール)	スーパーグローバル大学創成支援事業の一環で、有村准教授がNanyang Technological University, SingaporeとNational Cancer Centre Singaporeを訪問 (シンガポール) "Computational Frameworks of Image Analysis for High Precision Radiation Therapy"のタイトルで講演するとともに、留学生のリクルート活動を行った。(有村准教授)	分野会議・部門会議議事録
平成27年3月18日 ～20日	タイ Mahidol大学からYudthaphon Vichianin准教授を招聘	スーパーグローバル大学創成支援事業の一環で、Yudthaphon Vichianin准教授を招聘し、講演会を開催した。さらに、医療情報に関する特別講義(5回)を行って頂いた。	分野会議・部門会議議事録
平成27年3月22日 ～24日	Mahidol大学(タイ)	スーパーグローバル大学創成支援事業の一環でマヒドン大学保健学部にて九大への留学生招聘のオリエンテーションを開催した。(高橋准教授)	
平成27年3月22日 ～24日	高麗大学校(韓国)	スーパーグローバル大学創成支援事業の一環で高麗大学校にて九大への留学生招聘のオリエンテーションを開催した。(納富准教授)	

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年6月19日	第14回国立大学診療放射線技師教育施設協議会	札幌市にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。(佐々木教授、杜下教授)	分野会議議事録 会議報告書
平成26年6月20日 21日	第59回全国診療放射線技師教育施設協議会	札幌市にて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等についての検討を行った。(佐々木教授)	開催プログラム
平成26年10月18日	西日本がんプロ合同市民公開シンポジウム「がんと向きあって生きる」	福岡国際会議場において、西日本がんプロ合同市民公開シンポジウム「がんと向きあって生きる」、前立腺がん分科会の医学物理士パネリストとして参加した。(有村准教授)	
平成27年2月1日	放射線防護に関する市民公開講座	大宮ソニックシティにおいて平成26年度市民公開講座 放射線に対するリスクの正しい考え方 ―放射線と上手に付き合うために―で、藤淵講師が「医療被ばくとその他の被ばく」というテーマで講演した。	開催ポスター
平成27年3月15日	鹿児島における高校生向け公開講座	鹿児島県民交流センターにおいて、鹿児島在住の高校生ならびに高校教員を対象に診療放射線技師の業務内容と九州大学医学部保健学科の広報を行った。(杜下教授)	http://www.k-ganpro.com/west-sympo2014/

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年7月28日	「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択決定	文部科学省の高等教育改革の一環として公募があったプログラムに当分野が中心となり検査技術科学分野と申請した「実践能力強化型チーム医療加速プログラム」が採択された。平成26年度-30年度、初年度予算約2500万円、事業推進代表者：久保千春，事業推進責任者：大喜雅文部門長，プロジェクトリーダー：杜下淳次教授，プロジェクトサブリーダー：永淵正法教授，大屋信義 九州大学病院医療技術部長，運営委員：佐々木雅之教授，栢森裕三教授，中村泰彦 九州大学病院診療放射線技師長，堀田多恵子 九州大学病院臨床検査技師長，折田信一 九州医療センター 診療放射線技師長，大石哲也 福岡労働衛生研究所 実施委員：藪内英剛、赤坂勉、藤淵俊王，吉田 豊，三輪建太，高根侑実(平成26年3月16日付けでプロジェクト教員として採用)，藤本秀士，勝田 仁，外園栄作，梅津芳幸，西村弘幸，加藤豊幸，小宮勲，清祐麻紀子，宮島隆一，大浦弘樹，陣内秀昭	文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」ならびに「実践能力強化型チーム医療加速プログラム」WEBページ
平成26年11月	放射線取扱主任者試験第一種国家試験	合格者 1年生：1名 2年生：1名 3年生：25名 4年生：9名 卒業生：3名	官報
平成26年11月	医学物理士試験	4名が合格した。	
平成27年1月29日	平成26年度第1回九州がんプロ講演会ー臨床応用を目指した最先端医学物理研究ー	「臨床応用を目指した最先端医学物理研究」山本誠一先生（名古屋大学）「陽子線治療に関連したイメージング法の開発」門前 一先生（近畿大学）「医学物理士に求められる臨床、研究、国際支援」石川正純先生（北海道大学）「臨床で役立つ研究をめざして」	がんプロ講演会ポスター
平成27年2月26日	平成26年度第2回九州がんプロ講演会ーインドネシアにおける医学物理研究ー	Dr. Freddy Haryanto ーバンドン工科大学の紹介と“Applications of Monte Carlo Simulation in Radiotherapy” ー	
平成26年度	論文業績・発表業績	原著論文：37編（英文33編） 国際会議報告：40編（英文22編） 学会発表：116題（国内76題、海外40題） *卒業生は在籍時の研究内容についての論文に限る。	

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年4月	第70回 日本放射線技術学会 総会学術大会	座長推薦優秀研究発表賞（汐月剣志）	

平成26年4月	第70回 日本放射線技術学会 総会学術大会	座長推薦優秀研究発表賞 (徳禮将吾)	
平成26年4月	第70回 日本放射線技術学会 総会学術大会	Cypos賞 銅賞(三笠翔平)	
平成26年4月	日本ラジオロジー協会JRC2014	Doi Award (年間最優秀論文賞) Radiological Physics and Technology (日本放射線技術学会と日本医学物理学会の共同発刊英文雑誌) (Risa Toge, Junji Morishita他)	http://www.ismp.org/conf/107/program_v3.pdf
平成26年4月	第105回日本医学物理学会学術大会	大会長賞 (亀澤秀美)	Certificate of Best Oral Presentation Award
平成26年6月	61st Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging	2014 SNMMI-TS Abstract Award, 3rd Place Technologist Best Poster Award (三笠翔平)	
平成26年10月	14th AOCMP & 12th SEACOMP in Vietnam	Best Oral Presentation Award (Tran Thi Thao Nguyen)	
平成26年11月	The 4th Annual International Asian Society of Nuclear Medicine Technology Conference	Best Presentation Award (赤松剛)	

◆ 検査技術科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年 4月30日 平成26年 5月28日 平成26年 6月25日 平成26年 7月30日 平成26年 8月27日 平成26年 9月25日 平成26年10月29日 平成26年11月26日 平成26年12月25日 平成27年 1月28日 平成27年 2月23日 平成27年 3月26日	検査技術科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
平成27年 3月	保健学科本館改修後の移転作業	保健学科本館の改修後の講義室・実習室整備のため、一時倉庫等に移転していた物品、実習器具・機器等の実習室への移動を開始した。新学期の講義・実習の早い順に計画が立案された。	分野会議議事録 保健学部門会議資料 保健学施設・環境委員会資料
平成26年 7月	臨床生理学担当、桑原助教が赴任。		保健学部門会議資料
平成27年 3月	血液学担当、梅村創教授が退任。国際医療福祉大学 福岡保健医療学部教授へ転出。		保健学部門会議資料
平成27年 3月	安田助教が赴任(桑原先生産休代用教員として)		

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年4月25日	新入生合宿研修	福岡県立社会教育総合研修センター(糟屋郡篠栗町)	分野会議議事録
平成26年8月1日	検査技術科学分野FD	平成26年8月1日 3年次後期開講 選択科目の分担について責任者の決定がなされた。次年度以降の分担や内容は、学外非常勤の状況を勘案して、次年度に検討を行うことを確認した。	分野会議議事録
平成26年5月2日	九大病院検査部との臨地実習打ち合わせ	平成26年度臨地実習の実施にあたり、九州大病院検査部長、技師長、実習担当技師の各先生と保健学科検査技術科学分野教員間で、事前の打ち合わせを実施した。	分野会議議事録
平成26年5月7日	九大病院検査部臨地実習前の採血手技実習	検査技術科学専攻4年生の臨地実習開始にあたり、実習のオリエンテーション、事前講義および心電図実習、採血実習を実施した。	分野会議議事録

平成27年2月3日 平成27年2月4日 平成27年2月9日	3年生就職セミナー	検査技術科学分野専攻の学部学生および大学院生を対象に、就職個人面接指導や実際の臨床現場で活躍されている臨床検査技師の方から職務内容の紹介等の講演をしていただいた。講師に、(株)インターナショナル エア アカデミーの村上礼子先生、九州大学大学院医学研究院社会環境医学講座法医学分野技官の鮫島直美先生、産業医科大学病院病理・臨床検査・輸血部技師長の野原正信先生をお呼びした。	分野会議議事録
平成26年 8月 24日	九大病院検査部との臨地実習反省会	平成26年 8月 24日 九州大学病院検査部部長、技師長をはじめ臨地実習担当の臨床検査技師の先生方と、保健学部門検査技術科学分野教員間で、平成26年度臨地実習の実施状況報告と平成27年度の実施計画について討議した。	分野会議議事録
平成26年 9月 26日	大学院博士課程・修士課程中間発表会		分野会議議事録
平成27年 2月12日	修士課程論文審査会		分野会議議事録
平成27年 2月20日	臨床検査技師国家試験		
平成26年9月13日 平成26年11月8日 平成27年1月10日	国家試験模擬試験	検査技術科学専攻4年生の臨床検査技師国家試験対策として、平成26年9月13日、11月8日、平成27年1月10日の3回国試模試を実施した。	

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年6月20日	外園講師、IFCC学会発表	外園:Development of the high sensitive assay of protein by new principle of three-dimensional complex with protein-copper-Chromazurol B, IFCC WORLDLAB ISTANBUL, 2014.06.23,Turkey	学会抄録
平成26年11月	小島講師、オーストリア学会発表	Genomic identification of Anisakis simplex larvae by PCR-RAPD.,International Meeting on Emerging Diseases and Surveillance,2014.11.02, Austria	
平成26年9月29日	渡辺助教、ECC学会発表	Formation Mechanism of Binucleated HeLa Cells,38th European Congress of Cytology 2014.2014.09.29.Geneva, Switzerland	学会抄録
平成26年10月6日	藤本教授、アメリカ学会発表	Alternative to dry ice: examination of temperature control with cold-storage plate system during hot summer transportation.,57th American biological safety association annual conference. ,2014.10.06.	

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年8月4日	オープンキャンパス実施	高校生、その保護者、高校教員へ対して検査技術科学で行っている実習の一部や研究に関する展示や体験を実施した。具体的には、手指採血した血液を利用した血糖検査のサービス、手洗い効果の判定、寄生虫のホルマリン標本観察、血液細胞やがん細胞を顕微鏡で観察、遺伝子検査で使用する器具の展示、ES細胞やiPS細胞を顕微鏡下で観察、その他に臨床検査技師の業務内容についてのDVDの上映、といったものである。さらには、現役学部学生や教員を交えた進学相談コーナーを設置し、受験生や保護者からの様々な問い合わせに応じた。	学生委員会
平成26年9月12日	永淵教授:第141回愛媛糖尿病同好会講演	第141回愛媛糖尿病同好会ウイルス糖尿病の発症機構と感受性遺伝子というテーマで講演	なし
平成26年9月13日	外園講師:九州大学医学部保健学科公開講座講演	地域住民を対象にテーマ「尿から見えるあなたの健康:元気なおしっこ出てますか?」の講演を実施した。	公開講座資料

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年6月26日	小島講師:福岡県臨床検査技師会福岡市支部主催一般検査・細菌検査勉強会講演	寄生虫検査のコツと技～検査手技から形態まで～の講演を実施	
平成26年10月25日	外園講師:福岡県臨床衛生検査技師会生物化学部門研修会講演	「論文を書いてみよう!」の講演を実施	研修会配布資料

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料
平成26年09月14日	外園講師:特許出願	高感度でかつ各種蛋白間における反応性に差が少ない高感度微量総蛋白測定法の開発	出願番号 2014-39555

3-1. 教員の活動：看護学分野

看護学分野

《統合基礎看護》

教授	大池 美也子
教授	樗木 晶子
教授	加来 恒壽
教授	藤田 君支
教授	中尾 久子
准教授	橋口 暢子
准教授	濱田 裕子
准教授	原田 博子
准教授	木下 義晶
講師	木下 由美子
講師	松浦 俊治
講師	丸山 マサ美
講師	能登 裕子
講師	中島 充代
講師	宮園 真美
助教	梶原 弘平
助教	富岡 明子
助教	金岡 麻希
助教	藤田 紋佳
助教	道面千恵子
助教	木原 深雪
助教	潮 みゆき

1. 教育活動

1. 大学院講義

看護教育方法開発 I (分担)	大池	前期
看護学研究方法論 2 (分担)	大池	前期
看護教育論 (分担)	大池	前期
コンサルテーション論 (分担)	大池	前期
がん看護特論 (分担)	大池	前期
基礎看護学特論 3 (分担)	大池	通年
基礎看護学特論 1 (分担)	大池	後期
基礎看護学特論 2 (分担)	大池	後期
保健学特別研究	大池	通年
看護学特別研究	加来	通年
臨床看護学特論 I (分担)	樗木	前期
臨床看護学特論 II (分担)	樗木	後期
国際医療システム論	樗木	通年
健康支援ケアシステム論 I (分担)	樗木	前期
生体情報解析学 I (分担)	樗木	前期

先端医療論	加来	前期
健康支援ケアシステム論 I	加来	前期
発達看護学特論 I	加来	前期
母子発達ケアシステム論 I	加来	前期
生体情報解析学 I	加来	前期
病態情報解析学 I	加来	後期
発達看護学特論 II	加来	後期
保健学研究論 (分担)	藤田(君)	前期
健康支援ケアシステム論 I (分担)	藤田(君)	前期
臨床看護学特論 I (分担)	藤田(君)	前期
臨床看護学特論 II (分担)	藤田(君)	前期
臨床看護学特論 I (分担)	中尾	通年
臨床看護学特論 II (分担)	中尾	通年
看護研究方法論 I (分担)	中尾	前期
医療と生命倫理 (分担)	中尾	後期
健康支援ケアシステム論 II	中尾	後期
ヘルスサイエンス論 (分担)	中尾	前期
看護組織・マネジメント論 (分担)	中尾	後期
健康支援ケアシステム論 I	中尾	前期
がん看護援助論 (分担)	中尾	後期
基礎看護特論 I	橋口	後期
看護学教育論	橋口	前期
小児家族看護学 (分担)	濱田	後期
母子発達ケアシステム論 I (分担)	濱田	前期
発達看護学特論 I (分担)	濱田	前期
看護学特別研究 (分担)	原田	通年
看護組織・マネジメント論 (分担)	原田	後期
がん医療支援論 (分担)	原田	前期
基礎看護学特論 I (分担)	原田	後期
看護学特論 II (分担)	原田	後期
基礎看護学特論 III (分担)	原田	後期
看護教育論 (分担)	原田	前期
医療と生命倫理 (分担)	原田	後期
先端医療論、がん病態・治療論	木下	前期
医療と生命倫理 (分担)	丸山	後期
生命倫理学	丸山	前期
発達看護特論 I (分担)	藤田(紋)	前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

看護教育方法開発学 II (分担)	大池	後期
看護教育方法開発 I (分担)	大池	前期
看護学研究方法論 2 (分担)	大池	前期
看護教育論 (分担)	大池	前期

コンサルテーション論 (分担)	大池	前期
がん看護特論 (分担)	大池	前期
基礎看護学特論 3 (分担)	大池	通年
基礎看護学特論 1 (分担)	大池	後期
基礎看護学特論 2 (分担)	大池	後期
保健学特別研究	大池	通年
保健学特別研究	樗木	通年
健康支援ケアシステム論Ⅱ (分担)	樗木	後期
生体情報解析学Ⅱ (分担)	樗木	後期
保健学特別研究	加来	通年
保健学研究論	藤田	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ (分担)	藤田(君)	後期
保健学特別研究 (分担)	中尾	通年
看護学特別研究 (分担)	中尾	通年
がん看護演習Ⅰ (分担)	中尾	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ (分担)	中尾	後期
健康支援ケアシステム論Ⅰ (分担)	中尾	前期
基礎看護特論Ⅰ	橋口	後期
看護学教育論	橋口	前期
インターンシップ (分担)	濱田	通年
ユーザー感性学 PTL(2)	濱田	前期
小児・家族コミュニケーション演習 (分担)	濱田	前期
発達看護学特論Ⅰ (分担)	濱田	前期
看護学特別研究 (分担)	濱田	通年
看護学特別研究 (分担)	原田	通年
看護組織・マネジメント論 (分担)	原田	後期
がん医療支援論 (分担)	原田	前期
基礎看護学特論Ⅰ (分担)	原田	後期
看護学特論Ⅱ (分担)	原田	後期
基礎看護学特論Ⅲ (分担)	原田	後期
看護教育論 (分担)	原田	前期
生命倫理学	丸山	前期

4. 大学院修士課程修了者

島井 杏樹	看護者の倫理的感受性と排泄ケアに対する自己効力感と関係
松本 美晴	看護学実習における実習指導者の意識変容のプロセスと自己決定学習の関係
佐藤 洋子	妊娠糖尿病妊婦のセルフケアに関する研究
坂美 奈子	看護専門学校の看護教員の授業設計における思考様式
外山 玲子	中途採用看護師の新しい職場環境における出来事を通じた学びの特徴

5. 大学院博士課程修了者

金岡 麻希	Identification of the interaction patterns between adult to adult living liver transplant recipients and donors during the preoperative hospitalization period and associated factors
-------	---

澤渡 浩之	Different Physiological and Subjective Responses to the Hyperthermia between Young nad Older Adults-Basic Study for Thermal Therapy in Cardiovascular Diseases
木下 由美子	A longitudinal study of gender differences in quality of life among Japanese patients with lower rectal cancer treated with sphincter-saving surgery : a 1-year follow-up
山中 真	Etiology of head injuries due to falls in clinical situations, and nursing care to preventing injuries
下川 元継	Correlation of progression-free and post-progression survival with overall survival in phase III trials of first-line chemotherapy for advanced epithelial ovarian cancer

6. 学部講義

看護学概論 (分担)	大池	後期
看護技術学Ⅰ (分担)	大池	前期
看護技術学Ⅱ (分担)	大池	後期
看護研究入門 (分担)	大池	前期
臨床病態学 (分担)	樗木	後期
人体の構造と機能ⅠA	樗木	前期
人体の構造と機能ⅠB	樗木	後期
ジェンダー学	樗木	前期
生理機能検査学Ⅲ (分担)	樗木	前期
臨床医学群	樗木	後期
医学総論Ⅱ	樗木	前期
母性疾病論	加来	前期
臨床医学論Ⅰ	加来	後期
臨床病態学	加来	後期
人体の機能と構造ⅡB	加来	後期
受胎・成長・発達	加来	後期
成人看護学概論	藤田(君)	前期
成人看護学各論Ⅰ(分担)	藤田(君)	前期
成人看護学各論Ⅱ(分担)	藤田(君)	前期
臨床倫理(医療系統合教育) (分担)	中尾	後期
インフォームドコンセント(医療系統合教育) (分担)	中尾	前期
老年看護学概論	中尾	前期
看護研究入門	中尾	前期
老年看護学各論Ⅰ (分担)	中尾	後期
老年保健・疾病論 (分担)	中尾	後期
医療倫理・終末期医療論	中尾	前期
看護技術学Ⅰ	橋口	前期
クリティカルシンキング論	橋口	前期
看護研究入門(分担)	橋口	前期
医療安全論	橋口	後期
看護理論・看護過程論	橋口	後期
看護技術学Ⅱ	橋口	後期
看護教育論	橋口	後期

小児看護学概論	濱田	後期
小児看護学各論 I	濱田	後期
小児看護学各論 II (分担)	濱田	前期
看護研究入門 (分担)	濱田	前期
看護技術学 I (分担)	原田	前期
看護技術学 II (分担)	原田	後期
看護管理	原田	前期
看護理論・看護過程論 (分担)	原田	後期
医療安全論 2 年生 (分担)	原田	後期
医療安全論 4 年生	原田	後期
チーム医療と災害看護	原田	後期
卒業研究(分担)	木下(義)	前期
医学総論I	木下(義)	前期
小児疾病論	木下(義)	前期
臨床病態学	木下(義)	後期
人体の機能と構造 II B	木下(義)	後期
臨床医学論 II	木下(義)	後期
受胎・成長・発達	木下(義)	前期
成人看護学各論 I	木下(由)	前期
成人看護学各論 II (分担)	木下(由)	前期
がん看護論 2 年生	木下(由)	前期
がん看護論 4 年生	木下(由)	後期
老年看護学各論 II (分担)	木下(由)	前期
成人看護学各論 III (分担)	木下(由)	前期
卒業研究(分担)	丸山	通年
課題協学科目A“死と生”	丸山	前期
基幹教育セミナー	丸山	前期
コミュニケーション論	丸山	前期
バイオエシックス(分担)	丸山	後期
卒業研究 (分担)	能登	通年
看護技術学 I (分担)	能登	前期
精神保健・疾病論(分担)	中島	前期
精神看護学概論	中島	後期
精神看護学各論	中島	前期
クリティカルシンキング論	能登	前期
看護理論・看護過程論 (分担)	能登	後期
看護技術学 II (分担)	能登	後期
成人看護学各論 III	宮園	前期
老年看護学概論 (分担)	梶原	前期
老年看護学各論 I (分担)	梶原	後期
老年保健・疾病論 (分担)	梶原	後期
成人看護学各論 I (分担)	富岡	前期
成人看護学各論 II (分担)	富岡	前期
がん看護論 2 年生(分担)	富岡	後期
がん看護論 4 年生(分担)	富岡	後期

老年看護学各論Ⅰ (分担)	富岡	後期
成人看護学各論Ⅲ (分担)	金岡	前期
成人看護学各論Ⅳ	金岡	前期
先端医療看護論	金岡	後期
救急蘇生学	金岡	後期
小児看護学各論Ⅱ (分担)	藤田(紋)	前期
助産診断・技術学 (分担)	藤田(紋)	前期
看護技術学Ⅰ (分担)	道面	前期
看護技術学Ⅱ (分担)	道面	後期
医療安全論 (分担)	道面	後期
看護理論・看護過程論 (分担)	道面	後期
看護学概論(分担)	道面	後期
成人看護学各論Ⅲ (分担)	潮	前期
成人看護学各論Ⅳ (分担)	潮	前期
老年保健・疾病論 (分担)	潮	後期
がん看護論 (分担)	潮	後期

7. 学部の実験・実習・演習

卒業研究 (分担)	大池	通年
総合実習 (分担)	大池	前期
基礎看護学実習 2 (分担)	大池	後期
看護技術学Ⅰ (分担)	大池	前期
看護技術学Ⅱ (分担)	大池	後期
基礎看護学実習 1 (分担)	大池	前期
生理機能検査学実習	樗木	後期
卒業研究 (分担)	樗木	通年
卒業研究 (分担)	加来	通年
成人・老年看護学実習Ⅰ	藤田(君)	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ	藤田(君)	後期
卒業研究 (分担)	藤田(君)	通年
総合実習 (分担)	藤田(君)	前期
卒業研究 (分担)	中尾	通年
総合実習 (分担)	中尾	前期
老年看護学実習	中尾	前期
看護技術学Ⅰ	橋口	前期
基礎看護学実習Ⅰ	橋口	前期
クリティカルシンキング論	橋口	前期
卒業研究 (分担)	橋口	通年
総合実習 (分担)	橋口	前期
看護技術学Ⅱ	橋口	後期
基礎看護学実習Ⅱ	橋口	後期
医療安全論	橋口	後期
看護理論・看護過程論	橋口	後期
総合実習 (分担)	濱田	前期

小児看護学実習 (分担)	濱田	通年
卒業研究 (分担)	濱田	通年
卒業研究 (分担)	原田	通年
看護技術学Ⅰ (分担)	原田	前期
基礎看護学実習Ⅱ (分担)	原田	後期
総合実習 (分担)	原田	前期
看護技術学Ⅱ (分担)	原田	後期
基礎看護学実習Ⅰ (分担)	原田	前期
看護理論・看護過程論 (分担)	原田	後期
医療安全論 2年生 (分担)	原田	後期
医療安全論 4年生	原田	後期
チーム医療と災害看護	原田	後期
小児看護学実習(分担)	木下(義)	通年
卒業研究 (分担)	木下(義)	通年
小児看護学実習(分担)	松浦	通年
成人・老年看護学実習Ⅰ	木下(由)	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ (分担)	木下(由)	後期
老年看護学実習 (分担)	木下(由)	後期
総合実習 (分担)	木下(由)	前期
卒業研究 (分担)	木下(由)	通年
卒業研究 (分担)	能登	通年
総合実習 (分担)	能登	前期
基礎看護学実習Ⅰ (分担)	能登	前期
基礎看護学実習Ⅱ (分担)	能登	後期
看護技術学Ⅰ	能登	前期
看護技術学Ⅱ(分担)	能登	後期
クリティカルシンキング論	能登	前期
精神看護学実習(分担)	中島	通年
総合実習 (分担)	中島	前期
卒業研究 (分担)	中島	通年
老年看護学実習	梶原	前期
老年看護学各論Ⅱ	梶原	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ (分担)	梶原	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ (分担)	梶原	後期
総合実習 (分担)	梶原	前期
卒業研究 (分担)	梶原	通年
老年看護学各論Ⅱ (分担)	富岡	後期
成人・老年看護学実習Ⅰ (分担)	富岡	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ (分担)	富岡	後期
老年看護学実習 (分担)	富岡	前期
総合実習 (分担)	富岡	前期
卒業研究 (分担)	富岡	通年
成人・老年看護学実習Ⅰ (分担)	金岡	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ	金岡	後期
老年看護学実習 (分担)	金岡	前期

総合実習（分担）	金岡	前期
卒業研究（分担）	金岡	通年
卒業研究（分担）	藤田（紋）	通年
小児看護学実習（分担）	藤田（紋）	通年
総合実習（分担）	藤田（紋）	前期
基礎看護学実習Ⅱ（分担）	道面	後期
総合実習（分担）	道面	前期
看護技術学Ⅰ（分担）	道面	前期
看護技術学Ⅱ（分担）	道面	後期
医療安全論（分担）	道面	後期
卒業研究（分担）	道面	通年
基礎看護学実習Ⅰ（分担）	道面	前期
基礎看護学実習Ⅱ、精神看護学実習（分担）	木原	後期
総合実習（分担）	木原	前期
卒業研究（分担）	木原	通年
老年看護学各論Ⅱ（分担）	潮	後期
成人・老年看護学実習Ⅰ（分担）	潮	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ（分担）	潮	後期
老年看護学実習（分担）	潮	前期
総合実習（分担）	潮	前期
卒業研究（分担）	潮	通年

8. 卒業論文作成者

押 由季	看護師の働きやすい職場環境をつくるためのWLB推進とその効果に関する文献研究
芳野 美紀子	女性悪性腫瘍患者の心理過程と看護介入
安川 萌子	外来で化学療法を受ける乳癌患者の抱える問題と今後の看護への活用に関する文献検討
甲斐 麻由美	日本と海外における看護師の終末期ケア態度に関係する要因の比較と看護師への支援方法の検討
呉 茜	糖尿病三大合併症に対して漢方薬の効果
秀島 朱里	終末期がん患者の療養場所の意思決定 -納得のいく決定への支援-
高田 茉奈美	終末期患者の家族ケア -患者と家族が残された日々を後悔なく過ごすための支援-
上野 春菜	心肺蘇生に立ち会いに関する家族の認識-日本とアメリカの研究から-
安部 愛子	心肺蘇生中の家族立ち会いに関する実態と今後の課題
曾根本 和樹	終末期患者生存中の家族に対して行われているケアの現状について
渡邊 美沙子	Good Deathの構成要素の違い-「医師/看護師」「患者/一般成人」「家族」の理想-
井澤 佑允	認知症高齢者を在宅介護する家族介護者の介護負担感に関連する要因と支援
清水 望美	認知症高齢者との対応時にケアスタッフが感じる困難のプロセス
上野 梨沙	救命救急センターの看護師がCPAOA患者家族に対して行う症例別家族ケアの臨床判断
海際 志穂美	へき地診療所で働く看護師が抱く救急看護における地理・人員・医療機器に対する困難感
中田 絢子	手術中待機中の家族への術中訪問のあり方についての文献検討

吉村 美咲	トリアージ教育の現状と課題
内野 錦	不眠症を有する軽度認知障害の高齢者に対する高照度光療法による認知機能への効果
板垣 晃潤	ダウン症児の睡眠障害による問題行動に対する母親のストレスの状況と、ダウン症の知識を得ることでのストレスの変化
岩下 真子	終末期の意思決定に関する看護—文献研究を通して—
橋本 愛美	終末期がん患者の生きがいを支える看護—文献研究を通して—
福水 和花那	看護のためのコミュニケーションに関する文献研究—感性の視点からの一考察—
城臺 佑太	プリセプターシップが導入されている病院での新人教育(OJT)の現状
岩本 夏美	災害派遣看護職者のストレス要因とその対処についての文献検討
橋口 弥和	看護の質評価指標に関する文献検討
真弓 彩夏	災害派遣医療チームの活動の実際から看護師の役割に関する文献検討
坂本 紀子	糖尿病や慢性腎不全を抱える患者の自己管理の継続に向けた効果的な関わり
山川 愛理佳	認知症高齢者のBPSDに関連した家族の介護負担と介護負担軽減に向けた介入
木下 由貴	終末期がん患者及び家族が療養場所を決定する際の影響要因に関する文献検討
竹林 美紀子	看護師のメンタルヘルスとリエゾン精神看護専門看護師に求められる役割に関する文献検討
林田 知佳	乳癌患者が抱くボディイメージの変化に関する文献検討

9. 研究生

九州大学病院看護研究コース受講者 1 名

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

大池	「未来プロジェクト」に参加した看護学生に対し、本会の意図や研修の内容を説明した。	2014 年度 8 月に開催された「未来プロジェクト」において、看護学科学生の参加を促した。
道面	顧問	バスケットボール(保健学科)

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	看護学基礎教育における e-Learning 教材の評価	大池
2	看護教育の高等化時代における看護教員のライフストーリー研究	大池
3	患者教育における看護師の教育的かかわりモデルの要素に関する検討	大池
4	ダウン症者における睡眠時無呼吸や睡眠障害の疫学研究及び介入研究	樗木
5	漢方看護教育	樗木
6	婦人科悪性腫瘍における RCAS1 の発現とその意義	加来
7	婦人科悪性腫瘍における血管新生の臨床的意義	加来
8	婦人科悪性腫瘍における細胞学的研究	加来
9	婦人科悪性腫瘍における臨床病理学的研究	加来
10	医療の場におけるチーム医療と倫理的問題に対するアプローチ(がん医療、看護)	中尾

11	ストレスおよび生活行動の関連性、看護者の well-being	中尾
12	高齢者の身体拘束とQOL	中尾
13	病院倫理委員会における症例コンサルテーション機能の現状と課題	中尾
14	高齢者特有の症状とQOLに関する研究	中尾
15	人工股関節・膝関節患者の経年的QOL評価の集積と再置換予防に関する研究	藤田(君)
16	in vivo実験を代行する関節シミュレータによる深屈曲用人工膝関節の評価試験	藤田(君)
17	基礎的看護ケア(身体の清潔の援助)が及ぼす生理・心理的影響に関する研究	橋口
18	療養環境における温熱的快適性に関する研究	橋口
19	高齢者における家庭内事故(溺死)に関する研究	橋口
20	高齢者や心疾患患者における体温調節反応および皮膚温度感受性に関する研究	橋口
21	子どもを亡くした家族のグリーフケアに関する研究	濱田
22	身体知としての「参与しつつの観察」に関する基礎研究	濱田
23	子どもの臓器移植に直面した家族の合意形成をチームで支えるケアガイドライン	濱田
24	薬剤等の管理に関する教育プログラムの構築	原田
25	教育力セルフマネジメントプログラムの構築	原田
26	小児悪性固形腫瘍の oncogenesis における β カテニン遺伝子および WT1 遺伝子の関与	木下(義)
27	小児疾患に対する QOL を考慮した外科治療に関する研究	木下(義)
28	小児固形悪性腫瘍に対する免疫治療	木下(義)
29	小児固形悪性腫瘍の新規腫瘍マーカーによる診断システムの確立	木下(義)
30	直腸がん患者のQOL向上を目指した介入研究	木下(由)
31	集学的治療を受ける直腸がん患者のQOL向上に向けた外来看護システムの構築	木下(由)
32	小児肝移植および小腸移植における拒絶反応の制御	松浦
33	高齢者の転倒と外傷予防に関する研究	能登
34	安全性と操作の容易性の向上を視点とした標準型車いすの提案	能登
35	認知症高齢者の在宅介護者の支援に関する研究	梶原
36	わが国における心肺蘇生の立ち合いが家族に与える影響	富岡
37	生体肝移植のレシピエントとドナー間の相互作用と両者対象の全人的支援に関する研究	金岡
38	難病のこどもの居場所に関する研究	藤田
39	生体肝移植を受けた子どもと家族の QOL 向上のための看護援助に関する研究	藤田
40	子どもを亡くした家族へのグリーフに対する支援に関する研究	藤田
41	アルコール関連問題、アルコール依存症看護、薬物依存症依存症自助組織支援、司法精神看護学、矯正教育、犯罪学、社会復帰支援	木原
42	脳卒中後片麻痺をもつ人の身体感覚評価尺度の開発	潮
43	九州大学史料研究—九州帝国大学史料を中心に—	丸山
44	看護歴史研究の基礎	丸山
45	臨床現場における看護倫理問題をいかに解くか—倫理的感受性を高めるための看護倫理教育—	丸山

46	マイクロカウンセリングに基づいた看護のためのコミュニケーション教育	丸山
47	糖尿病患者への患者教育に関する看護師の認識	道面

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

大池美也子

- 「一般研究(C)」仕事経験を学習に転換する次世代リーダー育成プログラムの開発 代表 原田広枝 (福岡大学), 大池(分担)

加来恒壽

- 「基盤研究(C)」核クロマチン分布解析を用いた BCG 膀胱内注入療法における治療効果評価法の確立, 加来(分担)

樗木晶子

- 「挑戦的萌芽研究」入院患者における睡眠呼吸障害の症状を考慮した転倒リスク評価指標の開発, 樗木(代表)
- 「基盤研究(C)」がん患者の意思決定を支える看護師の役割と倫理教育, 樗木(分担)
- 「基盤研究(B)」地域における循環器病患者の再発予防に向けた脚温サウナ看護プログラムの開発, 樗木(分担)
- 「基盤研究(B)」生活習慣病を有する高齢者における皮膚温度感受性評価と看護ケア開発, 樗木(分担)
- 「挑戦的萌芽研究」ダウン症における睡眠呼吸障害に関する調査, 樗木(分担)
- 「挑戦的萌芽研究」療養環境下における湿度条件の指針作成, 樗木(分担)
- 「基盤研究(C)」補助化学療法中の大腸がん患者への多職種協働セルフマネジメント支援のプログラムの開発, 樗木(分担)
- 「挑戦的萌芽研究」意思表示能力が傷害された患者の医療契約に関する実務法学的視点からの検討, 樗木(分担)

藤田君支

- 「基盤研究(C)」人工股・膝関節患者の経年的 QOL 評価の集積と再置換予防に関する研究, 藤田(君)(代表)
- 「基盤研究(B)」in vivo実験を代行する関節シミュレータによる深屈曲用人工膝関節の評価試験, 藤田(君)(分担)

中尾久子

- 「基盤研究(C)」がん患者の意思決定を支える看護師の役割と倫理教育, 中尾(代表)
- 「基盤研究(C)」地域における循環器病患者の再発予防に向けた脚温サウナ看護プログラムの開発, 中尾(分担)
- 「基盤研究(C)」直腸がん患者の QOL 向上を目指した排便障害セルフケア支援のための介入研究, 中尾(分担)

橋口暢子

- 「基盤研究(B)」冬季における高齢者入浴死の予防指針・チェックリストの作成, 橋口(分担)
- 「基盤研究(B)」生活習慣病を有する高齢者における皮膚温度感受性評価と看護ケア開発, 橋口(代表)
- 「挑戦的萌芽研究」入院患者における睡眠呼吸障害の症状を考慮した転倒リスク評価指標の開発, 橋口(分担)
- 「挑戦的萌芽研究」療養環境下における湿度条件の指針作成, 橋口(代表)

濱田裕子

- 「基盤研究(C)」子どもを亡くした家族のグリーフケアプログラムの開発～語りのアクションリサーチ～, 濱田(代表)
- 「基盤研究(B)」身体知としての「参与しつつの観察」に関する基礎研究, 濱田(分担)
- 「基盤研究(B)」子どもの臓器移植に直面した家族の合意形成をチームで支えるケアガイドラインの開発, 濱田(分担)

- 「基盤研究(C)」肝移植後の学童期から思春期の子どもと親の QOL 向上のための看護援助モデル構築, 濱田(分担)

原田博子

- 「基盤研究(C)」薬剤等の管理に関する教育プログラムの構築, 原田(代表)

松浦俊治

- 「基盤研究(C)」肝移植の学童後期から思春期の子どもと親の QOL 向上のための看護援助モデル構築, 松浦(分担)

木下由美子

- 「基盤研究(C)」直腸がん患者の QOL 向上を目指した排便障害セルフケア支援のための介入研究, 木下(由)(代表)
- 「基盤研究(C)」地域における循環器病患者の再発予防に向けた脚温サウナ看護プログラムの開発, 木下(由)(分担)
- 「基盤研究(C)」がん患者の意思決定を支える看護者の役割と倫理教育, 木下(由)(分担)

能登裕子

- 「若手研究(B)」介助負担と乗り心地を考慮した標準型車いすへの改善に関する検討., 能登(代表)

梶原弘平

- 「若手研究(B)」認知症高齢者の在宅介護者の介護認識が在宅介護に及ぼす影響, 梶原(代表)

富岡明子

- 「若手研究(B)」わが国における心肺蘇生の立ち合いが家族に与える影響, 富岡(代表)

金岡麻紀

- 「若手研究(B)」生体肝移植ドナーの術後のフォローアップシステム構築のための基礎的研究, 金岡(代表)
- 「基盤研究(C)」がん患者の意思決定を支える看護者の役割と倫理教育, 金岡(分担)

藤田紋佳

- 「基盤研究(C)」肝移植の学童後期から思春期の子どもと親の QOL 向上のための看護援助モデル構築, 藤田(代表)
- 「基盤研究(C)」子どもを亡くした家族のグリーフケアプログラムの開発～語りのアクションリサーチ～, 藤田(分担)

道面千恵子

- 「基盤研究(C)」薬剤等の管理に関する教育プログラムの構築, 道面(分担)

潮 みゆき

- 「若手研究(B)」脳卒中後の片麻痺側の活用を促進する主観的「身体感覚評価尺度」の開発, 潮(代表)

3. 学内研究経費の受入れ

- 「平成26年度 教育の質向上支援プログラム(EEP)」教育力セルフマネジメントプログラムの構築, 大池(分担)
- 「九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト(P&P) 女性枠」九州大学史料研究—九州帝国大学医学部史料研究を中心に—, 丸山(代表), 120 千円.
- 「研究補助者支援制度」ICT 学習システム教育の検討, 道面, 80 千円.
- 「研究補助者支援制度」わが国における心肺蘇生の立ち合いが家族に与える影響, 富岡
- 「研究補助者支援制度」脳卒中後の片麻痺側の活用を促進するための研究, 潮
- 「研究補助者支援制度」肝移植患者に対する睡眠と身体活動に関する実態調査研究, 金岡

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「医学研究院保健学部門研究資金」日本ベーリンガー, 樗木
- 「医学研究院保健学部門研究資金」第一三共, 樗木

- 「財団法人笹川医学医療研究財団研究費助成/子どものターミナルケアにおける「看とりの場」の検証～日本型小児ホスピスに必要な「看とりの場」の探求～」財団法人笹川医学医療研究財団、濱田(代表) 藤田(紋)(分担)

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「富士ゼロックス株式会社 MEMS 血流量センサを用いた献血時転倒予測システムの研究・開発」樗木
- 「小児の肉腫や脳腫瘍等に対するがんペプチドワクチン単剤療法の開発」木下(義),
- 「平成 26 年度公益財団法人がんの子どもを守る会治療研究助成金 Alpha-fetoprotein(AFP)-L2 分画による小児固形悪性腫瘍の新規診断システム開発」木下(義),

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Hiroshi Inoue, Hirotsugu Atarashi, Ken Okumura, Takeshi Yamashita, Hideki Origasa, Naoko Kumagai, Masayuki Sakurai, Yuichiro Kawamura, Isao Kubota, Kazuo Matsumoto, Yoshiaki Kaneko, Akiko Suyama Chishaki: Impact of Gender on the Prognosis of Patients With Nonvalvular Atrial Fibrillation, *Am J Cardiol*, 113, 957 - 962, 2014 年 05 月.
- Shin Yamanaka, Eriko Kawamoto, Akiko Suyama Chishaki: Etiology of Head Injuries due to Falls in Clinical Situations, and Nursing Care to Preventing Injuries, *本職業・災害医学学会誌*, 62, 1, 65 - 73, 2014 年 11 月.
- Hiroyuki Sawatari, Akiko Suyama Chishaki, Mami Miyazono, Nobuko Hashiguchi, Yukari Maeno, Hiroaki Chishaki, Yutaka Tochihara: Different Physiological and Subjective Responses to the Hyperthermia Between Young and Older Adults: Basic Study for Thermal Therapy in Cardiovascular Diseases, *Jof Gerontology:Medical Sciences*, 1 - 5, 2014 年 10 月.
- Tomomi Nagayama, Yoshitaka Hirooka, Akiko Suyama Chishaki, Masao Takemoto, Yasushi Mukai, Inoue Shujiro, Takuya Kishi, Kenji Sunagawa: Duration of Electrically Induced Atrial Fibrillation Is Augmented by High Voltage of Stimulus with Higher Blood Pressure in Hypertensive Rats, *Int J Hypertension*, 1 - 5, 2014 年 09 月.
- 樗木 晶子, 宮園 真美: 植込み型除細動器患者の現状とメンタルケアの必要性, *Nursing BUSINESS*, 8,5, 54 - 55, 2014 年 12 月.
- Nozomu Mandai, Kohei Akazawa, Nobuyuki Hara, Yoshio Ide, Ushio Dazai, Akiko Suyama Chishaki, Hiroaki Chishaki: Body weight reduction results in favorable changes in blood pressure, serum lipids, and blood sugar in middle-aged Japanese persons: A 5-year interval observational study of 26,824 cases, *Global Journal of Health Science*, 77, 5, 2015 年 02 月.
- Eitaro Kodani, Hirotsugu Atarashi, Hiroshi Inoue, Ken Okumura, Takeshi Yamashita, Akiko Suyama Chishaki: Target Intensity of Anticoagulation With Warfarin in Japanese Patients With Valvular Atrial Fibrillation-Subanalysis of the J-RHYTHM Registry-, *Circ Journal*, 79, 2, 325 - 330, 2015 年 02 月.
- Maki Kanaoka, Yumiko Kinoshita, Akiko Suyama Chishaki: Identification of the interaction patterns between adult to adult living liver transplant recipients and donors during the preoperative hospitalization period and associated factors, *Japanese journal of applied psychology*, 40, 3, 157 - 166, 2015 年 03 月.
- Toomine Y, Sumiko Watanabe, Yoshihiro Ohishi, Tamiya S, Setsuo Sugishima, Kobayashi H, Yoshinao Oda, Tsunehisa Kaku: Endometrial metaplasia: correlation of histological and cytological specimens obtained from 103 cases undergoing hysterectomy for endometrial carcinoma, *CYTOPATHOLOGY*, 25, 2, 78 - 85, 2014 年 04 月.
- 湯田翔子, 渡邊 壽美子, 大久保文彦, 山元 英崇, 岩本 幸英, 大喜 雅文, 加来 恒壽, 杉島 節夫: 軟骨肉腫と内軟骨腫の細胞像の比較検討, *日本臨床細胞学会九州連合会雑誌*, 45, 119 - 126, 2014 年 07 月.

- Naoki Fujiyoshi, Kouichiro Kawano, Kimio Ushizima, Keizo Fujiyoshi, Tomohiko Yamaguch, Yuko Araki, Tatsuyuki Kakuma, Sumiko Watanabe, Tsunehisa Kaku, Takashi Nishida, Toshiharu Kamura: Radiation effects on DNA content of cervical cancer cells: A rapid evaluation of radiation sensitivity by laser scanning cytometry, *Molecular and Clinical Oncology.*, 3, 1, 51 – 54, 2015 年 01 月.
- Kimie Fujita, Zhenlan Xia, Xueqin Liu, Kiyoko Makimoto: Lifestyle and health-related quality of life in Asian patients with total hip arthroplasties , *Nursing and Health Sciences*, 2014 年 09 月.
- 明時 由里子, 藤田 君支, 田渕 康子: 腰椎麻酔下で人工股関節全置換術を受けた患者のメラトニン分泌リズムとストレス関連ホルモンとの関連, *日本看護研究学会*, 37, 4, 73 – 81, 2014 年 09 月.
- 清原 智佳子, 古賀 明美, 藤田 君支: C 型慢性肝炎患者の疲労感、QOL と身体活動量に関する研究, *日本看護研究学会雑誌*, 37, 2, 63 – 70, 2014 年 06 月.
- Budiant IR, Tan HL, Kinoshita Y, Tamba RP, Ieiri S, Taguchi T: Role of laparoscopy and ultrasound in the management of “impalpable testis” in children., *Asian J Surg*, 37, 4, 200 – 204, 2014 年 04 月.
- Yuniartha R, Aratas FS, Kouji Nagata, Kuda M, Yanagi Y, Esumi G, Takayoshi Yamaza, Kinoshita Y, Taguchi T: Therapeutic potential of mesenchymal stem cell transplantation in a nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia rat model., *Pediatr Surg Int.*, 30, 9, 907 – 914, 2014 年 09 月.
- Kinoshita Y, Tanaka S, Souzaki R, Miyoshi K, Kohashi K, Oda Y, Nakatsura T, Taguchi T: Glypican 3 Expression in Pediatric Malignant Solid Tumors., *Eur J Pediatr*, 25, 1, 138 – 144, 2015 年 01 月.
- Taguchi T, Kinoshita Y, Kouji Nagata, Esumi G: Progress in and outcomes of neonatal surgery over the past 50 years, *Nihon Geka Gakkai Zasshi*, 115, 6, 306 – 311, 2014 年 06 月.
- 福田 和美, 中尾 久子: 術後せん妄を発症した高齢患者の家族の体験, *The Journal of Nursing Investigation*, 13, 1,2, 20 – 28, 2015 年 03 月.
- Sawatari H, Chishaki A, Miyazono M, Hashiguchi N, Maeno Y, Chishaki H, Tochiyama Y: Different Physiological and Subjective Responses to the Hyperthermia Between Young and Older Adults: Basic Study for Thermal Therapy in Cardiovascular Diseases, *The journals of gerontology Series A, Biological sciences and medical sciences*, 2014 年 12 月.
- Sawatari H, Chishaki A, Nishizaka M, Matsuoka F, Yoshimura C, Kuroda H, Rahmawati A, Hashiguchi N, Miyazono M, Ono J, Ohkusa T, Ando S: A Nationwide Cross-sectional Study on Congenital Heart Diseases and Symptoms of Sleep-disordered Breathing among Japanese Down’s Syndrome People, *Internal medicine*, 54, 9, 1003 – 1008, 2015 年 01 月.
- Rahmawati A, Chishaki A, Ohkusa T, Sawatari H, Hashiguchi N, Ono J, Kuroda H, Nishizaka M, Ando S: Relationship between sleep postures and sleep-disordered breathing parameters in people with Down syndrome in Japan, *Sleep and Biological Rhythms*, 2015 年 01 月.
- Hiroko Noto, Satoshi Muraki: Effect of rear-wheel operation of a manual wheelchair on user’s riding comfort and helper’s physical strain while navigating steps, *International Journal of Biomedical Soft Computing and Human Sciences*, 19, 1, 17 – 22, 2014 年 05 月.
- Yumiko Kinoshita, Rieko Kawamoto, Akiko Chishaki, Mami Miyazono, Maki Kanaoka, Akiko Tomioka, Chie Magota, Miyuki Ushio, Hisako Nakao, Ryuichi Mibu: The Correlation between Rosenberg Self-esteem and QOL in Patients with Lower Rectal Cancer after Sphincter-saving Surgery: A Prospective 12-month Follow-up Study , *インターナショナル Nursing Care Research*, 13, 2, 1 – 7, 2014 年 05 月.
- Yumiko Kinoshita, Akiko Chishaki, Rieko Kawamoto, Tatsuya Manabe, Takashi Ueki, Keiji Hirata, Mami Miyazono, Maki Kanaoka, Akiko Tomioka, Masahiro Nakano, Tomoko Ohkusa, Hisako Nakao, Masao Tanaka, Ryuichi Mibu: A longitudinal study of gender differences in quality of life among Japanese patients with lower rectal cancer treated with sphincter-saving surgery: a 1-year follow-up, *World Journal of Surgical Oncology*, 13:91 , 2015 年 02 月.
- 山中 真, 梶原 弘平, 澤渡浩之, 他: 転倒外傷予防に向けた新しい看護管理手法の提案, *インターナショナル Nursing Care Research*, 13, 3, 11 – 18, 2014 年 10 月.

- 大村 由紀美, 藤野 ユリ子, 川本 利恵子, 藤野 成美, 末次 美子, 金岡 麻希, 松本 裕子, 山下 春江, 馬場 チェミ, 重松 博子, 中畑 高子: 大学病院看護師への看護研究支援の実態と必要な支援体制
- Maki Kanaoka, Yumiko Kinoshita, Akiko Chishaki: Identification of the interaction patterns between adult living liver transplant recipients and donors during the preoperative hospitalization period and associated factors, *Japanese Journal of Applied Psychology*, *Japanese Journal of Applied Psychology*, 40, 3, 157 - 166, 2015 年 03 月.
- Kohei Kajiwara, Hisae Nakatani, Ono Mitsu, Yukiko Miyakoshi: Positive appraisal of in-home family caregivers of dementia patients as an influence on the continuation of caregiving, *PSYCHOGERIATRICS*, 15, 26 - 31, 2015 年 3 月.
- 藤田 紋佳, 林田 真, 田口 智章: 生体肝移植後の学童後期・思春期の小児の療養生活の実態と生活の満足, *日本移植学会*, 49, 2・3, 2014 年 06 月.
- 吉川由香里, 藤野ユリ子, 道面 千恵子: 新人看護教育における e-learning 教材評価の比較研究—インタラクティブ教材とビデオ教材を比較して—, *インターナショナル Nursing Care Research*, 81 - 90, 2014 年 10 月.
- 木原 深雪, 北岡 和代: アルコール依存症者の飲酒欲求につながる感情体験の分析, *金沢大学つるま保健学会*, 38, 2, 1 - 10, 2014 年 12 月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Hiroyuki Sawatari, Kazuya Hosokawa, Shinichi Ando, Mami Miyazono, Mari Konishi Nishizaka, Masao Takemoto, Hiroaki Chishaki, Rahmawani Anita, Kenji Sunagawa, Akiko Suyama Chishaki: Sleep Quality and Cardiac Function in Patients with Heart Failure and Sleep-disordered Breathing were Improved by Leg Thermal Therapy: A Novel Analysis Based on Polysomnography, SLEEP 2014, the 28th Annual Meeting of the Associated Professional Sleep Societies, 2014 年 06 月 02 日, United States of America.
- Anita Rahmawati, Akiko Suyama Chishaki, Michinobu Nagao, Kazuo Adachi, Mari Konishi Nishizaka, Shinichi Ando: Evaluation Of Pharyngeal Collapsible Sites With Magnetic Resonance Imaging In Obstructive Sleep Apnea Patients During Wakefulness, SLEEP 2014, the 28th Annual Meeting of the Associated Professional Sleep Societies, LLC, 2014 年 06 月 03 日, United States of America.
- Susumu Takase, Yasushi Mukai, Tomomi Nagayama, Shujiro Inoue, Masao Takemoto, Akiko Suyama Chishaki, Kenji Sunagawa: Disopyramide effectively suppressed electrical storm in idiopathic ventricular fibrillation with early repolarization syndrome, CARDIOSTIM-EHRA EUROPACE 2014, 2014 年 06 月 20 日, France.
- Hisako Nakao, Akiko Suyama Chishaki, Mami Miyazono, Yoshiaki Kinoshita, Maki Kanaoka, Akiko Tomioka, Kohei Kajiwara, Chie Magota, Miyuki Ushio: Change in consciousness of the nursing student by the experience-based education about the physical restraint., ICAP (the 28th International Congress of Applied Psychology), 2014 年 07 月 10 日, France.
- Hiroyuki Sawatari, Kazuya Hosokawa, Mari Konishi Nishizaka, Mami Miyazono, Shinichi Ando, Masao Takemoto, Takashi Sakamoto, Chishaki Hiroaki, Kenji Sunagawa, Akiko Suyama Chishaki: Cardiac function and sleep quality in patients with chronic heart failure and sleep disordered breathing were improved by leg thermal therapy, ESC Congress 2014, 2014 年 09 月 01 日, Spain.
- Hiroyuki Sawatari, Akiko Suyama Chishaki, Mari Konishi Nishizaka, Tomohiro Tokunou, Tikara Yoshimura, Tomoko Ohkusa, Shinichi Ando: The accumulation of hypoxemia a newly developed index, well predicts vascular endothelial dysfunction in patients with sleep disordered breathing., ESRS2014(22nd Congress of The European Sleep Research Society), 2014 年 09 月 20 日, Russia.
- Chie Magota, Ando shinichi, Mari Konishi Nishizaka, Nobuko Hashiguchi, Tomoko Ohkusa, Akiko Suyama Chishaki: A Study On The Meteorological Analysis of Nocturnal Falls During Sleep In Hospital, World Congress on Sleep Medicine 2015.(国際睡眠学会 2015), 2015 年 03 月 23 日, South Korea.
- Hiroyuki Sawatari, Shinichi Ando, Mari Konishi Nishizaka, Mami Miyazono, Takashi Sakamoto, Hiroaki Chishaki, Tomoko Ohkusa, Chie Magota, Kenji Sunagawa, Akiko Suyama Chishaki: Accumulated nocturnal hypoxemia was a better predicting factor in vascular endothelial dysfunction in patients with chronic heart failure and sleep disordered breathing,

World Congress on Sleep Medicine 2015.(国際睡眠学会 2015) , 2015年03月22日, Korea.

- Eitaro Kodani, Hirotsugu Atarashi, Hiroshi Inoue, Ken Okumura, Takeshi Yamashita, Yamashita Takeshi, Akiko Suyama Chishaki: Status of Anticoagulation Therapy and Incidence of Events in Japanese Elderly Patients with non-valvular atrial fibrillation: a report from the J-RHYTHM Registry, ESC Congress 2014 , 2014年09月02日, Spain.
- Tadimitsu Nakashima, Tomoko Ohkusa, Tomoko Nao, Yasuaki Wada, Takeshi Ueyama, Shigeki Kobayashi, Yasuhiro Ikeda, Hiroyuki Sawatari, Akiko Suyama Chishaki, Shinichi Ando, Masafumi Yano: Finding out a useful parameter of sleep disordered breathing in chronic heart failure patients , American Heart Association(AHA)2014, 2014年11月17日, United States of America.
- Tadimitsu Nakashima, Tomoko Ohkusa, Tomoko Nao, N Harada, Yasuaki Wada, Takeshi Ueyama, Shigeki Kobayashi, Yasuhiro Okeda, Hiroyuki Sawatari, Akiko Suyama Chishaki, Shinichi Ando, Masafumi Yano: Correlations between sleep disordered breathing indexes and cardiac functional parameters in patients with chronic heart failure, American Heart Association(AHA)2014, 2014年11月17日, United States of America.
- Yumiko Takedomi, Kimie Fujita, Yasuko Tabuchi: The Characteristics of Post-Traumatic Growth of Bereaved Spouses in Palliative Care Units, 18th East Asia forum nursing scholarship conference , 2015年02月05日, Japan
- Kimie Fujita: Changes in the Euro-Qol and depression, and post-operative patient satisfaction 5 years after total hip arthroplasty, 18th East Asia forum nursing scholarship conference , 2015年02月05日, Taiwan.
- Hisako Nakao, Akiko Suyama Chishaki, Mami Miyazono, Yumiko Kinoshita, Maki Kanaoka, Akiko Tomioka, Kohei Kajiwara, Chie Magota, Miyuki Ushio: Change in consciousness of the nursing student through experience-based education about physical restraint, 29th International Congress of Applied Psychology, 2014年06月25日, France.
- Yukiko Arata, Hisako Nakao :The Relation of Positive Emotions and Psychological Well-Being among Nurses, 29th International Congress of Applied Psychology, 2014年06月27日, France.
- Maki Kanaoka, Yumiko Kinoshita, Mami Miyazono, Hisako Nakao: Feeling and Action of Living donors Toward Recipients During the Perioperative Period of Adult -Adult Liver Transplantation, 23rd Annual International Transplant Nurses Society Symposium, 2014年09月28日, United States of America.
- Maki Kanaoka, Yumiko Kinoshita, Mami Miyazono, Hisako Nakao: Feelings and action of living donors toward recipients during the perioperative period of adult to adult liver transplantation, 23rd Annual International Transplant Nurses Society Symposium, 2014年09月27日, United States of America.
- Akiko Tomioka, Hiroaki Yamase, Jyunko Tatsuno, Yumiko Kinoshita, Kimie Fujita: Thoughts and Experiences of Family Members in Attendance During Cardiopulmonary Resuscitation, 18th East Asia forum nursing scholarship conference , 2015年02月05日, Taiwan.
- Ayaka Fujita, Nobue Nakamura, Makoto Hayashida, Tomoaki Taguchi: Daily Life Experiences and Health-Related QOL among Parents of Preadolescent and Adolescent Living Liver Transplant Recipients., The World Transplant Congress 2014, 2014年07月27日, United States of America.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 萩原聖子, 加来 恒壽, 松隈敬太, 小川伸二: 境界悪性傍卵管腫瘍の3例, 日本婦人科腫瘍学会雑誌, , 2014年07月.
- 園田 顕三, 小林 裕明, 矢幡 秀昭, 野上美和子, 仲 正喜, 大久保文彦, 山元 英崇, 小田 義直, 加来 恒壽, 加藤 聖子: 特徴的な細胞所見を呈した子宮頸部明細細胞腺癌の一例, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, , 2014年07月.

- 濱田 裕子, 藤田紋佳: 子どものターミナルケアにおける「看とりの場」の検証～日本型小児ホスピスに必要な「看とりの場」の探求～, 2014 年度笹川記念保健協力財団;ホスピス緩和ケアに関する研究助成報告書, , 2015 年 02 月.

e. 国内学会での講演, 発表

- 山口善子, 原田 博子, 大池 美也子: Is effective fro nursing to fulfill the family role?:Examination effect of work role, family role and work-family conflict among japanese hospital nurses, 日本看護科学学会学術集会第 34 回, 2014 年 11 月 29 日.
- 道面 千恵子, 大池 美也子, 原田 博子, 長家智子: 看護技術教育における ICT 学習システムの活用状況と自己評価・他者評価の関連, 日本看護研究学会 第 40 回学術集会, 2014 年 08 月 23 日, 奈良県文化会館.
- 井上 修二郎, 向井 靖, 樗木 晶子, 砂川 賢二: 特発性心室細動の繰り返す Vf 発作抑制にジソピラミド内服が有効だった症例, 第 19 回福岡山口臨床不整脈研究会, 2014 年 04 月 25 日, リーガロイヤル小倉.
- 澤渡 浩之, 細川 和也, 宮園 真美, 西坂 麻里, 安藤 眞一, 竹本 真生, 井上 修二郎, 坂本 隆史, Anita Rahmawati, 橋口 暢子, 樗木 浩朗, 大草 知子, 砂川 賢二, 樗木 晶子: メディカル部門で最優秀賞 睡眠呼吸障害を合併した慢性心不全患者における下肢加温療法による睡眠改善が及ぼす心機能への効果, 第 34 回日本ホルター・ノンインベイスブ心電学研究会, 2014 年 06 月 07 日, 名古屋.
- Anita Rahmawati, Akiko Suyama Chishaki, Michinobu Nagao, Tomoko Ohkusa, Kazuo Adachi, Chikara Yoshimura, Mari Konishi Nishizaka, Shinichi Ando: Gender Differences in Pharyngeal Water Contents in Obstructive Sleep Apnea: Magnetic Resonance Imaging Study, 日本睡眠学会第 39 回定期学術集会, 2014 年 07 月 03 日, 徳島.
- Anita Rahmawati, Akiko Suyama Chishaki, Michinobu Nagao, Tomoko Ohkusa, Kazuo Adachi, Chikara Yoshimura, Mari Konishi Nishizaka, Shinichi Ando: Magnetic Resonance Imaging Study of Pharyngeal Collapsible Sites In Obstructive Sleep Apnea Patients During Wakefulness, 日本睡眠学会第 39 回定期学術集会, 2014 年 07 月 03 日, 徳島.
- 澤渡浩之, 樗木 晶子, 西坂 麻里, 得能 智武, 吉村 力, 大草 知子, 安藤 眞一: 睡眠呼吸障害患者における血管内皮機能障害は、睡眠中の低酸素の蓄積に依存する, 第 35 回日本循環制御医学会総会, 2014 年 07 月 05 日, 福岡 九州大学百年講堂.
- 澤渡浩之, 細川 和也, 宮園 真美, 西坂 麻里, 安藤 眞一, 竹本 真生, 井上 修二郎, 坂本 隆史, Anita Rahmawati, 橋口 暢子, 樗木浩朗, 大草知子, 砂川 賢二, 樗木 晶子: 下肢加温療法は、睡眠呼吸障害を合併した慢性心不全患者の心機能を改善する, 第 35 回日本循環制御医学会総会, 2014 年 07 月 05 日, 九州大学 百年講堂.
- 中島 唯光, 大草 知子, 名尾 朋子, 原田 典子, 和田 靖明, 上山 剛, 小林 茂樹, 池田 安宏, 澤渡 浩之, 樗木 晶子, 安藤 眞一, 矢野雅文: 慢性心不全患者での睡眠呼吸障害指標と心機能指標の関連についての検討, 第 35 回日本循環制御医学会総会, 2014 年 07 月 05 日, 九州大学 百年講堂.
- 黒田 裕美, 小野 淳二, 澤渡 浩之, 宮園 真美, 橋口 暢子, 大草 知子, 西坂 麻里, 樗木 晶子: ダウン症者の養育者における睡眠呼吸障害の認識, 日本看護研究学会第 40 回学術集会, 2014 年 08 月 24 日, 奈良文化会館.
- 樗木 晶子: しなやかに、きらめいて女性医師へのエール, 日本麻酔科学会 中国・四国支部 第 51 回学術集会, 2014 年 09 月 13 日, 海峡メッセ下関.
- 樗木 晶子: 心房細動の温故知新, NOAC 研究会～実地臨床に役立つ候血栓療法を学ぶ～, 2014 年 10 月 02 日, アークホテル岡山.
- 澤渡浩之, 樗木 晶子, 西坂 麻里, 得能 智武, 吉村 力, 大草 知子, 安藤 眞一: 睡眠呼吸障害患者における血管内皮機能障害は、睡眠中の低酸素の蓄積に依存する, 第 35 回日本循環制御医学会総会, 2014 年 07 月 05 日, 福岡 九州大学百年講堂.
- 澤渡浩之, 細川 和也, 宮園 真美, 西坂 麻里, 安藤 眞一, 竹本 真生, 井上 修二郎, 坂本 隆史, Anita Rahmawati, 橋口 暢子, 樗木浩朗, 大草知子, 砂川 賢二, 樗木 晶子: 下肢加温療法は、睡眠呼吸障害を合併した慢性心不全患者の心機能を改善する。 , 第 35 回日本循環制御医学会総会, 2014 年 07 月 05 日, 九州大学 百年講堂.
- 中島 唯光, 大草 知子, 名尾 朋子, 原田 典子, 和田 靖明, 上山 剛, 小林 茂樹, 池田 安宏, 澤渡 浩之, 樗木 晶子, 安藤 眞一, 矢野雅文: 慢性心不全患者での睡眠呼吸障害指標と心機能指標の関連についての検討, 第 35 回日本循環制御医学会総会, 2014 年 07 月 05 日, 九州大学 百年講堂.

- 黒田 裕美, 小野 淳二, 澤渡 浩之, 宮園 真美, 橋口 暢子, 大草 知子, 西坂 麻里, 樗木 晶子: ダウン症者の養育者における睡眠呼吸障害の認識, 日本看護研究学会第 40 回学術集会, 2014 年 08 月 24 日, 奈良文化会館.
- 樗木 晶子: しなやかに、きらめいて女性医師へのエール, 日本麻酔科学会 中国・四国支部 第 51 回学術集会, 2014 年 09 月 13 日, 海峡メッセ下関.
- 樗木 晶子: 心房細動の温故知新, NOAC 研究会～実地臨床に役立つ候血栓療法を学ぶ～, 2014 年 10 月 02 日, アークホテル岡山.
- 澤渡 浩之, 宮園 真美, 西坂 麻里, 安藤 眞一, 竹本 真生, 井上 修二郎, 坂本 隆史, 細川 和也, Anita Rahmawati, 橋口 暢子, 樗木 浩朗, 大草 知子, 孫田 千恵, 砂川 賢二, 樗木 晶子: 心不全患者における睡眠中の低酸素結晶の蓄積モニターすることの重要性の検討, 第 2 回看護理工学会学術集会, 2014 年 10 月 05 日, 大阪大学.
- 小野 淳二, 橋口 暢子, 宮園 真美, 澤渡 浩之, 孫田 千恵, 大草 知子, 樗木 晶子: 冬季を想定した入浴条件下における高齢者の血圧変動, 2014 循環器看護学会, 2014 年 10 月 04 日, 東京.
- 村上 雄二, 井上 修二郎, 向井 靖, 樗木 晶子, 砂川 賢二: 長期間持続した器質的心疾患のない促進性心室固有調律の若手症例, 日本不整脈学会カテーテルアブレーション関連手記大会 2014 第 26 回カテーテルアブレーション委員会公開研究会, 2014 年 10 月 10 日, 朱鷺メッセ:新潟コンベンションセンター.
- 香月 俊輔, 向井 靖, 花村文康, 井上 修二郎, 樗木 晶子, 砂川 賢二: 多彩な non-PV trigger を認めた pAf 症例, 日本不整脈学会カテーテルアブレーション関連手記大会 2014 第 26 回カテーテルアブレーション委員会公開研究会, 2014 年 10 月 10 日, 朱鷺メッセ:新潟コンベンションセンター.
- 樗木 晶子: 心房細動の温故知新, NOAC 研究会～実地臨床に役立つ抗血栓療法を学ぶ～, 2014 年 10 月 02 日, アークホテル岡山.
- Tadamitsu Nakashima, Tomoko Ohkusa, Tomoko Nao, Noriko Harada, Yasuaki Wada, Takeshi Ueyama, Shigeki Kobayashi, Yasuhiro Ikeda, Hiroyuki Sawatari, Akiko Suyama Chishaki, ando shinichi, Masafumi Yano: Analysis of correlation between sleep disordered breathing indexes and cardiac functional parameters in chronic heart failure patients, 第 18 回日本心不全学会学術集会, 2014 年 10 月 11 日, 大阪国際会議場.
- 樗木 晶子: 心房細動患者における抗凝固療法-病診連携時の工夫-, 大牟田抗凝固療法病診連携カンファレンス, 2014 年 11 月 11 日, 福岡(オームタガーデンホテル).
- 澤渡 浩之, 樗木 浩明, Anita Rahmawati, 眞茅 みゆき, 大塚祐子, 仲井盛, 宮園 真美, 橋口 暢子, 櫻田 春水, 向井 靖, 向井 靖, 砂川 賢二, 樗木 晶子: 植込み型除細動器埋め込み患者における左室駆出率と心的外傷後ストレス障害との関連, 第 71 回日本循環器心身医学学会総会, 2014 年 11 月 23 日, 北海道大学学術会館.
- 樗木 晶子: 植込み型除細動器患者における心理・精神面の現状とその対応策, 第 71 回日本循環器心身医学学会総会, 2014 年 11 月 23 日, 北海道大学学術会館.
- 丸山 徹, 樗木 晶子, 安田潮人, 井上 修二郎, 向井 靖, 市成浩太郎: ICD,CRT-D に係る INPO 法人の活動の動向と不整脈診療, 第 71 回日本循環器心身医学学会総会, 2014 年 11 月 22 日.
- 孫田 千恵, 安藤 眞一, 西坂 麻里, 大草 知子, 橋口 暢子, 宮園 真美, 澤渡 浩之, 小野 淳二, 樗木 晶子: 入院患者の排泄行為に垂れ流した転倒に関する調査, 第 34 回日本看護科学会, 2014 年 11 月 30 日, 名古屋国際会議場.
- 橋口 暢子, 孫秀英, 三上聡美, 宮園 真美, 澤渡 浩之, 小野 淳二, 孫田 千恵, 大草知子, 樗木 晶子, 栃原 裕: 高齢者における温冷覚閾値評価, 看護理工学会学術集会, 2014 年 10 月 05 日, 大阪大学豊中キャンパス.
- 宮園 真美, 澤渡 浩之, 小野 淳二, 橋口 暢子, 孫秀英, 三上 聡美, 孫田 千恵, 豊福 佳代, 山崎 啓子, 伊豆倉 理江子, 大草 知子, 栃原 裕, 樗木 晶子: 脚部サウナ継続使用が高齢女性の血管内皮機能、寒冷感および睡眠状態へ及ぼす影響, 第 2 回看護理工学会学術集会, 2014 年 10 月 05 日, 大阪大学.
- 橋口暢子 入浴時の温熱環境と生理・心理反応, 第 38 回人間-生活環境シンポジウム, 2014 年 12 月 07 日, 長崎.
- 樗木 晶子, 小野 淳二, 孫田 千恵, 橋口 暢子, 澤渡 浩之, 宮園 真美, 大草 知子, 栃原 裕: 高齢者入浴時の循環器負担, 第 38 回人間-生活環境シンポジウム, 2014 年 12 月 07 日, 長崎.

- 小野 淳二, 大草 知子, 橋口 暢子, 宮園 真美, ソンスヨン, 孫田 千恵, 澤渡 浩之, 枋原 裕, 樗木 晶子: 高齢者の入浴における生理指標の検討-若年者との比較, 第 38 回人間-生活環境シンポジウム, 2014 年 12 月 06 日, 長崎.
- 河合 俊輔, 向井 靖, 高瀬 進, 坂本 和生, 井上 修二郎, 樗木 晶子, 大井 敬司, 砂川 賢二: プルキン工起源の心室性期外収縮を契機とした特発性心室細動に対しアブレーションが奏功した若年男性の 1 例, 第 27 回心臓性急死研究会, 2014 年 12 月 20 日, 東京コンファレンスセンター.
- 澤渡 浩之, 樗木 浩朗, アニタ・サラワティ, 眞茅 みゆき, 大塚 祐子, 仲井 盛, 宮園 真美, 橋口 暢子, 櫻田 春水, 向井 靖, 井上 修二郎, 砂川 賢二, 樗木 晶子: 植込み型除細動器患者の Quality of Life における性差, 第 8 回日本性差医学・医療学会学術集会, 2015 年 02 月 01 日, ホテルクレメント徳島.
- 篠田 雅子, 柿野 貴盛, 大賀 泰寛, 木村 真紀, 村山 佳範, 高尾 恒彰, 樗木 晶子, 戸高 浩司, 芝 啓一郎, 砂川 賢二: 頸髄損傷患者における受傷後の立位訓練時の血圧測定を行い、受傷急性期から慢性期にかけての起立性低血圧およびその随伴症状の経過調査, 第 6 回日本ニューロリハビリテーション学会, 2015 年 02 月 21 日, 秋田ビューホテル.
- 下代清香, 渡邊 壽美子, 大石 善丈, 加来 恒壽, 桑岡 勲, 大屋正文, 江口冬樹, 杉島 節夫: 子宮頸部扁平上皮病変におけるHPV感染と二核細胞の出現意義, 第 55 回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2014 年 06 月 07 日, パシフィコ横浜.
- 軍馬麻紀, 渡邊 壽美子, 林田涼, 西村和徳, 仲正喜, 杉島 節夫, 岩坂剛, 加来 恒壽: 二核細胞の検討Ⅱ～出現機序および細胞周期との関連性について～, 第 55 回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2014 年 06 月 06 日, パシフィコ横浜.
- 八尋裕美子, 田中亜都子, 舟越乾, 加来 恒壽, 檜垣浩一, 大田喜孝: 当事業者における AGC 症例の検討, 第 55 回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2014 年 06 月 07 日, パシフィコ横浜.
- 加来 恒壽: 領域別ガイドライン 卵巣(各論), 第 55 回日本臨床細胞学会総会春期大会, 2014 年 06 月 06 日, パシフィコ横浜.
- 矢幡 秀昭, 一戸 晶元, 兼城 英輔, 河野 善明, 奥川 馨, 園田 顕三, 加来 恒壽, 大石 善丈, 大久保文彦, 仲 正喜, 中附 加奈子, 山元 英崇, 小田 義直, 加藤 聖子: 頸部細胞診所見が契機となり小細胞癌と扁平上皮癌の共存が疑われた子宮頸癌の一例, 第 53 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2014 年 11 月 08 日, 海峡メッセ下関.
- 今村 亜由美, 中尾 友美, 小江 奈美子, 岡 佳子, 小川 和美, 古賀 明美, 島 歌織, 永瀧美樹, 藤田 君支: 糖尿病看護実践における理論活用に向けた課題 第 2 回九州慢性看護実践セミナーを通して, 日本慢性看護学会, 2014 年 07 月 05 日, 福岡県久留米市.
- 島 歌織, 藤田 君支, 古賀明美: 保存期慢性腎臓病患者の身体活動量と疲労に関する調査, 日本慢性看護学会, 2014 年 07 月 05 日, 福岡県久留米市.
- 島 歌織, 古賀明美, 今村 亜由美, 小江 奈美子, 岡 佳子, 小川 和美, 中尾 友美, 永瀧 美樹, 藤田 君支: 糖尿病透析予防指導管理の現状と課題 九州慢性看護実践セミナーを通して, 日本糖尿病学会, 2014 年 05 月 22 日, 大阪市.
- 明時由里子, 藤田 君支, 中島史子, 井手衆哉: 65 歳以上の人工膝関節患者の手術前後の生活活動量, 日本老年看護学会, 2014 年 06 月 28 日, 名古屋市.
- 中島 史子, 藤田 君支: 人工股関節置換術前後の歩数と健康関連 QOL 両側人工股関節全置換術と片側人工股関節全置換術前後の比較, 第 34 回日本看護科学学会学術集会, 2014 年 11 月 29 日, 名古屋市.
- 青野 広子, 濱田 裕子, 藤田 紋佳: 血友病をもつ思春期の子どもの病気に伴う体験, 第 24 回日本小児看護学会, 2014 年 07 月 01 日, タワーホール船堀(東京)
- 濱田 裕子, 京極新治, 山下郁代: 重い病気や障がいのある子どものヘルスプロモーションを考える～福岡子どもホスピスプロジェクトの実践活動(アクションリサーチ)をとおして, 第 45 回日本看護学会ヘルスプロモーション, 2014 年 08 月 29 日, 熊本県立劇場.
- 原田 博子, 道面 千恵子, 長家 智子: 看護学生を対象にした根本原因分析法演習の検討と今後の課題、原田博子、道面千恵子、長家智子、2014 年 8 月 27 日、, 日本看護教育学会, 2014 年 08 月 27 日, 千葉県幕張.
- 木下 義晶, 代居 良太, 川久保 尚徳, 宗崎 良太, 西村 美穂, 大園 秀一, 田口 智章: 難治性小児胚細胞腫瘍の分析と治療戦略, 第 114 回日本外科学会定期学術集会, 2014 年 04 月 01 日, 京都.

- 木下 義晶, 江角 元史郎, 宗崎 良太, 永田 公二, 林田 真, 家入 里志, 田口 智章: 新生児外科手術における臍部アプローチ, 第 51 回日本小児外科学会学術集会, 2014 年 05 月 01 日, 大阪.
- 木下 義晶, 江角 元史郎, 永田 公二, 宗崎 良太, 林田 真, 家入 里志, 落合 正行, 原 寿郎, 田口 智章: 先天性心疾患を合併した新生児結腸穿孔の 3 例, 第 50 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 2014 年 07 月 01 日, 千葉.
- 木下 義晶, 宗崎 良太, 川久保 尚徳, 代居 良太, 中島 健太郎, 古賀 友紀, 久田 正昭, 三好きな, 孝橋 賢一, 小田 義直, 高田 英俊, 原 寿郎, 田口 智章: 九州大学病院における小児固形腫瘍のキャンサーボード活動状況, 第 56 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2014 年 11 月 01 日, 岡山.
- 丸山 マサ美, Wolfgang Michel, 吉田 眞一, 小宗 静男: 九州大学医学部における史料研究-1997 年調査-, 日本医史学会, 2014 年 06 月 01 日, 九州国立博物館.
- 丸山 マサ美: アメリカ公文書館訪問 The National Archives & Records Administration, 日本看護歴史学会, 2014 年 09 月 07 日, 岐阜大学.
- 丸山 マサ美: 臨床倫理現場における看護倫理問題をいかに解くか-倫理的感受性を高めるための看護倫理教育, 日本看護学教育学会, 2014 年 08 月 27 日, 幕張メッセ国際会議場.
- 丸山 マサ美: 医療専門家の行動規範-The National Archives & Records Administration, RG331, 外科医直筆文の一考察-, 日本医史学会福岡地方会, 2015 年 02 月 21 日, 福岡ガーデンパレス.
- 丸山 マサ美: 九州大学史料研究-九州帝国大学医学部史料を中心として-, 日本医史学会第 26 回福岡地方会, 2015 年 2 月 21 日, 福岡ガーデンパレス.
- 丸山 マサ美: マイクロカウンセリングに基づいた看護のためのコミュニケーション教育(第一報), 日本マイクロカウンセリング学会平成 26 年度学術研究集会, 2015 年 3 月 8 日, アルカディア市ヶ谷私学会館.
- Hiroko Noto, Satoshi Muraki: 車いす段差通過時の介助姿勢が走行動態と快適性に及ぼす影響, 第 27 回バイオメディカルファジィシステム学会, 2014 年 11 月 15 日, 昭和大学(旗の台キャンパス).
- 梶原 弘平, 河野精一郎, 吉村満希, 西村理恵, 国崎八千代, 中尾 久子: 認知症高齢者の家族介護者の介護認識に対する簡便な介入による効果の検討, 日本老年看護学会 第 19 回学術集会, 2014 年 06 月 28 日, 愛知県産業労働センター.
- 金岡 麻希, 田中 さとみ: 肝移植患者に対する術後の食事指導の実態調査, 第 10 回日本移植・再生医療看護学会学術集会, 2014 年 11 月 22 日, 千里ライフサイエンスセンター (大阪府).
- 田中 さとみ, 金岡 麻希: 肝移植患者の術後の食品制限に関する実態調査, 第 10 回日本移植・再生医療看護学会学術集会, 2014 年 11 月 22 日, 千里ライフサイエンスセンター (大阪府).
- 大村 由紀美, 末次 美子, 金岡 麻希, 酒井 久美子, 吉川 由香里, 山下 春江: 大学病院と大学が連携して行う看護研究能力を育成するための取り組みとサポート体制の課題, 2014 年 11 月 29 日, 名古屋国際会議場(愛知県).
- 中村 妙子, 須古井 和美, 酒井 久美子, 長門 佐智子, 金岡 麻希: 退院調整担当看護師の退院支援活動に関する調査, 第 19 回日本在宅ケア学会学術集会, 2014 年 11 月 30 日, 九州大学百年講堂(福岡県).
- 藤田 紋佳, 中村伸枝, 佐藤奈保, 林田 真, 松浦 俊治, 木下 義晶, 濱田 裕子, 田口 智章: 生体肝移植後の学童後期から思春期の子どもの QOL 維持・向上を目指した療養生活のモニタリング指標の作成, 日本移植学会, 2014 年 09 月 11 日, 京王プラザホテル.
- 道面 千恵子, 原田 博子, 長家智子: 医療安全の視点で実施した看護技術チェックの評価, 日本看護学教育学会第 24 回学術集会, 2014 年 08 月 27 日, 千葉幕張メッセ.
- 富岡明子: 子供の心肺蘇生に立ち会った家族の認識や思い(事例報告), 日本看護研究学会 第 19 回九州・沖縄地方会学術集会, 2014 年 11 月 8 日, 熊本市市民会館.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- 樗木 晶子: (共著) 高齢者のこころとからだ事典 疾患・概論ー老化による機能低下と疾患への移行、疾患(高血圧症)ー症状の理解と対応ー、メタボリック症候群ーその理解と対応ー 共著 編集 佐藤眞一ら, 2014年09月, 中央法規出版.
- 樗木 晶子: (共著) 循環器病 予防ハンドブック 第7版 「胸写・心電図」共著 豊島英明, 2014年10月, (株)保健同人社.
- 樗木 晶子: (共著) 不整脈治療 update 第3巻, ワルファリンの薬理作用・薬物動態, 年月, 医薬ジャーナル社.
- 加来 恒壽: (共著) 細胞診ガイドライン① 婦人科・泌尿器 2015年版 外陰/膣/子宮頸部/子宮体部/卵巣/泌尿器, 2015年03月, 金原出版株式会社.
- 藤田 君支: (共著) よくわかる看護研究論文のクリティーク, 2014年06月, 日本看護協会出版会.
- 中尾 久子: (単著) 高齢者こころとからだ事典 8 身体の病 38.服薬, 2014年08月, 中央法規.
- 中尾 久子: (単著) 看護倫理実践事例 46. 第1章 4.看護倫理教育のすすめ方、看護学生の習熟度に応じた倫理教育のあり方, 2014年06月, 日本総合研究所.
- 橋口 暢子: (共著) 「人間科学の百科事典」 6. ヒトと環境 7. ヒトの営み 入浴 8. 健康と生活介護, 2015年01月, 丸善出版.
- 木下 由美子: (単著) 高齢者のこころ・からだ事典, 2014年08月, 日本老年行動科学会.
- 小田 正枝, 窪田 恵子, 森田 敏子, 穴井 めぐみ, 青山 和子, 村山 由起子, 古川 薫子, 伊玉鐘, 井手 裕子, 藤田 紋佳, 濱田 裕子, 唐崎 愛子, 藤田 稔子, 小野 正子, 三橋 睦子, 下舞 紀美代, 山本 真弓, 宮川 操: (共著) 症状別看護過程ーアセスメント・看護計画がわかる!ー, 2014年12月, 照林社.

b. 総説

- 澤渡 浩之, 樗木 晶子: 循環器疾患患者における睡眠時無呼吸に対する看護支援の最前線, 循環器ナーシング 循環器看護の最新トピックス, 2015年02月.
- 樗木 晶子, 宮園 真美: 植込み型除細動器患者の現状とメンタルケアの必要性, Nursing BUSINESS, 2014年05月.
- 中尾 久子, 木下 由美子: 中尾塾 事例とともに考える倫理教育(第1回) 終末期医療, 産労総合研究所, 2014年04月.
- 中尾 久子, 梶原 弘平: 中尾塾 事例とともに考える倫理教育(第2回) 意識レベルの低下した患者への抑制, 師長主任業務実践, 2014年05月.
- 中尾 久子, 潮 みゆき: 中尾塾 事例とともに考える倫理教育(第3回) 手術を受ける患者へのインフォームド・コンセント, 師長主任業務実践, 2014年06月.
- 中尾 久子, 金岡 麻希: 中尾塾 事例とともに考える倫理教育(第4回) 移植手術を受ける患者家族への支援, 師長主任業務実践, 2014年07月.
- 宮園 真美, 中尾 久子: 中尾塾 事例とともに考える倫理教育(第5回) 「権威」に対するアサーティブコミュニケーション, 師長主任業務実践, 2014年08月.
- 原田 博子, 中尾 久子: 中尾塾 事例とともに考える倫理教育(第6回)看護管理者としての倫理的感受性, 中尾塾 事例とともに考える倫理教育(第6回)看護管理者としての倫理的感受性, 2014年09月.
- 濱田 裕子: 障がいのある子どもの痛みと不安をどう考えるかー小児緩和ケアの視点から障がいのある子どもの苦痛を考えるー, 小児看護, 2014年05月.
- 道面 千恵子, 原田 博子: 医療安全の視点で実施した看護技術チェックの評価と活用, 看護人材育成隔月創刊, 2014年12月.

c. 解説, 書評など

- 吉村千草, 大池 美也子, 原田 博子: 看護師の働きがいに関する文献検討, 発達社会学研究, 2014年12月.
- 平川善大, 大池 美也子, 原田 博子: 看護基礎教育におけるeラーニングに関する文献的考察ー双方向型eラーニングの現状と今後の展望ー, 発達社会学研究 第6号, 2014年12月.
- 藤田 紋佳, 濱田 裕子: 2014年度10月号 プチナース別冊付録 関連図 BOOK 悪心・嘔吐, 2014年10月.

受賞

- 澤渡, 樗木「睡眠呼吸障害を合併した慢性心不全患者における下肢加温療法による睡眠改善が及ぼす心機能への効果」コメディカル部門最優秀賞, 第34回日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会, 2014年6月.
- 木下(義), 「Extrarenal Wilms tumor: A report of three cases and a review of the literature in Japan」, 8th SIOP ASIA Travel Award, 8th SIOP ASIA, 2014年04月.
- 能登, 「International Journal of Biomedical Soft Computing and Human Sciences」, The Best Paper Award, Biomedical Fuzzy System Association, 2014年11月.

報道

- 樗木, 読売新聞 長崎支局, 「離職率減へ時短、院内保育所 看護師 家庭も仕事も」, 2014年04月.
- 樗木, RKB ラジオ, 「ウイラブヒューマン」, 2014年09月.
- 樗木, 朝日新聞, 「不整脈 一技術の進歩で根治治療も可能にー早期発見・早期治療の重要性」, 2014年11月.
- 樗木, 九州大学広報, 「総長就任インタビュー」, 2014年11月.

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 樗木, MEMS 血流量センサを用いた献血時転倒予測システムの研究・開発, 富士ゼロックス株式会社, 2014年02月～2015年03月.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 樗木, ハワイ大学(United States of America), 大学・研究所訪問, 2015年03月
- 藤田(君), 台北医科大学(Taiwan), 国際会議, 2014年04月
- 藤田(君), 台北医学大学(Taiwan), 大学・研究所訪問, 2015年02月
- 藤田(君), 高雄医学大学(Taiwan), その他, 2014年10月
- 藤田(君), ハワイ大学(United States of America), 大学・研究所訪問, 2015年03月中尾, Monash University, School of Nursing and Midwifery on Clayton Campus(Australia), 大学・研究所訪問, 2015年03月
- 濱田, 高雄医学大学(台湾), (院生等講義) 2014年10月27日～2014年10月31日
- 能登, ハワイ大学(United States of America), 大学・研究所訪問, 2015年03月丸山, アメリカ公文書館, P&P 調査(United States of America)研究, 2014年12月23日～12月29日出張
- 梶原, 高雄医学大学 看護学部(Taiwan), その他, 2015年03月

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員

- Kathleen M.Nokes, 訪問教授, Hunter-Bellevue School of Nursing, United States of America.

b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ

Anita Rahmawati	博士課程
劉 新明	修士課程
バン ジュヒョン	修士課程
李欣璇	研究生 留学生
趙瑩瑩	研究生 留学生

学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 樗木, 総長特別補佐
- 藤田(君), 入学者選抜研究委員会委員

2. 部局委員

- 樗木, 九州大学医学部循環器内科認定医研修医指導
- 加来, 病院運営委員会委員
- 中尾, 医療系統合教育研究センター委員会委員
- 原田, 医系地区部局臨床研究倫理審査委員会委員
- 原田, 九州大学馬出地区安全・衛生委員会委員
- 金岡, 病院先進医療適応評価委員会委員
- 藤田(紋), ARO 次世代医療センター臨床研究支援部 百人部会委員
- 潮, ARO 次世代医療センター臨床研究支援部 百人部会委員

3. 部門・コース内委員

- 樗木, 総合基礎看護学講座講座長
- 大池, 教務委員会副委員長
- 藤田(君), 九州大学病院教育研究推進 WG
- 藤田(君), 科目担当責任代表者実習委員会委員
- 藤田(君), 看護学専攻卒業研究委員会委員
- 中尾, 看護学分野長
- 中尾, 総務委員会委員
- 中尾, 将来計画、点検・評価委員会委員
- 中尾, 研究推進委員会委員
- 中尾, 財務委員会委員
- 中尾, 入学試験実施委員会委員
- 中尾, 学生委員会委員
- 中尾, 年報委員会委員
- 中尾, 人事委員会委員
- 中尾, 再任審査委員会委員
- 中尾, 教員業績評価委員会委員
- 中尾, FD 実行委員会委員
- 中尾, 看護学専攻卒業研究委員会委員
- 中尾, 科目担当責任代表者実習委員会委員長
- 中尾, 看護教育運営会議委員
- 濱田, 将来計画、点検・評価委員会委員
- 濱田, 年報委員会委員
- 橋口, 看護学専攻卒業研究委員会委員
- 橋口, 科目担当責任代表者実習委員会委員
- 橋口, 広報委員会委員
- 木下(由), 広報委員会委員
- 木下(由), 科目担当責任代表者実習委員会委員
- 能登, 九州大学病院臨地実習指導者会議委員

- 能登, 科目担当責任代表者実習委員会委員
- 中島, 科目担当責任代表者実習委員会委員
- 梶原, 科目担当責任代表者実習委員会委員
- 藤田(紋), 科目担当責任代表者実習委員会委員
- 藤田(紋), 施設・環境委員会委員
- 梶原, 地域・国際連携推進委員会委員/FD実行委員会委員
- 金岡, 九州大学病院臨地実習指導者会議委員
- 金岡, 九州大学病院教育研究推進 WG
- 金岡, 九州大学病院看護部実習指導者会議委員
- 金岡, 看護学専攻卒業研究委員会委員
- 金岡, 科目担当責任代表者実習委員会委員
- 道面, 地域・国際連携推進委員会委員/FD実行委員会委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 大池, 福岡県糖尿病療養指導士研修会講師・面接委員, 非常勤講師.
- 大池, 福岡県医師会(看護師卒後研修), 非常勤講師.
- 大池, 独立法人国立病院機構九州ブロック(実習指導者養成), 非常勤講師.
- 大池, 福岡県看護協会臨地実習指導者講習会, 兼任教員.
- 大池, 福岡県看護協会(看護職者ファーストレベル)講師, 兼任教員.
- 大池, 九州看護福祉大学, 兼任教員.
- 大池, 福岡県看護専任教員養成講習会, 兼任教員.
- 大池, 宗像医師会病院, 非常勤講師.
- 藤田(君), 佐賀大学・医学部, 非常勤講師.
- 藤田(君), 放送大学・佐賀学習センター, 集中講義.
- 藤田(君), 福岡県看護協会, 糖尿病看護スキルアップセミナー
- 藤田(君), NHO 佐賀病院, 非常勤講師.
- 中尾, 久留米大学医学研究院修士課程, 非常勤講師.
- 中尾, 久留米大学/認定看護師教育センター, 非常勤講師.
- 中尾, 福岡女学院看護大学, 非常勤講師.
- 中尾, 福岡県看護協会認定看護師教育センター, 非常勤講師.
- 濱田, 公益社団法人日本重症心身障害福祉協会認定 重症心身障害看護師研修会講師, 非常勤講師.
- 濱田, 独立行政法人国立病院機構九州ブロック 実習指導者養成講習会, 非常勤講師.
- 濱田, 産業医科大学・産業保健学部, 非常勤講師.
- 濱田, 高知県立大学看護学部, 集中講義.
- 原田, 山口大学大学院経済研究科医療福祉経営, 非常勤講師.
- 原田, 福岡県看護協会セカンドレベル研修, 集中講義.
- 木下, 原看護専門学校, 非常勤講師.
- 木下(由), 皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程, 非常勤講師.
- 丸山, 聖マリア学院大学大学院, 非常勤講師.

2. 学協会

- 大池, 日本医学看護教育学会, 評議員, 国内.
- 大池, 日本看護研究学会九州・沖縄地区地方会, (役員), 国内.
- 大池, 日本看護学教育学会, 理事, 国内.
- 大池, 日本がん看護学会, 評議員, 国内.
- 大池, 福岡県看護協会看護管理者認定委員会, 国内.
- 大池, 日本看護学研究学会, 評議員, 国内.
- 大池, 日本看護医療学会誌, 査読委員, 国内.
- 大池, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内.
- 大池, 日本看護科学会誌和文誌, 査読委員, 国内.
- 大池, 日本看護学教育学会, 査読委員, 国内.
- 樗木, 日本心電学会, 評議員, 国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会, 理事, 国内.

- 樗木, 心臓性急死研究会, その他(世話人), 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州支部, 評議員, 国内.
- 樗木, 日本心電学会, 理事, 国内.
- 樗木, 日本循環器学会九州支部, その他(社員), 国内.
- 樗木, 日本心電学会, その他(編集委員), 国内.
- 樗木, 日本看護研究学会, その他(査読委員), 国内.
- 樗木, 日本性差医学・医療学会, 理事, 国内.
- 樗木, 日本循環器予防学会, 理事, 国内.
- 樗木, 日本内科学会, その他(認定医制度研修医指導医), 国内.
- 樗木, 日本心電学会, その他(心電検査技師制度委員), 国内.
- 樗木, 日本ホルター・ノンインベシブ心電学研究会, 幹事, 国内.
- 樗木, 日本不整脈学会, その他(不整脈専門医資格認定試験問題作成委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器管理研究協議会, 理事, 国内.
- 樗木, 日本失神研究会, その他(世話人), 国内.
- 樗木, 日本生体医工学会, その他(代議員), 国内.
- 樗木, 日本循環器病予防学会, その他(プログラム委員), 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会, その他(日本循環器看護学会誌専任査読委員), 国内.
- 樗木, 国内健康支援学会誌, 編集委員, 国内.
- 樗木, 日本循環器看護学会(和文), 査読委員(専任査読委員), 国内.
- 樗木, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 評議員, 国内.
- 加来, 日本婦人科腫瘍学会, 理事, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, その他(細胞診専門医委員会委員), 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 理事, 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, その他(国際交流委員担当理事), 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, その他(細胞診ガイドライン作成ワーキンググループ委員), 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, その他(細胞診ガイドライン作成ワーキンググループ卵巣小委員会委員長), 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, その他(評議員選出委員会委員), 国内.
- 加来, 日本臨床細胞学会, 査読委員, 国内.
- 加来, 福岡県臨床細胞学会, 会長, 国内.
- 加来 日本母性衛生学会, 代議員, 国内
- 加来 福岡県集団検診協議会子宮がん検診部会委員会, 委員, 国内
- 藤田(君), 日本看護研究学会, 評議員, 国内.
- 藤田(君), 日本老年看護学会, 評議員, 査読委員, 国内.
- 藤田(君), 日本慢性看護学会, 評議員, 国内.
- 藤田(君), 日本看護科学学会, その他(和文誌査読委員), 国内.
- 藤田(君), 日本看護科学学会, 査読委員(評議委員), 国内.
- 藤田(君), 日本看護研究学会, 査読委員(評議委員), 国内.
- 藤田(君), 日本老年看護学会, 査読委員(評議委員), 国内.
- 藤田(君), Japan Journal of nursing science, 査読委員, 国際.
- 中尾, 日本看護科学学会, その他(代議員), 国内.
- 中尾, 日本生命倫理学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護倫理学会, 評議員, 国内.
- 中尾, 日本看護科学学会誌, 査読委員, 国内.
- 中尾, 生命倫理(日本生命倫理学会誌), 編集委員, 国内.
- 中尾, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内.
- 橋口, 日本生理人類学会, 評議員, 国内.
- 橋口, Journal of PHYSIOLOGICAL ANTHROPOLOGY, 編集委員, 国際.
- 橋口, 日本循環器看護学会, 査読委員, 国内.
- 橋口, 人間-生活環境系学会 第38回シンポジウム実行委員, 国内
- 橋口, 人間-生活環境系学会 「入浴の安全性と快適性に関する研究委員会」幹事, 国内
- 濱田, 日本小児看護学会, 評議員, 国内.
- 濱田, 日本小児看護学会, (倫理委員会委員), 国内.
- 濱田, 小児看護学会誌, 査読委員, 国内.

- 濱田, 日本家族看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 濱田, 日本小児がん看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 原田, 日本看護学会学術集会「看護管理」福岡県看護協会, その他(準備委員会委員), 国内.
- 原田, 日本循環器看護学会, その他(専任査読委員), 国内.
- 木下(由), 日本看護科学学会, その他(代議員), 国内.
- 丸山, 日本医学哲学倫理学会, 評議員(教育委員会委員・国際学術交流委員会委員), 国内.
- 丸山, *Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine*, 編集委員(査読委員), 国内.
- 丸山, 医療倫理学 第2版, 編集委員長(編著者), 国内.
- 能登, バイオメディカル・ファジィ・システム学会, 評議員, 国内.
- 梶原, 第19回日本在宅ケア学会学術集会, 査読委員, 国内.
- 梶原, 第19回日本在宅ケア学会学術集会, 実行委員, 国内.
- 金岡, 事務局, 第11回日本移植・再生医療看護学会学術集会, 学術団体.
- 金岡, 日本移植・再生医療看護学会, 理事, 国内.
- 金岡, 日本移植・再生医療看護学会ニュースレター, 編集委員, 国内.
- 藤田(紋), 日本小児看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 藤田(紋), 企画委員, 第11回日本移植・再生医療看護学会学術集会
- 藤田, 日本小児看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 道面, 日本看護学教育学会, その他(広報・渉外・社会貢献委員会委員), 国内.

3. 官界

- 藤田(君), 「九州で活動する慢性疾患看護専門看護師を支援するため研究会を発足した」, 九州慢性看護研究会.
- 中尾, 「福岡県内の保健・医療・福祉施設における身体拘束の廃止状況の調査、広報、研修を通じた身体拘束廃止の取り組み推進」, 福岡県保健医療介護部:福岡県身体拘束ゼロ作戦推進会議(委員長).

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 能登, 「外来研究員(独立行政法人国立長寿医療研究センター)」, 2014-07-01.
- 濱田, 「NPO 福岡子どもホスピスプロジェクト理事」,
- 藤田(紋), 「NPO 福岡子どもホスピスプロジェクト 実行委員」, 2014-01-01.
- 藤田(紋), 「九州大学病院 小児医療センター看護師、ハイケア病棟看護師への研究指導」, 2014-01-01.
- 藤田(紋), 「胆道閉鎖症親子の会」, 2014-06-01.
- 藤田(紋), 「九州大学助産師同窓会 委員」, 2014-01-01.
- 藤田(紋), 「高雄医学大学看護学生の小児看護学実習への受け入れ」, 2014-06-01.

5. 公開講座・公開講演会

- 樗木, 「不整脈治療と NOAC の使い分け」, 第一三共. 第一三共福岡病院営業所, セミナー・研修会.
- 藤田(君), 「運動器の障害や病気と QOL」, 放送大学・佐賀学習センター. 放送大学・佐賀学習センター, 公開講座.
- 中尾, 「何か変?」と気づいて実践できる倫理カンファ」, 九州労災病院. 北九州市, セミナー・研修会.
- 中尾, 「看護倫理:看護部キャリアアップラダー研修」, 済生会江津総合病院. 島根県江津市, セミナー・研修会.
- 中尾, 「何か変?」と気づいて実践できる倫理カンファ②」, 九州労災病院. 北九州市, セミナー・研修会.
- 中尾, 「看護倫理:ブラッシュアップ研修」, 九州ブロック労災病院. 北九州市, セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献

- 樗木, 「中学生向け出前セミナー～わたらしい生き方を目指して～」, 福岡市立千代中学校. 講演・セミナー等.

看護学分野

《広域生涯看護》

教授	小野 ミツ
教授	鳩野 洋子
教授	谷口 初美
准教授	川田 紀美子
講師	野口 ゆかり
講師	前野 有佳里
講師	寺岡 佐和
助教	末次 美子
助教	仲道 由紀
助教	木村 一絵
助教	重松 由佳子

1. 教育活動

1. 大学院講義

地域生活ケアシステム論演習	小野	前期
ヘルスサイエンス論 (分担)	小野	前期
研究法Ⅱ	鳩野	前期
発達看護学特論Ⅰ (分担)	谷口	前期
発達看護学特論Ⅱ	谷口	後期
母子発達ケアシステム論Ⅰ	谷口	前期
母子発達ケアシステム論Ⅱ	谷口	後期
国際社会とチーム医療 (分担)	野口	前期
発達看護学特論Ⅱ (分担)	野口	後期
発達看護学特論Ⅱ (分担)	末次	後期
発達看護学特論Ⅱ (分担)	仲道	後期

2. 大学院実験・実習

特別研究	小野	通年
特別研究	鳩野	通年
特別研究	谷口	通年

3. 大学院演習

地域生活ケアシステム論演習	小野	前期
---------------	----	----

4. 大学院修士課程修了者 なし

5. 大学院博士課程修了者

重松由佳子 A partnership development process assessment scale for public health nurses
in Japan

6. 学部講義

公衆衛生看護支援論Ⅱ（分担）	小野	前期
健康政策論（分担）	小野	後期
保健統計	鳩野	後期
疫学	鳩野	後期
公衆衛生看護展開論Ⅰ	鳩野	前期
公衆衛生看護学概論	鳩野	後期
母性看護学概論	谷口	前期
母性看護学各論Ⅱ	谷口	前期
母性看護学各論Ⅰ	谷口	後期
基礎助産学	谷口	前期
リプロダクティブヘルス・基礎理論	谷口	前期
助産学概論	谷口	前期
助産診断・技術学	谷口	前期
助産管理Ⅰ	谷口	前期
地域母子保健	谷口	後期
助産管理Ⅱ	谷口	後期
リプロダクティブヘルス基礎理論（分担）	野口	前期
助産過程論（分担）	野口	前期
助産診断・技術学（分担）	野口	前期
助産学概論（分担）	野口	前期
基礎助産学（分担）	野口	前期
助産管理（分担）	野口	後期
母性看護学各論Ⅱ（分担）	野口	前期
母性看護学各論Ⅰ（分担）	野口	後期
母性看護学概論（分担）	野口	前期
公衆衛生看護支援論Ⅰ	前野	前期
保健医療福祉行政論Ⅰ	前野	後期
在宅看護概論（分担）	寺岡	後期
公衆衛生看護学概論（分担）	寺岡	後期
健康政策論（分担）	寺岡	後期
母性看護学各論Ⅱ（分担）	末次	前期
母性看護学各論Ⅰ（分担）	末次	後期
母性看護学概論（分担）	末次	前期
基礎助産学（分担）	末次	前期
助産診断・技術学（分担）	末次	前期
助産過程論（分担）	末次	前期
リプロダクティブヘルス基礎理論（分担）	末次	前期
母性看護学各論Ⅱ（分担）	仲道	前期
助産過程論（分担）	仲道	前期

助産診断・技術学 (分担)	仲道	前期
母性看護学各論 I (分担)	仲道	後期
リプロダクティブ・ヘルス基礎理論 (分担)	仲道	前期
基礎助産学 (分担)	仲道	前期
公衆衛生看護支援論 I (分担)	重松	前期
公衆衛生看護支援論 II (分担)	重松	前期

7. 学部の実験・実習・演習

在宅看護論各論 (分担)	小野	前期
総合実習 (分担)	小野	前期
在宅看護学実習 (分担)	小野	通年
地域看護実習	鳩野	後期
助産診断・技術学	谷口	前期
助産学実習	谷口	前期
助産技術論	谷口	前期
助産技術論	谷口	後期
周産期健康教育論	谷口	前期
周産期健康教育論	谷口	後期
総合実習	谷口	前期
卒業研究	谷口	通年
母性看護学実習 (分担)	川田	後期
助産技術論 (分担)	川田	後期
周産期健康教育論 (分担)	川田	後期
助産学実習 (分担)	野口	前期
卒業研究 (分担)	野口	通年
総合実習 (分担)	野口	前期
助産技術論 (分担)	野口	前期
助産技術論 (分担)	野口	後期
周産期健康教育論 (分担)	野口	前期
周産期健康教育論 (分担)	野口	後期
母性看護学実習 (分担)	野口	後期
母性看護学各論 II (分担)	野口	前期
地域看護学実習	前野	後期
総合実習	前野	前期
在宅看護論各論 (分担)	寺岡	前期
総合実習 (分担)	寺岡	前期
在宅看護学実習 (分担)	寺岡	通年
助産学実習 (分担)	末次	前期
卒業研究 (分担)	末次	通年
総合実習 (分担)	末次	前期
母性看護学実習 (分担)	末次	通年
母性看護学各論 II (分担)	末次	前期
助産技術論 (分担)	末次	前期
助産技術論 (分担)	末次	後期

周産期健康教育論 (分担)	末次	前期
周産期健康教育論 (分担)	末次	後期
助産学実習 (分担)	仲道	前期
母性看護学実習 (分担)	仲道	後期
総合実習 (分担)	仲道	前期
助産技術論 (分担)	仲道	前期
助産技術論 (分担)	仲道	後期
周産期健康教育論 (分担)	仲道	前期
周産期健康教育論 (分担)	仲道	後期
母性看護学各論Ⅱ (分担)	仲道	前期
卒業研究 (分担)	仲道	通年
在宅看護論各論	木村	前期
総合実習	木村	前期
在宅看護学実習	木村	通年
地域看護学実習	重松	前期

8. 卒業論文作成者

池田 藍	健康寿命に関連する要因の検討—既存資料を用いた統計的分析の試み—
江口 可南子	「在宅における看取り」の概念分析の試み
森山 絵理香	自閉症児の食生活の特徴に関する研究—肥満予防を目指して—
大熊 かおり	災害時における在宅人工呼吸療法中の高齢者の実態と支援のあり方についての検討—静穏期からの時間経過に沿って—
大保 文香	キャリアと育児の両立に挑戦する成熟期の女性
錦戸 彩	異文化圏の人々に対する周産期の対応
佐藤 唯香	児童虐待予防の早期介入を行うための方法について
伊藤 さくら	若年妊娠に対するサポート体制の課題と看護職の役割
河津 里佳	入院中の子どもを持つ父親に対する看護師の関わり方の検討
野村 香苗	笑いを取り入れた認知症予防プログラムに関する研究
帆北 千夏	訪問看護師の看取りに関する積極性と看護技術修得度との関連
本村 茜	看護師の AC 特性に対するアサーショントレーニングの効果
蛭谷 りえ	認知症予防に効果的な運動療法の検討—スクエアステップエクササイズの実施から—
砂野 真里	看護師のタッチが患者にもたらす影響に関する文献検討
俵積田 愛	在宅移行における退院前カンファレンスの現状と課題
森山 友香	がんターミナル患者の在宅での看取りに向けた家族支援について—病棟看護師が行う支援内容から—
藤田 かおり	出産体験に影響する要因と出産体験を高めるための看護支援
伊与田 みさき	3 歳児の母親が感じている「育てにくさ」を軽減する効果的な支援の検討
大賀 有佳子	終末期在宅療養者の最期の過ごし方に関する看護職による意思決定とその内容支援
池浦 美萌子	ダウン症児の母親の心理とその支援について
大砂 美佳	里帰り育児を行う母親に対する行政保健師による効果的な援助の検討

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

- | | | |
|----|--|----|
| 1 | 高齢者虐待の実態と虐待防止、早期発見に関する研究 | 小野 |
| 2 | 高齢者の予防訪問の有用性と効果的な運用に関する国際(日本・フィンランド・デンマーク・スウェーデン)比較研究 | 小野 |
| 3 | 地域看護職者による高齢者全数の予防訪問の実施方法と効果 | 小野 |
| 4 | 高齢者虐待発生メカニズムの解明と虐待予防保健ワーカーのアクションプログラムの開発 | 小野 |
| 5 | 地方自治体における保健サービスの委託の質の保証方策に関する研究 | 鳩野 |
| 6 | 保健師管理者の管理的能力獲得モデルの開発 | 鳩野 |
| 7 | 学部助産師学生の助産実習の到達目標 | 谷口 |
| 8 | 助産学、看護学のためのシミュレーション学習に関する研究 | 谷口 |
| 9 | 大学教育から臨床への一貫教育に関する研究 | 谷口 |
| 10 | Transition (移行)の看護概念を用いた母性・父性のプロセス、各ライフステージにおける人生の意味に関する研究 | 谷口 |
| 11 | 臨床指導者研修に関する研究 | 谷口 |
| 12 | 健康行動と母子関係に関する研究 | 川田 |
| 13 | 環境汚染の母子への影響に関する研究 | 川田 |
| 14 | 生涯にわたる健やかな成長・発達・育児(育自)・生活が行えるための要因および生活・ライフスタイルモデルに関する研究 | 野口 |
| 15 | こども虐待防止のための看護職の役割(妊娠期～育児期のメンタルヘルス-エモーショナルサポート) | 野口 |
| 16 | 思春期・青年期における発達課題と発達危機およびその援助 | 野口 |
| 17 | 助産教育:助産師の現状と課題からみた全人的対象理解・実践能力向上のための教育に関する研究 | 野口 |
| 18 | 精神障害者の地域生活を支援する市町村保健師のケアマネジメント指標の開発 | 前野 |
| 19 | 在宅で暮らす認知症高齢者の生活能力活性化の方法に関する研究 | 寺岡 |
| 20 | 周産期のメンタルヘルスと母子相互作用に関する研究 | 末次 |
| 21 | 「祖父母となること」の発達に関する研究 | 仲道 |
| 22 | 三世代家族における次世代育成支援に関する研究 | 仲道 |
| 23 | 幼児の問題行動が減少することを旨とした地域における子育てプログラムに関する研究 | 木村 |
| 24 | 児童虐待予防にむけた自治体保健師と地域組織のパートナーシップモデルの開発 | 重松 |

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

小野 ミツ

- 「基盤研究(B)」地域看護職者による高齢者全数の予防訪問の実施方法と効果, 小野(分担)
- 「基盤研究(B)」在宅高齢者における転倒予防プログラム介入のランダム化比較試験, 小野(分担)
- 「基盤研究(C)」高齢者のフットケアの有用性に関する研究, 小野(分担)

- 「基盤研究(C)」高齢者虐待発生メカニズムの解明と虐待予防保健ワーカーのアクションプログラムの開発, 小野(代表)

鳩野 洋子

- 「基盤研究(C)」地区活動を強化するコミュニティ・エンパワメントモデルの開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」地域保健分野で活動するNPOのアセスメント指標の開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(B)」活動の必要性と成果を意志決定者に「見せる公衆衛生看護技術」の構築, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」精神障害者の地域生活を支援する市町村保健師のケアマネジメント指標の開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」保健師管理者の管理的能力獲得モデルの開発, 鳩野(代表)
- 「基盤研究(C)」高齢者世代が参画する地域のつながりを重視した効果的な子育て支援プログラムの開発, 鳩野(分担)

前野 有佳里

- 「基盤研究(C)」精神障害者の地域生活を支援する市町村保健師のケアマネジメント指標の開発, 前野(代表)
- 「基盤研究(C)」地域における循環器病患者の再発予防に向けた脚温サウナ看護プログラムの開発, 前野(分担)

寺岡 佐和

- 「基盤研究(C)」人間関係形成の視座から開発する住民主体の子育て支援プログラムに関する研究, 寺岡(分担)
- 「基盤研究(C)」在宅で暮らす認知症高齢者の生活能力活性化に向けた園芸療法の開発に関する研究, 寺岡(代表)

末次 美子

- 「挑戦的萌芽研究」低出生体重児と母親の母子相互作用促進プログラムの開発, 末次(代表)
- 「挑戦的萌芽研究」NICU高照度環境が及ぼす早産児の睡眠・覚醒リズム形成と心身発達の前方視的研究, 末次(分担)

木村 一絵

- 「若手研究(B)」幼児の問題行動が減少することを目指した地域における子育てプログラムの効果の検証, 木村(代表)

重松 由佳子

- 「基盤研究(C)」児童虐待予防にむけた自治体保健師と地域組織のパートナーシップモデルの開発, 重松(代表)
- 「基盤研究(C)」他職種協働による在宅精神障害者の為のアウトリーチ推進に向けた教育モデルの開発, 重松(分担)

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ なし

5. その他の外部資金の受入れ

鳩野 洋子

「厚生労働科学研究費補助金・健康安全・危機管理対策総合研究事業」地方自治体が行う保健事業の外部委託において事業の質を確保するための方策に関する研究, 鳩野(分担), 1300千円.

小野 ミツ

公益財団法人 在宅医療推進のための学会等への助成 勇美記念財団, 第19回日本在宅ケア学会学術集会, 小野(代表), 1,000千円.

寺岡 佐和

「太陽生命厚生財団研究助成」認知症高齢者の在宅生活の継続を効果的に支える園芸活動の方法に関する研究, 寺岡 (代表), 500 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 永田昌子, 篠原将貴, 林田賢史, 梶木繁之, 前野有佳里, 鳩野洋子, 曾根智史, 森晃爾: 保健指導サービス実施機関の保健指導の質の管理に関する実態調査, *日本公衆衛生雑誌*, 61, 10, 2014 年 09 月.
- 鳩野 洋子, 岡本玲子, 長野扶佐美, 岩本里織, 草野恵美子, 小出恵子: 保健活動の成果をみせる行動実践尺度の開発, *日本看護研究学会誌*, 37, 4, 2014 年 09 月.
- Yukako Shigematsu, Yoko Hatono, Hitoe Kimura: Development and Testing of a Partnership Development Process Assessment Scale for Public Health Nurses in Japan, *Public Health Nursing*, 2014 年 11 月.
- Hatsumi Taniguchi, Mieko Shimada, Meredith McIntyre: Japanese men's success in altered fatherhood role in a foreign country., *Journal of Transcultural Nursing*, 26, 1, 39 - 46, 2015 年 01 月. 谷口 初美, 任 和子, 内海桃絵, 内藤知佐子, 山田美恵子: 大卒新人看護師のリアルティ・ショックスムーズな移行を促す新たな教育方法の示唆一, *日本看護研究会誌*, 37, 2, 71 - 79, 2014 年 06 月.
- 仲道 由紀, 川口弥恵子, 吉田静, 松原まなみ: 助産師が認識した自己の現状と課題・未来像ワールド・カフェ形式ワークショップ後の KPT 法を用いた振り返りから, *助産雑誌*, 68, 9, 808 - 816, 2014 年 09 月.
- 西尾美登里, 尾籠晃司, 合馬慎二, 内田直樹, 西村良二, 小野ミツ: 在宅で認知症を有する療養者を介護する男性介護者の対処尺度項目の検討. *バイオメジカルファジィ・システム学会誌*, 16(1), 15-22, 2014 年 12 月.
- 兼田啓子, 小野ミツ: 訪問看護職における健康食品に対する認識. *吉備国際大学研究紀要*, (24), 33-41, 2014 年 03 月.
- 小野ミツ: 高齢者虐待防止研究の 10 年のあゆみと今後の課題. *高齢者虐待防止研究* 10(1): 8-16, 2014 年 07 月.
- Kana Kageyama, Mitsu Ono, Yuki Sawada: The Role of Home-Based Care Managers in Japan, A study using home-based care management work hours and subjective evaluations. *Journal of Welfare for the Aged*. (31), 3-25, 2014 年 11 月.
- 姫野稔子, 小野ミツ: 在宅高齢者の介護予防に向けたフットケアプログラムの開発～第 1 報, フットケア方法習得のプロセスおよび介入内容の分析 1～. *日本看護科学誌*, (35), 28-37, 2015 年 03 月.
- Kohei Kajiwara, Hisae Nakatani, Mitsu Ono, Yukiko Miyakoshi: Positive appraisal Of in-home family caregivers of dementia patients as an influence on the continuation of caregiving. *Psychogeriatric official Journal of the Japanese Psychogeriatric Society* 15(1), 26-31, 2015 年 03 月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Ayako Ogata, Yoko Hatono, Masahiro Nakano, Tsukasa sasaki: Exploring Career Anchor among Occupational Health Nurses: A Qualitative Interview Study. The 21st Asian Conference on Occupational Health, 2014 年 09 月 02 日, Japan.
- Yoshiko Kubo, Tomohide Kubo, Yoko Hatono: Exploring Career Anchor among Occupational Health Nurses: A Qualitative Interview Study, The 21st Asian Conference on Occupational Health, 2014 年 09 月 02 日, Japan.
- Reiko Okamoto, Yoko Hatono, Saori Iwamoto, Kayoko Gouda, Fusami Nagano: Relationships between Practical Competence and Reflection Skill/Experience of Japanese PHNs, APHA's 142nd Annual Meeting and Exposition. 2014 年 11 月 15 日から 19 日, 2014 年 11 月 15 日, United States of America.

- Ayako Ogata, Yoko Hatono 他, Masahiro Nakano, Tsukasa Sasaki: Comparison of Daytime and Nighttime Fatigue among Shift Workers. , the 18th EAFONS 2015 Congress, 2015年02月05日, Taiwan.
- Yukari Maeno, Yoko Hatono, 他, Koji Mori, Tomofumi Sone, Masako Nagata, Yoshiyuki Shibata: Measures that Community Health Nurses Perform to Secure Quality of Business for Outsourcing, , the 18th EAFONS 2015 Congress, 2015年02月05日, Taiwan.
- Hatsumi Taniguchi, Yoko Chiba, Kiyoko Kabeyama: An approach to improve simulation learning using theoretical concept and facilitative skills to increase midwifery student's learning motivation, 第30回ICM, 2014年06月03日, Czech Republic.
- Hitoe Kimura, Toshiko Kamo, Yuki Sunohara: The relation between a mother's depression, her self-evaluation as a mother and a child's problematic behavior , 6th World Congress on Women's Mental Health, 2015年03月01日, Japan.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 谷口 初美, 任 和子, 内海桃絵, 内藤知佐子, 山田美恵子: 大卒新人看護師のリアリティー・シヨックスムーズな移行を促す新たな教育方法の示唆一, 日本看護研究学会誌, 2014年06月.
- 谷口 初美, 任 和子, 内藤知佐子, 南 麻弥: 学生の心をつかむ臨床指導1分間指導法 Get!, 岐阜大学医学教育開発研究センター, 2015年03月.

e. 国内学会での講演, 発表

- 久保善子, 久保智英, 鳩野洋子: 産業看護職の職務キャリアに関する質的研究, 第3回産業看護学会, 2014年09月06日, 北九州.
- 岩木三保, 鳩野 洋子: 岩木三保 鳩野洋子. ALS 介護者の介護に対する肯定的認知と介護負担感の関連および要因の検討, 日本難病看護学会第19回学術集会, 2014年08月30日, 呉市.
- 前野 有佳里, 鳩野 洋子: 警察官通報対応における保健師のケア実践に影響を及ぼす要因の検討, 第73回日本公衆衛生学会, 2014年11月05日, 宇都宮市.
- 鳩野 洋子, 森晃爾, 曾根智史, 永田昌子, 柴田喜幸, 前野 有佳里: 市町村における保健事業委託の実態, 第73回日本公衆衛生学会, 2014年11月07日, 宇都宮市.
- 小野ミツ: 住み慣れた地域の暮らしを支えるケア, 第19回日本在宅ケア学会学術集会, 2014年11月29日, 福岡市.
- 鳩野洋子, 鈴木浩子, 島田美喜: 市町村保健師の管理職としての能力獲得に寄与した経験, 第3回日本公衆衛生看護学会, 2015年01月10日, 神戸市.
- 米澤洋美, 鳩野洋子, 平野かよ子, 中板育美, 佐野信也: 住民からの暴力防止に向けた保健従事者の安全管理体制の取り組みの実際, 第3回日本公衆衛生看護学会, 2015年01月10日, 神戸市.
- 米澤洋美, 平野かよ子, 中板育美, 佐野信也, 野村武司, 鳩野 洋子: 住民からの暴力防止マニュアルを活用した保健従事者の安全 公務員への暴力と保健師への暴力は違う , 第3回日本公衆衛生看護学会, 2015年01月11日, 神戸市.
- 嶋津多恵子, 麻原きよみ, 丹野久美, 斎藤恵美子, 富山紀代美, 鳩野洋子, 宮崎美砂子: ワークシヨップ よりよい実践のための研究に向けて倫理的配慮はどうする, 第3回日本公衆衛生看護学会, 2015年01月11日, 神戸市.
- 鳩野洋子, 森晃爾, 曾根智史, 前野 有佳里: 保健事業外部委託のマネジメントと保健師の役割, 第3回日本公衆衛生看護学会, 2015年01月11日, 神戸市.
- 森田久美子, 佐々木明子, 小野ミツ, 西尾美登里, 金屋祐子, 秋保亮太, 原田悟志, 中野雅浩, 内田恵美子: 予防訪問を実施した高齢者の1年後の変化第19回日本在宅ケア学会学術集会, 2014年11月29日, 福岡.
- 西尾美登里, 小野ミツ: 在宅で認知症を介護する男性の実態と支援のあり方の検討. 第19回日本在宅ケア学会学術集会, 2014年11月29日, 福岡市.
- 森田久美子, 佐々木明子, 小野ミツ, 西尾美登里, 金屋祐子, 秋保亮太, 原田悟志, 中野雅浩, 内田恵美子: 予防訪問を実施した高齢者の1年後の変化第19回日本在宅ケア学会学術集会, 2014年11月29日, 福岡市.

- 影山佳奈, 小野ミツ, 寺岡佐和, 西尾美登里: 介護者の心身の健康面に対する支援策の検討, 19回日本在宅ケア学会学術集会, 2014年11月30日, 福岡市.
- 谷口 初美, 安達久美子, 岡本喜代子: ICM 日本・ベトナム Twinning Project, 第70回日本助産師学会, 2014年05月24日, 福岡電気ビル みらいホール.
- 谷口 初美, 我部山キヨ子, 野口 ゆかり, 仲道 由紀: 学部助産師学生の助産実習の振り返り- その過程での学びの変化, 第29回日本助産学会学術集会, 2015年03月29日, 東京都.
- 前野 有佳里: シンポジウム措置入院制度の現状と問題点 精神保健福祉法第24条通報対応の現状と課題, 日本精神神経学会総会, 2014年06月28日, 横浜市.
- 前野 有佳里, 鳩野 洋子: 市町村における精神障害をもつ対応困難事例への支援の現状, 日本公衆衛生看護学会学術集会, 2015年01月11日, 神戸市.
- 仲道 由紀, 吉田 静, 川口 弥恵子, 松原 まなみ: 助産師が認識した自己の現状と課題-ワールド・カフェ形式のワークショップ後の追跡調査-, 第70回日本助産師学会, 2014年05月24日, 福岡市.
- 三浦 美希, 木村 一絵, 小野 ミツ: 在宅で生活する認知症高齢者を介護する家族の介護負担感を軽減する介入に関する検討, 第19回日本在宅ケア学会, 2014年11月01日, 福岡.
- 松浦 保奈美, 木村 一絵, 小野 ミツ: 要介護状態にある高齢者のセルフケア能力を向上させる訪問看護師による看護介入, 第19回日本在宅ケア学会, 2014年11月01日, 福岡.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- 鳩野 洋子, 島田美喜: (編集・共著) 公衆衛生実践キーワード 地域保健活動の今がわかる明日がみえる, 2014年10月, 医学書院.
- 鳩野 洋子 他: (共著) ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障②公衆衛生, 2014年10月, メディカ出版.
- 鳩野 洋子 他: (共著) 公衆衛生看護学概論, 2015年01月, 医学書院.
- 前野 有佳里: (共著) 精神看護学 I 精神保健学, 2015年03月, ヌーヴェルヒロカワ.
- 前野 有佳里: (共著) 2015年度版 保健師国家試験問題 解答と解説, 2014年04月, 医学書院.

b. 総説

- 鳩野 洋子, 森 晃爾, 曾根 智史, 柴田 喜幸, 永田 昌子, 前野 有佳里, 小橋正樹: 市町村の保健事業委託の実態 2013年度調査から, 保健師ジャーナル 2014 2014; 70(8):694-698, 2014年08月.
- 鳩野 洋子, 米澤 洋美: 地域保健従事者に対する住民からの暴力被害と対応 実態調査の結果から, 保健師ジャーナル 2014; 70(12):1054-1058, 2014年11月.
- 谷口 初美: 平成26年度公益社団法人日本助産師会通常総会・第70回日本助産師会を終えて-通常総会・部会集会・懇親会・学会報告-, 助産師, 2014; 68(3), 75-80.
- 内藤 佐知子, 谷口 初美, 任 和子, 内海 桃絵, 南 麻弥: 国家試験に役立つ、看護師になっても役立つスペシャルシミュレーション教育プログラム, 看護教育, 2014年08月.
- 谷口 初美: ベトナム助産師会との2013年のTwinning Project ベトナム母子保健事情と助産師の活躍の実際を視察, 助産師, 2014; 68(2), 32-35.
- 谷口 初美: ICM Council Meeting & 30th Triennial Congress in Prague, 2014 報告, 助産師, 2014; 68(4), 36-38.

c. 解説, 書評など

- 松原 まなみ, 菱川 和江, 西本 サチ子, 田中 啓子, 大牟田 智子, 澁谷 貴子, 仲道 由紀, 吉田 静, 阿部 聖子, 浜崎 ヨシ子, 平田 伸子: 参加型ワークショップ「ワールド・カフェ」から得られたもの, 助産雑誌 68 (8), 医学書院, 2014年08月.

受賞 なし
報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし
2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 鳩野・寺岡, モナシュ大学(Australia), その他, 2015年03月
- 谷口, ICM (Czech Republic), 国際会議, 2014年05月～2014年06月
- 谷口・前野, マヒドン大学(Thailand), 大学・研究所訪問, 2015年03月～2015年06月
- 谷口, ハワイ大学(United States of America), 大学・研究所訪問, 2015年03月
- 野口, The 12th East Asian Congress of Health Promotion "Our Children, Our Future", 国際会議, タイ・バンコク, 東アジアヘルスプロモーションネットワーク会議病院施設訪問, 2015年1月
- 末次, Caoshiung Medical university college of Nursing(Taiwan), 大学・研究所訪問, 2015年03月.

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ

高雄医学大学看護学部より4年生2名(全員女性)、助教1名を国際フォーラム、Student meetingのために2014年11月20日から11月22日受け入れた。

学生の海外派遣

本学看護専攻学部2年生4名を高雄医学大学看護学部へ2015年3月26日から3月28日に学生交流で派遣した。

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 鳩野, 入学試験出題委員会副委員長
- 寺岡, アジア遠隔医療開発センター運営委員会委員

2. 部局委員 なし

3. 部門・コース内委員

- 小野, 広域生涯看護学講座講座長
- 鳩野, 入学試験実施委員会委員長
- 鳩野, 施設・環境委員会副委員長

- 小野, 大学院委員会委員長
- 鳩野, 科目担当責任代表者実習委員会委員
- 小野, 科目担当責任代表者実習委員会委員
- 谷口, 地域・国際連携推進委員会委員/FD 実行委員会委員長
- 谷口, 科目担当責任代表者実習委員会副委員長
- 谷口, 人事委員会委員
- 谷口, 看護教育運営会議委員
- 川田, 地域・国際連携推進委員会委員/FD 実行委員会委員
- 野口, 地域・国際連携推進委員会委員/FD 実行委員会委員
- 野口, 看護学専攻卒業研究委員会委員
- 寺岡, 教務委員会委員
- 寺岡, 保健学の明日を考える会世話人
- 末次, 学生委員会委員
- 末次, 科目担当責任代表者実習委員会委員
- 末次, 九州大学病院臨地実習指導者会議委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 小野, 広島大学医学部保健学科, 非常勤講師.
- 小野, 広島大学大学院医学部, 非常勤講師.
- 小野, 東京医科歯科大学保健衛生学研究科.
- 谷口, 京都大学大学院医学研究科人間健康科学科専攻, 非常勤講師.
- 谷口, 関西看護医療大学, 非常勤講師.
- 谷口, 久留米大学看護学科、非常勤講師
- 寺岡, 福岡国際医療福祉学院, 非常勤講師.
- 前野, 産業医科大学, 非常勤講師.
- 仲道, 香蘭女子短期大学 ライフプランニング総合学科 妊娠と出産の科学, 非常勤講師.
- 重松, 尚絅大学短期大学部 幼児教育学科 子どもの保健ⅠA 子どもの保健Ⅲ,非常勤講師.

2. 学協会

- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 理事, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 倫理委員会・副委員長, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 評議員, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生学会, 編集委員, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生学会, 評議員, 国内.
- 鳩野, 日本地域看護学会, 表彰論文選考委員会 委員, 国内.
- 鳩野, 日本地域看護学会, 編集委員会委員, 国内.
- 鳩野, 日本看護研究学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本看護科学学会, 代議員・査読委員, 国内.
- 鳩野, 福岡医学雑誌, 編集委員, 国内.
- 鳩野, 教育と医学, 編集委員, 国内.
- 小野, 日本高齢者虐待防止学会, 理事, 国内.
- 小野, 日本高齢者虐待防止学会, 査読委員, 国内.
- 小野, 日本高齢者虐待防止学会, 編集委員会委員, 国内.
- 小野, 日本在宅ケア学会, 評議員, 国内.
- 小野, 日本在宅ケア学会, 査読委員, 国内.
- 小野, 日本在宅ケア学会, 研究助成委員, 国内.
- 小野, 日本看護科学学会, 代議員, 国内.
- 小野, 日本認知症ケア学会, 査読委員, 国内.
- 小野, 日本認知症ケア学会, 九州ブロック地域部会, 委員長, 国内.
- 小野, 日本老年看護学会, 査読委員, 国内.
- 谷口, 福岡県助産師会, 運営委員 (実行委員長), 国内.

- 谷口, 平成 26 年度日本助産師会総会・第 70 回日本助産師学会, 運営委員 (実行委員長), 国内.
- 谷口, 日本助産学会, 代議員および 理事 (会計, 会則), 国内.
- 谷口, 日本助産師会, 国際委員長, 国内.
- 谷口, ICM (国際助産師連盟), 評議員, 国際.
- 谷口, ICMAPRC (ICM アジア太平洋地域会議), 実行委員, 国際.
- 谷口, 福岡母性衛生学会, 理事, 国内.
- 川田, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 野口, 全国助産師教育協議会, その他 (組織強化小委員会委員), 国内.
- 野口, 日本助産学会, その他 (査読委員), 国内.
- 野口, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 野口, 九州大学助産師同窓会, 理事, 国内.
- 寺岡, 一般社団法人日本認知症ケア学会, 運営委員 (一般社団法人日本認知症ケア学会九州・沖縄 1 地域部会 委員), 国内.
- 寺岡, 第 19 回日本在宅ケア学会学術集会事務局, 国内.
- 寺岡, 第 19 回日本在宅ケア学会学術集会講演集, 査読委員 (編集全般を含む), 国内.
- 末次, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 末次, 第 23 回福岡母性衛生学会学術集会, 事務局, 国内.
- 仲道, 福岡県助産師会, その他 (教育委員), 国内.
- 仲道, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 仲道, 平成 26 年度日本助産師会通常総会・第 70 回日本助産師学会, 実行委員, 国内.
- 木村, 第 19 回日本在宅ケア学会学術集会事務局, 国内.
- 木村, 第 19 回日本在宅ケア学会学術集会講演集, 査読委員 (編集全般を含む), 国内.

3. 官界

- 鳩野, 「福岡市介護予防教室運営業務委託事業者選定委員会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「福岡市保健福祉審議会委員」, 福岡市.
- 鳩野, 「保健師教育機関協議会 理事」, 保健師教育機関協議会.
- 鳩野, 「福岡県地域保健従事者研修企画・運営委員会委員長」, 福岡県.
- 谷口, 「福岡市こども・子育て審議会委員」, 福岡市.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 鳩野, 「保健師教育機関協議会 理事」, 保健師教育機関協議会.
- 谷口, 九州大学助産師同窓会, 理事.
- 仲道, 「九州大学助産師同窓会 会員管理」, 2014-06-01 .

5. 公開講座・公開講演会

- 鳩野, 「保健師の実践活動における倫理」, 日本公衆衛生看護学会. 東京大学. セミナー・研修会.
- 鳩野, 前野「保健師活動における PDCA サイクル展開(中堅後期研修)」, 福岡市. セミナー・研修会.
- 鳩野, 「地域ケアシステムの推進(保健師係長研修)」, 福岡市. セミナー・研修会.
- 鳩野, 「保健師活動における PDCA サイクルの推進-評価を中心に-」, 広島市保健師長会. セミナー・研修会.
- 鳩野, 「新しい保健師教育カリキュラムについて」, 久留米市. セミナー・研修会.
- 鳩野, 「保健師活動における PDCA サイクルの展開-評価を中心に-」, 佐賀県・保健所. セミナー・研修会.
- 小野, 「基本的な看護ケア」, 福岡県看護協会, 職能委員会 II 研修会.
- 小野, 「高齢者虐待防止～SOS を早期にキャッチする」, 福岡県看護協会, 研修会.
- 小野, 「看護と介護」, メンタルヘルス協会, 研修会.
- 小野, 「高齢者虐待防止と地域づくり」, 研修会, 石川県.
- 谷口, 「「男性と女性:Sex と Gender に深く関与する健康問題～あなたの人生を振り返って～」」, 第 21 回九州大学医学部保健学科公開講座. 百年講堂, 公開講座.

- 谷口, 野口, 仲道, 末次, 「学生の心をつかむ臨床指導～1分間指導法 Get!」, 第54回医学教育セミナーとワークショップ in 九州大学, 医学教育共同利用拠点岐阜大学 医学教育開発研究センターMEDC 主催, 福岡市, ワークショップ, 2014.10.19.
- 谷口, 「学生理解」京都大学医学部附属病院看護部実習指導者研修. 京都大学医学部附属病院 A 会議室, 平成 26 年 9 月 2 日.
- 谷口, 「理解したい周産期のメンタルヘルス」研修会: 助産師・看護師の両親学級の保健指導力を向上させよう! 熊本大学保健学科. 平成 26 年 12 月 20 日.
- 谷口, 「コーチング」九州大学病院看護部指導者研修会. 百年講堂, 平成 27 年 1 月 14 日.
- 前野, 「保健師の精神保健福祉活動について」, 大分県保健師長会. セミナー・研修会.
- 木村, 「大野城市子ども療育支援センター事業研修会」, 大野城市. セミナー・研修会.
- 木村, 「CARE ワークショップー親・支援者対象ー」, 大野城市. セミナー・研修会.
- 木村, 「CARE ワークショップー職員対象ー」, 大野城市. セミナー・研修会.
- 木村, 「CARE ワークショップー支援者・職員対象ー」, 長崎市. セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献

- 仲道, 「いのちの授業」, 杉の子保育園. 福岡市, 講演・セミナー等. 2015.2.
- 仲道, 「いのちの授業」, 学童保育よりどりちどり館. 福岡市, 講演・セミナー等. 2015.3.

3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野

医用量子線科学分野

《基礎放射線科学》

教授	大喜 雅文
教授	豊福 不可依
准教授	有村 秀孝
准教授	高橋 昭彦
准教授	納富 昭弘

1. 教育活動

1. 大学院講義

保健・医療とIT	大喜	前期
医用画像情報科学論	大喜	前期
基礎量子力学	豊福	前期
医学物理情報理論(大学院)	有村	前期
量子線理工科学Ⅰ(大学院)	有村	前期
量子線治療科学論(大学院)	有村	後期
基礎電磁波論	高橋	前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

量子線理工科学Ⅱ(分担)	大喜	通年
医用画像情報科学演習(分担)	大喜	通年
医用量子線理工学演習	豊福	前期
量子線治療科学演習(大学院)	有村	後期
量子線治療科学演習	納富	前期

4. 大学院修士課程修了者

Soufi Mazen (from Syria) G30(その他)	Development of Automated Framework for Detection of Intrafractional Setup Errors in Head and Neck Cancer Radiotherapy Using a Time-of-Flight Camera
野中 歩美	体幹部定位放射線治療計画における類似症例に基づくビーム方向自動決定法の開発 Development of an automated framework for determination of beam angles based on similar cases in stereotactic body radiotherapy
倉田 貴行	Kinect を用いた頭部 X 線撮影用リアルタイム位置決め補助システムに関する研究 Study on a real-time positioning assistance simulator system for skull radiography using the Microsoft Kinect
佐藤 周作	Kinect を用いた X 線撮影における水晶体被ばく線量のモニタリングシステムの開発 Development of an x-ray eye lens doses monitoring system using the Kinect sensor system

福吉 涼平	X線画像における骨と軟部組織の成分分離 ~ Kinectを用いた被写体厚測定法の検討 ~ A Kinect-Based Method of Bone and Soft Tissue Image Separation Using Object Thickness Measurement
松井 健紘	X線 CT画像を利用した個人識別のための画像マッチングに関する研究 - ファントムによる基礎的検討 - Studies on image matching technique by using CT images for personal identification: a phantom study

5. 大学院博士課程修了者

下川 元継	Correlation of progression-free and post-progression survival with overall survival in phase III trials of first-line chemotherapy for advanced epithelial ovarian cancer
吉留 郷志	Feasibility Study of Automated Framework for Estimating Lung Tumor Locations for Target-Based Patient Positioning in Stereotactic Body Radiotherapy 体幹部定位放射線治療におけるターゲットベース患者位置決めを行うための腫瘍位置自動推定法の可能性研究

6. 学部講義

医療統計学	大喜	前期
現代物理学概論	大喜	前期
物理数学 I	大喜	前期
基礎医療統計	大喜	後期
放射線物理学	豊福	前期
放射線診断物理学	豊福	後期
物理数学 II (学部)	有村	前期
放射線治療機器学 (学部) (分担)	有村	前期
コンピュータ支援診断学 (学部) (分担)	有村	前期
医用画像処理学 I (学部)	有村	後期
計算機支援診断治療学	有村	後期
電磁気学	高橋	前期
医用電気電子工学 I	高橋	前期
医用光学	高橋	前期
基幹物理学 I B	高橋	後期
医用電気電子工学 II	高橋	後期
放射線治療物理学 (分担)	納富	後期
放射線計測学 (分担)	納富	前期
放射線治療機器学 (分担)	納富	前期
放射性同位元素検査学・実習 (分担)	納富	前期
原子核物理学 (分担)	納富	前期
放射線治療技術学実習 (分担)	納富	後期

7. 学部の実験・実習・演習

医用画像処理学演習 (学部)	有村	前期
放射線計測学実験 (学部)	有村	後期
放射線治療技術学実習 (学部)	有村	後期
放射線機器学実験 (分担)	高橋	前期

基幹物理学 I B 演習	高橋	後期
卒業研究 (分担)	納富	通年
放射性同位元素検査学・実習 (分担)	納富	前期
放射線計測学実験 (分担)	納富	後期
放射線治療技術学実習 (分担)	納富	後期

8. 卒業論文作成者

荒木 詩帆	生物数理モデルを用いた MRA 画像解析
幾嶋 宏二郎	異なるモダリティ画像間のレジストレーションでの画像類似度の検討
笹原 基希	放射線治療における主成分分析を用いた類似画像検索法の基礎的検討
江藤 秀俊	モンテカルロシミュレーションによる 90Y-PET の検知限界に関する研究
山田 晃介	モンテカルロシミュレーションによる 90 Y-SPECT の検知限界研究
高岸 康知	モンテカルロシミュレーションによる 90 Y-SPECT における 111I の画像へ影響に関する研究の画像へ影響に関する研究
松尾 亮子	反跳陽子比例計数管によるオンライン n/γ 分離測定へのベイズ推定法の応用
山内 ももこ	CsI シンチレータを用いたヨウ素の自己放射化法による中性子測定の研究(1) –治療用ライナックでの測定
有吉 容子	CsI シンチレータを用いたヨウ素の自己放射化法による中性子測定の研究(2) –RI 中性子源を用いた測定
迫 康洋	ダイナミック造影 MRI における唾液腺腫瘍の経時的画像分析
森山 誠	Laser Scanning Microscopy における細胞核像の 3 次元分析
出納 麻理菜	iBooks Author を用いた電子教材の作成とその有用性
滝岩 由里菜	Sense 3D を用いた三次元形状計測の精度評価
永沼 亜梨沙	三次元形状計測と単純 X 線画像による骨と軟部組織の成分分離の可能性～Kinect と Sense 3D の比較～

9. 研究生

Sitti Yani (from Bandung Institute of Technology in Indonesia)
 Chonnikan Jongkreangkrai (from Mahidol University in Thailand)
 Anucha Chaichana (from Mahidol University in Thailand)

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1 医療系教育における e-Learning システムの構築とその評価	大喜
2 医用画像処理による診断支援	大喜
3 アルツハイマー病検出のためのコンピュータ支援診断システムの開発	有村
4 多発性硬化症のためのコンピューター支援診断システムの開発	有村
5 高精度放射線治療計画支援システムの開発	有村
6 放射線治療のための類似症例自動検索方法の開発	有村
7 レーザー生成プラズマによる短波長光源の開発とその応用	高橋
8 モンテカルロシミュレーションの核医学応用に関する研究	高橋

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」核クロマチン分布解析 を用いた BCG 膀胱内 注入療法における治療 効果評価法の確立, 大喜(分担), 0 千円.
- 「基盤研究(C)」超音波診断画像のウェーブレット変換による画像解析とシェーグレン症候群診断への応用, 大喜(代表), 1600 千円.
- 「挑戦的萌芽研究」モバイルガンマカメラを用いて腔内照射中の形態画像上4次元線量分布の可視化に挑む, 有村(代表), 0 千円.
- 「挑戦的萌芽研究」GM 管の様に使いやすい高速中性子サーベイメータの開発についての基礎研究, 納富(代表), 500 千円.

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ なし

5. その他の外部資金の受入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 湯田 翔子, 大石 善丈, 渡邊 壽美子, 大久保 文彦, 山元 英崇, 小田 義直, 岩本 幸英, 大喜 雅文, 加来 恒壽, 杉島 節夫: 軟骨肉腫と内軟骨腫の細胞像の比較検討, *日本臨床細胞学会九州連合会雑誌*, 45, 119 - 126, 2014 年 07 月.
- Hidetaka Arimura, Genyu Kakiuchi, Yoshiyuki Shioyama, Shin-ichi Minohara, Takahiro Nakamoto, Katsumasa Nakamura, Hiroshi Honda, Mutsumi Tashiro, Tatsuki Kanai, Hideki Hirata: Quantitative evaluation of the robustness of beam directions based on power spectral analysis of water-equivalent path length image in charged particle therapy, *International Journal of Intelligent Computing in Medical Sciences and Image Processing*, Vol. 6, No.1, 1-16, 2014 年 07 月.
- Natsuo Tomita, Takeshi Kodaira, Teruki Teshima, Kazuhiko Ogawa, Yu Kumazaki, Chikako Yamauchi, Takafumi Toita, Takashi Uno, Minako Sumi, Hiroshi Onishi, Masahiro Kenjo, Katsumasa Nakamura, Hodaka Numasaki, Masahiko Koizumi, Yuki Otani, Naoto Shikama, Naoki Nakamura, Kiyotomo Matsugi, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Shioyama: Japanese Structure Survey of High-precision Radiotherapy in 2012 Based on Institutional Questionnaire about the Patterns of Care, *Jpn J Clin Oncol.*, 44(6)579-586, 2014 年 04 月.
- Ze Jin, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Shioyama, Katsumasa Nakamura, Jumpei Kuwazuru, Taiki Magome, Hidetake Yabuuchi, Hiroshi Honda, Hideki Hirata, Masayuki Sasaki: Computer-Assisted Delineation of Lung Tumor Regions in Treatment Planning CT Images with PET/CT

Image Sets Based on an Optimum Contour Selection Method, *Journal of Radiation Research*, 2014 Nov;55(6):1153-62, 2014 年 11 月.

- Satoshi Yoshidome, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Kazushige Atsumi, Hideki Yoshikawa, Kei Nishikawa, Hideki Hirata: Feasibility study of automated framework for estimating lung tumor locations for target-based patient positioning in stereotactic body radiotherapy, *BioMed Research International*, Article ID 653974, 2014 年 12 月.
- Takahiro Nakamoto, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Asumi Mizoguchi, Taka-aki Hirose, Hiroshi Honda, Yoshiyuki Umedu, Yasuhiko Nakamura, Hideki Hirata: A computerized framework for monitoring four-dimensional dose distributions during stereotactic body radiation therapy using a portal dose image-based 2D/3D registration approach, *Computerized Medical Imaging and Graphics*, March 2015 Volume 40, Pages 1-12, 2015 年 03 月.
- Genichiro Wakabayashi, Akihiro Nohtomi, Eriko Yahiro, Fujibuchi Toshioh, Junichi Fukunaga, Yoshiyuki Umezu, Yasuhiko Nakamura, Katsumasa Nakamura, Makoto Hosono, Tetsuo Itoh: Applicability of self-activation of an NaI scintillator for measurement of photo-neutrons around a high-energy X-ray radiotherapy machine, *Radiological Physics and Technology*, 8, 1, 125 - 134, 2015 年 01 月.
- 藪田和利, 門前 一, 田村昌也, 鶴田隆夫, 伊藤哲夫, 納富 昭弘, 西村恭昌: 高エネルギーX線治療における CR-39 を用いた中性子測定システム, , 34, 3, 139 - 147, 2015 年 01 月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Takehiro Matsui, Masafumi Ohki, Takashi Nakamura, Yukinori Takagi: Image Analysis in Ultrasonography for Diagnosis of Sjogren's Syndrome Using Dual-Tree Complex Wavelet Transform, The American Association of Physicists in Medicine 56th Annual meeting (AAPM2014 in Austin, TX), 2014 年 07 月 21 日, United States of America.
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Katsutoshi Shirieda, Noboru Kameda, Masafumi Ohki: An approach of exposure dose reduction of cone-beam computed tomography in an image guided patient positioning system by using various noise suppression filters, 7th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 15th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS&ISIS2014 in Kitakyusyu), 2014 年 12 月 06 日, Japan.
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Katsutoshi Shirieda, Noboru Kameda, Masafumi Ohki: Possibility of exposure dose reduction of cone-beam computed tomography in an image guided patient positioning system by using various noise suppression filters, The American Association of Physicists in Medicine 56th Annual meeting (AAPM2014 in Austin, TX), 2014 年 07 月 20 日, United States of America.
- Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Umezu, Norimasa Matshishita, Yoshitaka Noguchi, Junichi Fukunaga, Tomoko Kimura, Naomi Hirano, Yoshitsugu Matsumoto, Saiji Ooga, Katsumasa Nakamura: Evaluation of a framework for determination of PTV margins based on a statistical point distribution model for CTVs in intensity modulated radiation therapy for prostate cancer (poster), Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS2014 in Fukuoka), 2014 年 06 月 27 日, Japan.
- Takahiro Nakamoto, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Asumi Mizoguchi, Taka-aki Hirose, Hiroshi Honda, Yoshiyuki Umedu, Yasuhiko Nakamura, Hideki Hirata: Automated estimation of four-dimensional dose distributions in stereotactic body radiotherapy based on a 2D/3D registration between EPID dynamic images and planning CT images.(oral), Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS2014 in Fukuoka), 2014 年 06 月 27 日, Japan.
- Yusuke Shibayama, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Norimasa Matsushita, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umezu, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: Statistical representations of clinical target volume models based on distance images for prostate cancer radiation therapy (oral), Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS2014 in Fukuoka), 2014 年 06 月 27 日, Japan.
- Nguyen Tran Thi Thao, Hidetaka Arimura, Fujibuchi Toshioh, Hideki Hirata: Evaluation of dose distributions in inhomogeneous phantom for intracavitary brachytherapy with high-dose

rate ^{192}Ir source using Monte Carlo simulation.(poster) , Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS2014 in Fukuoka), 2014年06月27日, Japan.

- Misato Imai, Hidetaka Arimura, Ayumi Nonaka, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: Investigation of feasibility of a sparse-coding-based image similarity for retrieval of similar cases in radiation treatment planning database (oral) , Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS2014 in Fukuoka), 2014年06月28日, Japan.
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Katsutoshi Shirieda, Noboru Kameda, Masafumi Ohki : Possibility of exposure dose reduction of cone-beam computed tomography in an image guided patient positioning system by using various noise suppression filters (Poster) , The American Association of Physicists in Medicine 56th Annual meeting (AAPM2014 in Austin, TX), 2014年07月20日, United States of America.
- Masayuki Yamanouchi, Hidetaka Arimura, Itsuo Yuda: CG-based Radiation Therapy Simulator with Physical Modeling for Avoidance of Collisions between Gantry and Couch or Patient (Poster) , The American Association of Physicists in Medicine 56th Annual meeting (AAPM2014 in Austin, TX), 2014年07月20日, United States of America.
- Yoshifumi Oku, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Hiraki, Masahiko Toyota, Yasumasa Saigo, Mutsumi Ikeda, Takashi Yoshiura, Hideki Hirata: Comparison between 2D and 3D treatment planning with interfractional anatomical variations in intracavitary brachytherapy for cervical cancer, the 7th Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics 2014 (Busan, Korea) , 2014年09月26日, Korea.
- Takahiro Nakamoto, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Asumi Mizoguchi, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: Computerized framework for monitoring four-dimensional tumor dose distributions during stereotactic body radiation therapy (Oral), The 2nd International Conference on Radiological Science and Technology 2014, (in Sapporo), 2014年10月10日, Japan.
- Hidetaka Arimura, Hidemi Kamezawa, Ze Jin, Takahiro Nakamoto, Mazen Soufi: Good Relationships between Computational Image Analysis and Radiological Physics (Invited speaker), The 5th International Conference on Mathematics and Natural Sciences (ICMNS 2014 in Bandung, Indonesia), 2014年11月02日, Japan.
- Hidetaka Arimura: Computational Medical Image Analysis for Improvement of Quality of Radiation Therapy (Invited speaker), 14th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP) & 12th South East Asia Congress of Medical Physics (SEACOMP), in Ho Chi Minh City, Vietnam, 2014年10月25日, Japan.
- Tran Thi Thao Nguyen, Hidetaka Arimura, Fujibuchi Toshioh, Hideki Hirata: Investigation of dosimetric impacts of tissue heterogeneities in intracavitary brachytherapy for cervical cancer, 14th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP) & 12th South East Asia Congress of Medical Physics (SEACOMP), in Ho Chi Minh City, Vietnam, 2014年10月25日, Japan
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Katsutoshi Shirieda, Noboru Kameda, Masafumi Ohki: An approach of exposure dose reduction of cone-beam computed tomography in an image guided patient positioning system by using various noise suppression filters (Oral) , 7th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 15th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS&ISIS2014 in Kitakyusyu), 2014年12月06日, Japan.
- Ze Jin, Hidetaka Arimura, Yukunori Korogi, Shingo Kakeda, Fumio Yamashita, Makoto Sasaki: Impact of inhomogeneity correction on a computer-aided diagnostic framework for asymptomatic unruptured intracranial aneurysms using magnetic resonance angiography, International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA in Tainan), 2015年01月11日, Taiwan.
- Misato Imai, Hidetaka Arimura, Ayumi Nonaka, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: Usefulness of a sparse coding with different image resolutions for retrieval of a similar image dataset in radiation treatment planning, International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA in Tainan, Taiwan), 2015年01月11日, Taiwan.
- Kozono K, Ono M, Aoki M, Kurata T, Sato S, Fukuyoshi R, Arimura H, Toyofuku F: Development of a real-time X-ray entrance dose monitoring system in interventional

radiography using two Microsoft Kinect sensors. International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS 2014), 2014 年 6 月 25-28 日, Fukuoka, Japan

- Ono M, Kozono K, Kurata T, Aoki M, Mizoguchi A, Fukuyoshi R, Sato S, Arimura H, Toyofuku F: Development of a radiographic simulator system using a Kinect sensor. International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS 2014), 2014 年 6 月 25-28 日, Fukuoka, Japan
- Takayuki Kurata, Ryohei Fukuyoshi, Shusaku Sato, Masaya Ono, Kenta Kozono, Fukai Toyofuku: Utilization of a Head Positioning Supporting System for X-rays using Kinect. AAPM 2014, 2014 年 6 月 20-24 日 Austin TX, USA
- Ryohei Fukuyoshi, Takayuki Kurata, Shusaku Sato, Kenta Kozono, Masaya Ono, Fukai Toyofuku: A Kinect-Based Method of Bone and Soft Tissue Image Separation using Object Thickness Measurement. AAPM 2014, 2014 年 6 月 20-24 日, Austin TX, USA
- Shusaku Sato, Ryohei Fukuyoshi, Takayuki Kurata, Fukai Toyofuku: The development of an x-ray dose monitoring system for the eye lens by using the Kinect sensor system. The 7th Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics (KJMP2014), 2015 年 9 月 25-27 日, Busan, Korea

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告 なし

e. 国内学会での講演, 発表

- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Katsutoshi Shirieda, Noboru Kameda, Masafumi Ohki: Possibility of exposure dose reduction of CBCT in an image guided patient setup system by using various noise reduction filters, 7th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 15th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS&ISIS2014 in Kitakyusyu), 2014 年 04 月 11 日, Pacifico Yokohama, Yokohama.
- 亀澤秀美, 有村 秀孝, 尻枝勝敏, 亀田登, 大喜 雅文: 画像誘導患者位置合わせシステムにおけるノイズ低減フィルタを用いた CBCT 撮影線量低減方法の提案, 医用画像情報学会 (MII) 平成 26 年度年次 (第 169 回) 大会 (熊本), 2014 年 05 月 31 日, 熊本大学.
- Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umezu, Fukai Toyofuku: Computerized monitoring method of intra-fractional patient setup errors by using an infrared ray based time-of-flight camera (oral), The 107th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (JSMP2014 in Yokohama), 2014 年 04 月 12 日, パシフィコ横浜.
- Misato Imai, Hidetaka Arimura, Ayumi Nonaka, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: Investigation of feasibility of sparse coding to search for similar cases in radiation treatment planning(oral), The 107th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (JSMP 2014 in Yokohama), 2014 年 04 月 13 日, パシフィコ横浜.
- Hidemi Kamezawa, Hidetaka Arimura, Katsutoshi Shirieda, Noboru Kameda, Masafumi Ohki: Possibility of exposure dose reduction of CBCT in an image guided patient setup system by using various noise reduction filters (oral), The 107th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (JSMP 2014 in Yokohama), 2014 年 04 月 11 日, パシフィコ横浜.
- Tran Thi Thao Nguyen, Hidetaka Arimura, Fujibuchi Toshioh, Hideki Hirata: Investigation of variation of dose distribution in inhomogeneous phantom for intracavitary brachytherapy with HDR 192Ir using Monte Carlo simulation (oral), The 107th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (JSMP 2014 in Yokohama), 2014 年 04 月 11 日, パシフィコ横浜.
- Yusuke Shibayama, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Norimasa Matsushita, Yoshiyuki Umezu, Taka-aki Hirose, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: Statistical CTV model based on distance images for prostate cancer radiation therapy (oral), The 107th Scientific Meeting of the Japan Society of Medical Physics (JSMP2014 in Yokohama), 2014 年 04 月 11 日, パシフィコ横浜.
- Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Umezu, Yoshitaka Noguchi, Junichi Fukunaga, Tomoko Kimura, Naomi Hirano, Yoshitsugu Matsumoto, Saiji Ooga, Katsumasa Nakamura: 毎

回の治療時の線量評価指標に対する二つの系統位置誤差モデルの影響 Impact of two systematic position error models on dose evaluation indices at each treatment fraction(oral), 第 107 回日本医学物理学学会学術大会(JSMP2014 横浜), 2014 年 04 月 10 日, パシフィコ横浜.

- Ayumi Nonaka, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Mazen Soufi, Taiki Magome, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: Development of a computer-assisted method of searching for similar cases using local gradient distribution feature for stereotactic lung (oral), 第 70 回日本放射線技術学会総会学術大会(JSRT 2014 in Yokohama), 2014 年 04 月 12 日, パシフィコ横浜.
- Hidetaka Arimura: 放射線治療のための基本的な放射線物理 Basics of Radiation Physics for Radiation Therapy (教育講演), 第 73 回日本医学放射線学会 (JRS 2014 in Yokohama), 2014 年 04 月 11 日, パシフィコ横浜.
- 亀澤秀美, 有村秀孝, 尻枝勝敏, 亀田登, 大喜雅文: 画像誘導患者位置合わせシステムにおけるノイズ低減フィルタを用いた CBCT 撮影線量低減方法の提案(口頭), 医用画像情報学会(MII)平成 26 年度年次(第 169 回)大会(熊本), 2014 年 05 月 31 日, 熊本大学.
- Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umezu, Yoshiyuki Shioyama, Fukai Toyofuku: Range-Image Guided System for Monitoring Intra-Fractional Setup Errors of Head and Neck Cancer Patients by Using an Infrared Ray Based Time-of-Flight Camera (oral), 電子情報通信学会 IEICE 医用画像研究会 MI (九州大学), 2014 年 06 月 24 日, 九州大学・基礎 B 棟.
- Hidetaka Arimura: Prospects of Computational Medical Image Analysis in High Precision Radiation Therapy (Special Lecture), 電子情報通信学会 IEICE 医用画像研究会 MI (九州大学), 2014 年 06 月 24 日, 九州大学・基礎 B 棟.
- Hidetaka Arimura, Ze Jin, Yukunori Korogi, Shingo Kakeda, Fumio Yamashita, Makoto Sasaki: Computer aided diagnosis system of intracranial aneurysms at MRA images with intensity inhomogeneity correction, 第 42 回日本磁気共鳴医学会大会(京都), 2014 年 09 月 20 日, ホテルグランヴィア京都.
- 笹原 基希, 有村 秀孝, 今井 美里, 柴山祐亮, 塩山 善之, 中村 和正, 本田 浩, 平田 秀紀: 放射線治療における基底変換を用いた類似画像検索法の基礎的検討, 九州放射線医療技術学術大会(北九州), 2014 年 11 月 01 日, 北九州国際会議場.
- 幾嶋宏二郎, 有村 秀孝, Ze Jin, 中村 和正, 塩山 善之, 本田 浩, 平田 秀紀: 放射線治療における異なるモダリティ画像間のレジストレーション技術の検討, 九州放射線医療技術学術大会(北九州), 2014 年 11 月 01 日, 北九州国際会議場.
- 柴山祐亮, 有村 秀孝, 中村 和正, 松下矩正, 廣瀬貴章, 梅津芳幸, 中村泰彦, 本田 浩, 平田 秀紀: 前立腺癌放射線治療計画のための点分布モデルに基づく PTV マージン算出方法の提案, 日本放射線腫瘍学会第27回学術大会(横浜), 2014 年 12 月 13 日, パシフィコ横浜.
- 野中歩美, 有村秀孝, 中村和正, 塩山善之, 吉武忠正, Mazen Soufi, 馬込大貴, 本田浩, 平田秀紀: 肺定位放射線治療計画支援のための肺形状の類似度を利用した類似症例検索法の開発, 日本放射線腫瘍学会第27回学術大会(横浜), 2014 年 12 月 12 日, パシフィコ横浜.
- 高橋 昭彦, 芝晃弘, 氷室和彦, 山下泰男, 小宮勲, 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: Monte Carlo Simulation of PET and SPECT of 90Y, 第 107 回日本医学物理学学会学術大会, 2014 年 04 月 11 日, パシフィコ横浜.
- 江藤秀俊, 高橋 昭彦, 芝晃弘, 氷室和彦, 山下泰生, 小宮勲, 佐々木 雅之: 90Y-PET/SPECT の検知限界に関する研究 I, 第 9 回九州放射線医療技術学術大会, 2014 年 11 月 01 日, 北九州国際会議場.
- 芝晃弘, 高橋 昭彦, 江藤秀俊, 氷室和彦, 山下泰生, 小宮勲, 佐々木 雅之: 90Y-PET/SPECT の検知限界に関する研究 II, 第 9 回九州放射線医療技術学術大会, 2014 年 11 月 01 日, 北九州国際会議場.
- 納富 昭弘, 八尋絵莉子, 木下博之, 高山愛菜, 本田宗一郎, 若林源一郎, 藤淵 俊王, 福永淳一, 梅津芳幸, 長峰周治, 中西大樹, 中村泰彦, 中村 和正: High sensitive neutron-detection around a 10 MV clinical linac by the self-activation method with an NaI scintillator, 医学物理学学会, 2014 年 04 月 13 日, 神奈川県・横浜市・パシフィコ横浜.
- 栗原凌佑, 納富 昭弘, 若林源一郎, 木下博之, 本田宗一郎, 伊藤哲夫: 沃素を含むシンチレータを用いた自己放射化法の BNCT 中性子場への適用に関する検討, 第 11 回日本中性子捕捉療法学会 学術大会, 2014 年 07 月 06 日, 大阪大学吹田キャンパス・コンベンションセンター.

- 長峰周治, 中西大樹, 納富 昭弘: Calculation of diagnostic X-ray spectrum by using PHITS code, 医学物理学会, 2014年04月13日, 神奈川県・横浜市・パシフィコ横浜.
- 栗原凌佑, 本田宗一郎, 木下博之, 納富 昭弘, 若林源一郎: ヨウ素を含むシンチレータの自己放射化による中性子検出法の研究, PHITS研究会, 2014年09月01日, 茨城県・東海村.
- Soichiro Honda, Akihiro Nohtomi, Hiroyuki Kinoshita, Ryosuke Kurihara, Genichiro Wakabayashi, Yauhiko Nakamura, Yoshiyuki Umezumi, Junichi Fukunaga: EVALUATION OF SELF-SHIELDING EFFECT AND Γ -RAY SUMMATION EFFECT IN A SELF-ACTIVATION METHOD WITH AN NAI(TL) SCINTILLATOR CONTAINING IODINE, The 7th Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics, 2014年09月27日, Busan, Korea.
- Hiroyuki Kinoshita, Akihiro Nohtomi, Soichiro Honda, Ryosuke Kurihara, Genichiro Wakabayashi, Yauhiko Nakamura, Yoshiyuki Umezumi, Junichi Fukunaga: HIGH SENSITIVE NEUTRON-DETECTION BY A SELF-ACTIVATION METHOD WITH A CSI(TL) SCINTILLATOR AROUND A CLINICAL LINAC, The 7th Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics, 2014年09月27日, Busan, Korea.
- Ryosuke Kurihara, Akihiro Nohtomi, Genichiro Wakabayashi: RISE-TIMEDISTRIBUTIONS OF A POLYETHYLENE-LINED RECOIL PROTON PROPORTIONAL COUNTER FOR FAST NEUTRONS AND GAMMA-RAYS, The 7th Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics, 2014年09月27日, Busan, Korea.
- 山内ももこ, 納富昭弘, 栗原凌佑, 木下博之, 本田宗一郎, 中村泰彦, 梅津芳幸, 福永淳一, 赤嶺寛地: CsI シンチレータを用いたヨウ素の自己放射化法による中性子測定の検討(2) ~治療用ライナックでの測定~, 第9回九州放射線医療技術学術大会, 2014年11月01日, 福岡県・北九州市.
- 有吉容子, 納富昭弘, 木下博之, 栗原凌佑, 本田宗一郎, 若林源一郎: CsI シンチレータを用いたヨウ素の自己放射化法による中性子測定の検討(1) ~RI 中性子源を用いた計測~, 第9回九州放射線医療技術学術大会, 2014年11月01日, 福岡県・北九州市.
- 松尾亮子, 納富昭弘, 栗原凌佑, 若林源一郎: ベイズ推定法を用いたポリエチレン内張り型反跳陽子比例計数管の出力パルス処理に関する研究, 第9回九州放射線医療技術学術大会, 2014年11月01日, 福岡県・北九州市.
- 納富 昭弘, 有吉容子, 山内ももこ, 木下博之, 本田宗一郎, 若林源一郎, 福永淳一, 赤嶺寛地, 梅津芳幸, 中村泰彦: CsI の自己放射化に基づく高感度中性子検出法の研究, 第29回 研究会「放射線検出器とその応用」, 2015年02月04日, つくば市 高エネルギー加速器研究機構.
- 納富 昭弘, 有吉容子, 山内ももこ, 木下博之, 本田宗一郎, 若林源一郎, 福永淳一, 赤嶺寛地, 梅津芳幸, 中村泰彦: CsI シンチレータの自己放射化にもとづく高感度中性子検出, 応用物理学会, 2015年03月13日, 神奈川県・東海大学.
- 鷺尾知也, 若林源一郎, 納富 昭弘, 眞正浄光, 古場祐介: 重粒子線照射場における CsI(Tl)シンチレータの放射化, 応用物理学会, 2015年03月12日, 神奈川県・東海大学.
- 納富 昭弘: ヨウ素を含むシンチレータの自己放射化にもとづく高感度中性子検出法の研究, 千代田テクノロ 大洗事業所研究報告会, 2014年05月30日, 東京都 千代田区 お茶の水 千代田テクノロ.

f. 学会以外での講演, 発表

- 木下博之, 納富 昭弘, 若林源一郎, 栗原凌佑, 本田宗一郎, 中村泰彦, 梅津芳幸, 福永淳一: CsI(Tl)シンチレータを用いた高感度中性子検出に関する研究, 応用物理学会・放射線夏の学校, 2014年08月06日, 高知・桂浜.
- 納富 昭弘: 放射線基礎物理, 医学物理ミニマム講習会, 2014年05月24日, 東京都荒川区・首都大学東京.

著作

a. 単行本

- 納富 昭弘: (編集) 放射線計測学 (医学物理学教科書シリーズ), 2015年03月, 国際文献社.

- 納富 昭弘: (共著)「原子力・量子・核融合事典」 5.1.3 線量測定 ・線量測定と線量変換法, 2014 年 12 月, 丸善出版.

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など

- Taka-aki Hirose, Hidetaka Arimura, Yoshiyuki Umedu, Norimasa Matshishita, Yoshitaka Noguchi, Junichi Fukunaga, Tomoko Kimura, Naomi Hirano, Yoshitsugu Matsumoto, Saiji Ooga, Katsumasa Nakamura: Evaluation of a framework for determination of PTV margins based on a statistical point distribution model for CTVs in intensity modulated radiation therapy for prostate cancer, International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery 2014, vol. 9, sup. 1, S373-374, 2014 年 06 月
- Takahiro Nakamoto, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Asumi Mizoguchi, Taka-aki Hirose, Hiroshi Honda, Yoshiyuki Umedu, Yasuhiko Nakamura, Hideki Hirata: Automated estimation of four-dimensional dose distributions in stereotactic body radiotherapy based on a 2D/3D registration between EPID dynamic images and planning CT images., International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery 2014, vol. 9, sup. 1, S68-S69, 2014 年 06 月
- Yusuke Shibayama, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Norimasa Matsushita, Yoshiyuki Umedu, Taka-aki Hirose, Yasuhiko Nakamura, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: Statistical representations of clinical target volume models based on distance images for prostate cancer radiation therapy, International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery 2014, vol. 9, sup. 1, S60-S61, 2014 年 06 月
- Nguyen Tran Thi Thao, Hidetaka Arimura, Fujibuchi Toshioh, Hideki Hirata: Evaluation of dose distributions in inhomogeneous phantom for intracavitary brachytherapy with high-dose rate 192Ir source using Monte Carlo simulation., International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery 2014, vol. 9, sup. 1, S289-S290, 2014 年 06 月
- Misato Imai, Hidetaka Arimura, Ayumi Nonaka, Katsumasa Nakamura, Yoshiyuki Shioyama, Hiroshi Honda, Hideki Hirata: Investigation of feasibility of a sparse-coding-based image similarity for retrieval of similar cases in radiation treatment planning database, International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery 2014, vol. 9, sup. 1, S77-S78, 2014 年 06 月
- Mazen Soufi, Hidetaka Arimura, Katsumasa Nakamura, Taka-aki Hirose, Yoshiyuki Umedu, Yoshiyuki Shioyama, Fukai Toyofuku: Range-Image Guided System for Monitoring Intra-Fractional Setup Errors of Head and Neck Cancer Patients by Using an Infrared Ray Based Time-of-Flight Camera, 技術研究報告 20140624, p.47 ~ p.52, 2014 年 06 月
- Hidetaka Arimura: Prospects of Computational Medical Image Analysis in High Precision Radiation Therapy, 技術研究報告 20140624, p.63~p.64, 2014 年 06 月.
- 福永淳一, 有村秀孝, 梅津芳幸, 大石歩, 広瀬貴章: 前立腺がん IMRT の治療計画における金マーカーの線量分布および線量評価指標への影響(臨床技術), 2014 年 12 月
- 有村秀孝: 治療計画計算解剖モデルに基づく粒子線治療支援システムの開発, 2014 年 11 月

受賞

- 有村, 「Possibility of exposure dose reduction of CBCT in an image guided patient setup system by using various noise reduction filters」, 第 107 回日本医学物理学会大会長賞(亀澤秀美, 有村秀孝, 他) Possibility of exposure dose reduction of CBCT in an image guided patient setup system by using various noise reduction filters, 第 107 回日本医学物理学会学術大会(横浜), 2014 年 04 月.
- 有村, 「Investigation of dosimetric impacts of tissue heterogeneities in intracavitary brachytherapy for cervical cancer」, Best Oral Presentation Award (Tran Thi Thao Nguyen, Arimura H.et al.) Investigation of dosimetric impacts of tissue heterogeneities in intracavitary brachytherapy for cervical cancer, 14th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP) & 12th South East Asia Congress of Medical Physics (SEACOMP 2014 in Ho Chi Monh City, Vietnam), 2014 年 10 月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 高橋, CO₂ レーザー生成プラズマによる高輝度 EUV 光源の開発, 宇都宮大学大学院工学研究科 2014 年 04 月～.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 有村, Austin Convention Center, July 20-24, 2014(United States of America), 国際会議, 2014 年 07 月.
- 有村, BEXCO in Busan, Sep.25-27,2013(Korea), 国際会議, 2014 年 09 月.
- 有村, 14th Asia-Oceania Congress of Medical Physics (AOCMP) & 12th South East Asia Congress of Medical Physics (SEACOMP), Invited Speaker "Computational Medical Image Analysis for Improvement of Quality of Radiation Therapy", Oct.25, 2014(Vietnam), 国際会議, 2014 年 10 月.
- 有村, Department of Nuclear Physics - Nuclear Engineering Faculty of Physics and Engineering Physics University of Science Ho Chi Minh city "Prospects of Computational Medical Image Analysis in High Precision Radiation Therapy", "Introduction of Kyushu University (Vietnam), 大学・研究所訪問, 2014 年 10 月.
- 有村, The 5th International Conference on Mathematics and Natural Sciences (ICMNS 2014 in Bandung, Indonesia) Invited Speaker "Good Relationships between Computational Image Analysis and Radiological Physics", Nov.2, 2014(Indonesia), 国際会議, 2014 年 11 月.
- 有村, Faculty of Mathematics and Natural Sciences Institute of Technology Bandung(ITB), University of Indonesia, "Prospects of Computational Image Processing in High Precision Radiation Therapy" Nov.3, 2014(Indonesia), 大学・研究所訪問, 2014 年 11 月.
- 有村, National Cheng Kung University in Tainan, Taiwan, Jan10-13, 2015(Taiwan), 国際会議, 2015 年 01 月.
- 有村, Nanyang Technological University(Singapore), " Introduction of Kyushu University and Computational Frameworks of Image Analysis for High Precision Radiation Therapy" Mar. 11, 2015(Singapore), 大学・研究所訪問, 2015 年 03 月.
- 有村, National Cancer Centre Singapore, " Computational Frameworks of Image Analysis for High Precision Radiation Therapy" Mar. 12, 2015(Singapore), 大学・研究所訪問, 2015 年 03 月.
- 高橋, SGU 創製支援事業によるマヒドン大学訪問 2015 年 3 月

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ

Soufi Mazen (from Syria) G30	修士課程	
Tran Thi Thao Nguyen (from Vietnam) G30	修士課程	
Sitti Yani (from Bandung Institute of Technology in Indonesia)	研究生	留学生
Chonnikan Jongkreangkrai (from Mahidol University in Thailand)	研究生	留学生
Anucha Chaichana (from Mahidol University in Thailand)	研究生	留学生

学生の海外派遣

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 大喜, 保健学科支線 LAN 管理者.
- 大喜, 情報通信基盤連絡会議.
- 大喜, 認証評価部会委員.
- 大喜, 評議員.
- 大喜, 全学教育企画委員会(基礎科学科目)企画部会 [情報処理科目].
- 有村, 病院地区 総合研究棟 支線LAN管理者.
- 有村, 九州がんプロ養成基盤推進プラン医学物理士養成コース担当者.

2. 部局委員

- 大喜, 保健学部門長.
- 大喜, 保健学専攻長.
- 大喜, 保健学学科長.

3. 部門・コース内委員 なし

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 大喜, 九州大学歯学部, 非常勤講師.
- 大喜, 福岡医健専門学校, 非常勤講師.
- 大喜, 長崎大学歯学部, 非常勤講師.
- 有村, 群馬大学大学院・医学研究科生命医科学専攻, 非常勤講師.
- 有村, 原田学園 鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科, 非常勤講師.
- 高橋, 岡山理科大学理学部, 非常勤講師.
- 納富, 近畿大学 原子力研究所 客員准教授, 客員教員.

2. 学協会

- 有村, 電子情報通信学会(IEICE), その他(医用画像研究会(MI)専門委員), 国内.
- 有村, 日本医学物理学会(JSMP), その他(教育委員, 用語委員), 国内.
- 有村, 日本医学物理学会(JSMP), その他(教科書編集 ad hoc 委員), 国内.
- 有村, 日本医学物理学会(JSMP), 理事, 国内.
- 有村, 医用画像情報学会(MII), その他(副編集委員長), 国内.
- 納富, 日本医学物理学会, その他(医学物理学教科書 ad hoc 委員会 委員), 国内.
- 納富, 日本医学物理学会 医学物理学教科書シリーズ「放射線計測学」, 編集委員(執筆医院、教科書 ad hoc 委員会 委員), 国内.
- 納富, Radiological Physics and Technology, 編集委員, 国際.
- 納富, Journal of Radiation Research, 査読委員, 国際.
- 納富, 日本放射線技術学会誌, 査読委員, 国内.
- 高橋, 電気学会「量子ビームによるナノバイオサイエンス技術調査専門委員会」委員, 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 有村, 「臨床応用を目指した最先端医学物理研究」と題し、名古屋大学山本先生、近畿大学門前先生、北海道大学石川先生の3名の講師を迎え、豊福教授と共に九大保健学部門において平成26年度第1回がんプロ講演会を開催した。Jan 29, 2015, 2014-06-01.
- 有村, "Introduction of Institute of Technology Bandung and "Applications of Monte Carlo Simulation in Radiotherapy"と題し、インドネシアの Institute of Technology Bandung 大学より Dr. Freddy Haryanto (Medical Physicist)を迎え、豊福教授と共に九大保健学部門において平成26年度第2回がんプロ講演会を開催した。Feb. 26, 2015, , 2014-06-01.

5. 公開講座・公開講演会

- 有村, 西日本がんプロ合同市民公開シンポジウム「がんと向きあって生きる」, 前立腺がん分科会の医学物理士パネリスト, 全国がんプロ協議会、がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン西日本7拠点. 福岡国際会議場(2014/10/18), 講演会・公開討論.

6. 初等中等教育への貢献 なし

医用量子線科学分野

《医用放射線科学》

教授	杜下 淳次
教授	佐々木 雅之
教授	平田 秀紀
准教授	藪内 英剛
講師	藤淵 俊王
講師	熊澤 誠志
助教	吉田 豊
助教	赤坂 勉

1. 教育活動

1. 大学院講義

保健学研究論	杜下	前期
医用画像科学論	杜下	後期
臨床量子線科学1	杜下	前期
臨床量子線科学2	杜下	後期
分子機能画像科学論 (分担)	佐々木	後期
臨床量子線科学 I (分担)	佐々木	前期
臨床量子線科学 II (分担)	佐々木	前期
ヘルスサイエンス論 (分担)	佐々木	前期
国際社会とチーム医療	平田	前期
がん病態治療論	平田	前期
分子機能画像科学論 (分担)	藪内	後期
分子機能画像科学演習 (分担)	藪内	前期
臨床量子線科学 I (分担)	藪内	前期
医用画像科学論	熊澤	後期
医用画像科学論	藤淵	後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

臨床量子線科学1	杜下	前期
分子機能画像科学演習 (分担)	佐々木	前期
臨床量子線科学論 I	平田	前期
量子線治療科学演習	藤淵	前期

4. 大学院修士課程修了者

田仲 由香	PET 検査の定量的評価における投与放射能補正法に関する研究 A study on correction method to normalize administered radioactivity for the quantification of glucose metabolism
-------	--

木寺 大輔	PET の空間分解能補正が定量性におよぼす影響に関する研究 (Effect of the point-spread function correction on quantitativity in PET images)
三笠 翔平	PET 検査の標準化における部分容積効果補正に関する研究 (A study of the partial volume correction on standardization of PET study)
竹下 利貴	PET/CT の不均一集積の評価における呼吸性移動の影響に関する研究(A study of an effect of respiratory movement on evaluation of intratumoral heterogeneity of PET/CT imaging)
境 紀行	逐次近似再構成法が低線量CTを用いた胸部疾患診断に与える影響の検討
汐月 剣志	左右のマモグラムの類似度に関する研究 Studies on similarity in bilateral mammograms
西懸 大介	拡散 MRI におけるコントラスト機序解明に関する研究 -シミュレーションによる信号生成過程の検討- An investigation on contrast mechanism in diffusion MRI -Simulation study on the process of signal generation-
平島 英明	前立腺癌強度変調放射線治療における位置照合法の検討 Study on the registration methods in intensity modulated radiation therapy of prostate cancer
松延 佑将	X 線 CT 画像を利用した個人識別のための画像マッチングに関する研究 -ファントムによる基礎的検討- Studies on image matching technique by using CT images for personal identification: a phantom study

5. 大学院博士課程修了者

三輪 建太	腫瘍 PET/CT 診断における新たな診断指標に関する研究
河窪 正照	Cine MRI における心臓の壁の長さを用いた心機能評価

6. 学部講義

放射線画像技術学 I	杜下	前期
放射線画像技術学 III	杜下	前期
医用画像評価学・実習	杜下	後期
放射化学・実験 (分担)	佐々木	後期
核医学検査学 I (分担)	佐々木	通年
核医学検査学 II (分担)	佐々木	通年
放射性同位元素検査技術学・実習 (分担)	佐々木	前期
放射線医学技術学概論 (分担)	佐々木	後期
人体の構造と機能 II A (分担)	佐々木	前期
放射線治療技術学 (分担)	平田	前期
身体の構造と機能	平田	前期
放射線生物学	平田	前期
臨床概説	平田	前期
放射線治療機器学	平田	前期
基幹教育総合科目「放射線とはなんだろうか？」	平田	前期
画像解剖学 I	藪内	後期
MR 超音波画像技術学	藪内	前期
放射線画像技術学実習 (分担)	藪内	後期
画像解剖学 II	藪内	後期
放射線基礎医学	藪内	後期
放射線診断学特論	藪内	後期

生理機能検査学I	藪内	前期
医療系統合教育	藪内	前期
人体の構造と機能ⅡA(分担)	藪内	前期
人体の構造と機能ⅡB(分担)	藪内	後期
放射線衛生学	藤淵	後期
品質管理論	藤淵	後期
核医学検査学Ⅰ	藤淵	前期
放射線画像技術学Ⅱ	熊澤	前期
MR撮像技術学	熊澤	前期
X線CT画像技術学	吉田	前期
医用画像情報学	赤坂	後期
放射線管理学	赤坂	後期

7. 学部の実験・実習・演習

放射線画像技術学実習(分担)	杜下	通年
医用画像評価学・実習	杜下	後期
臨地実習	杜下	通年
卒業研究	杜下	通年
放射化学・実験(分担)	佐々木	後期
放射性同位元素検査技術学・実習(分担)	佐々木	前期
臨地実習	佐々木	通年
卒業研究	佐々木	通年
放射線画像技術学実習(分担)	藪内	後期
医療系統合教育	藪内	前期
臨地実習	藪内	通年
卒業研究	藪内	通年
医用画像処理学実習(分担)	熊澤	前期
放射線画像技術学実習(分担)	熊澤	前期
放射化学・実験(分担)	熊澤	後期
放射線機器学実験(分担)	熊澤	前期
臨地実習	熊澤	通年
卒業研究	熊澤	通年
放射線治療技術学実習(分担)	藤淵	後期
放射線画像技術学実習(分担)	藤淵	後期
放射化学・実験(分担)	藤淵	後期
人体の構造と機能ⅡB(分担)	藤淵	後期
臨地実習	藤淵	通年
卒業研究	藤淵	通年
放射線機器学実験(分担)	藤淵	前期
医用画像情報学実習(分担)	藤淵	前期
放射線管理学実験	赤坂	前期
医用画像情報学実習(分担)	赤坂	前期
放射性同位元素検査学・実習(分担)	赤坂	前期

臨地実習	赤坂	通年
卒業研究	赤坂	通年
放射線機器学実験 (分担)	吉田	前期
放射線画像技術学実習 (分担)	吉田	通年
医用画像情報学実習 (分担)	吉田	前期
放射性同位元素検査学・実習 (分担)	吉田	前期
放射化学・実験 (分担)	吉田	後期
人体の構造と機能 IIB (分担)	吉田	後期
臨地実習	吉田	通年
卒業研究	吉田	通年

8. 卒業論文作成者

守田 圭伸	PET/CT の定量性向上に関する研究
今村 綾花	SPECTを用いた脳神経伝達機構の研究
國府 寺由依	SPECTを用いた脳神経伝達機構の研究
岩崎 貴大	¹⁹² Ir 小線源舌癌治療における線量評価と晩期有害事象の検証
坂井 拓	胃悪性リンパ腫の放射線照射法の検討
平野 綜一郎	女性放射線科専門医師の被曝に対する意識調査
松村 知美	デジタルマンモグラフィにおける乳癌の検出能と読影時間 ⁵ MPと8MPのLCDモニターの比較 [~]
三賀山 諒司	マンモグラフィ上構築の乱れのみを示した症例の鑑別 [~] 拡散テンソル画像の有用性の検討 [~]
木村 光宏	頭頸部 IVIM(intravoxel incoherent motion) Imaging における最適な b 値の組み合わせの検討
豊田 高稔	PET 用小型サイクロロン本体の放射化の状況の評価
寺崎 健人	プラスチックシンチレーションファイバ検出器による CTDI 測定の基本特性評価
赤松 志歩	水晶体被ばくを考慮したトモシンセシスによる顎関節後前方向撮影の検討
井本 早紀	低線量撮影時の逐次近似再構成における回転中心部の解像度低下について
白尾 朱梨	q-space imaging における平均変位推定精度のシミュレーションを用いた検証
津村 勇大	頭部 GRE-EPI におけるポジショニングの違いと磁化率アーチファクトとの関係
平山 咲英	拡散強調画像における biexponential 解析での組織構造の推定精度 [~] シミュレーションでの検討 [~]
廣岩 茜	文献と現物照合による歴史的医用 X 線管の技術的考察 [~] 第1報 ガス X 管 [~]
古川 早姫	文献と現物照合による歴史的医用 X 線管の技術的考察 [~] 第2報 クーリッジ形 X 管 [~]

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	デジタル X 線画像の画質評価法の開発	杜下
2	画像情報を用いた自動認識技術の開発	杜下
3	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる腫瘍診断	佐々木
4	PET/CT, SPECT/CT を用いた分子イメージングによる中枢神経系の診断	佐々木
5	悪性腫瘍および正常組織に対する放射線の効果	平田
6	乳腺腫瘍の MRI による診断 頭頸部腫瘍の MRI による診断 造影ダイナミック MRI と拡散強調 MRI を用いた乳癌の予後予測画像所見の研究 肺癌の化学療法効果を早期に予測する画像パラメータの研究	藪内
7	デジタルマンモグラフィの乳癌診断能の研究	藪内
8	X 線撮影技術, 診断領域の線量測定	吉田
9	患者被ばく線量の測定	赤坂

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」3T-MRI を用いた乳腺拡散テンソル画像の乳がん診療への応用, 藪内(代表), 1300 千円.
- 「若手研究(B)」シンチレーションファイバを用いたリアルタイム線量分布評価システムの開発, 藤淵(代表), 1040 千円.

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「九州大学基金、教職員の海外派遣等支援」, 藤淵, 500 千円.
- 「日本放射線技術学会、短期留学生制度」日本放射線技術学会, 藤淵, 500 千円.

5. その他の外部研究資金の受入れ なし

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Norisato Tsuda, Junji Morishita: Dose reduction in general radiography for adult patients by use of a dual-side-reading photostimulable phosphor plate in a computed radiography system, *Radiological Physics and Technology*, 7, 2, 310-315, 2014 年 05 月.
- Yudai Yano, Junji Morishita, Hiroshi Akamine, Noriyuki Hashimoto, Yasuhiko Nakamura, Hidetake Yabuuchi: Effect of fluorescent lighting on the color of liquid-crystal displays, *Radiological Physics and Technology*, 7, 2, 367-372, 2014 年 06 月.
- Kenta Miwa, Masayuki Sasaki: FDG uptake heterogeneity evaluated by fractal analysis improves the differential diagnosis of pulmonary nodules, *EUROPEAN JOURNAL OF RADIOLOGY*, 83, 4, 2014 年 04 月.
- Shingo Baba, TAKURO ISODA, Yasuhiro Maruoka, Y Kitamura, Masayuki Sasaki, Tsuyoshi Yoshida, Hiroshi Honda: Diagnostic and Prognostic Value of Pretreatment SUV in 18F-FDG/PET in Breast Cancer: Comparison with Apparent Diffusion Coefficient from Diffusion-Weighted MR Imaging., *J Nucl Med.*, 55, 5, 736 - 742, 2014 年 05 月.
- Go Akamatsu, K Uba, A Narisue, Takafumi Taniguchi, K Matsumoto, Yuji Tsutsui, Masayuki Sasaki: Impact of large axial field-of-view time-of-flight PET/CT for reducing whole-body acquisition time., *J Nucl Med Technol*, 42, 2, 101 - 104, 2014 年 05 月.
- Yuki Yano, Hidetake Yabuuchi, Masayuki Sasaki: Detectability of simulated interstitial pneumonia on chest radiographs: comparison between irradiation side sampling indirect flat-panel detector and computed radiography, *BRITISH JOURNAL OF RADIOLOGY*, 87, 1040, 2014 年 08 月.

- TAKURO ISODA, Shingo Baba, Akihiro Nishie, Masayuki Sasaki, Hiroshi Honda: Nabothian Cyst a Predominant Cause of False-Positive Iodine Uptake in Uterus Comparison of SPECT/CT and Pelvic MRI, *CLINICAL NUCLEAR MEDICINE*, 39, 8, 680 – 684, 2014 年 08 月.
- Norikazu Matsutomo, Akio Nagaki, Masayuki Sasaki: Performance of myocardial perfusion imaging using multi-focus fan beam collimator with resolution recovery reconstruction in a comparison with conventional SPECT., *Asia Oceania Journal of Nuclear Medicine and Biology*, 2, 2, 111 – 119, 2014 年 08 月.
- Murata T, Kenta Miwa, Fujibuchi Toshioh, Masayuki Sasaki: Optimal radiation shielding for beta and bremsstrahlung radiation emitted by 89Sr and 90Y: validation by empirical approach and Monte Carlo simulations., *Ann Nucl Med*, 28, 7, 617 – 622, 2014 年 08 月.
- 松友紀和, 田中崇史, 長木昭男, 佐々木 雅之: シミュレーションデータを用いた逐次近似画像再構成法に対するノイズ除去処理の検証., *日本放射線技術学会雑誌*, 70, 8, 773 – 783, 2014 年 08 月.
- Yuji Tsutsui, Daisuke Kidera, Takafumi Taniguchi, Go Akamatsu, Isao Komiya, Yoshiyuki Umezu, Yoshiyuki Kitamura, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: Accuracy of amplitude-based respiratory gating for PET/CT in irregular respirations, *ANNALS OF NUCLEAR MEDICINE*, 28, 8, 770 – 779, 2014 年 10 月.
- Taniguchi, Takafumi, Akamatsu, Go, Kasahara, Yukiko, Mitsumoto, Katsuhiko, Shingo Baba, Masayuki Sasaki, Tsutsui, Yuji, Himuro, Kazuhiko, Mikasa, Shohei, Kidera, Daisuke: Improvement in PET/CT image quality in overweight patients with PSF and TOF, *ANNALS OF NUCLEAR MEDICINE*, 29, 1, 71 – 77, 2015 年 01 月.
- Fujibuchi Toshioh, Akihiro Nohtomi, Shingo Baba, Masayuki Sasaki, Komiya, Isao, Umedzu, Yoshiyuki, Hiroshi Honda: Distribution of residual long-lived radioactivity in the inner concrete walls of a compact medical cyclotron vault room, *ANNALS OF NUCLEAR MEDICINE*, 29, 1, 84 – 90, 2015 年 01 月.
- Mikasa M, Akamatsu G, Taniguchi T, Kidera D, Kihara K, Matsuoka K, Amakusa S, Yoshida T, Masayuki Sasaki: Standardization of dual time point FDG-PET performed with different PET scanners using partial volume correction., *Research and Reports in Nuclear Medicine*, Vol. 5, 1 – 7, 2015 年 01 月.
- Maebatake A, Sato M, Kagami R, Yamashita Y, Komiya I, Himuro K, Shingo Baba, Masayuki Sasaki: An anthropomorphic phantom study of brain dopamine transporter SPECT images obtained using different SPECT/CT devices and collimators., *J Nucl Med Technol*, 43, 1, 41 – 46, 2015 年 03 月.
- Shiiba T, Nishii R, Masayuki Sasaki, Kihara Y, Tsuruta K, Maeda M, Junji Morishita: Assessment of the efficacy of early phase parameters by 123I-MIBG dynamic imaging for distinguishing Lewy body-related diseases from Parkinson's syndrome., *Ann Nucl Med*, 29, 2, 149 – 156, 2015 年 02 月.
- Hideki Hirata: Acute urinary morbidity after a permanent 125-I implantation for localized prostate cancer, *Journal of Radiation Reserch*, 55, 1178 – 1183, 2014 年 11 月.
- Yabuuchi H, Matsuo Y, Tsukamoto H, Horiuchi T, Shunya S, Kamitani T, Nagao M, Akashi K, Honda H: Evaluation of the extent of ground-glass opacity on high-resolution CT in patients with interstitial pneumonia associated with systemic sclerosis: comparison between quantitative and qualitative analysis, *Clinical Radiology*, 69, 7, 758 – 764, 2014 年 07 月.
- Yabuuchi H, Matsuo Y, Kamitani T, Jinnouchi M, Yonezawa M, Yamasaki Y, Nagao M, Satoshi Kawanami, Tatsuro Okamoto, Masayuki Sasaki, Honda H: Detectability of T1a lung cancer on digital chest radiographs: an observer-performance comparison among 2-megapixel general-purpose, 2-megapixel medical-purpose, and 3-megapixel medical-purposeliquid crystal display (LCD) monitors, *Acta Radiologica*, 2014 年 08 月.
- Fujibuchi T, Yonai S, Yoshida M, Sakae T, Watanabe H, Abe Y, Itami J: Measurement of Activity Distribution Using Photostimulable Phosphor Imaging Plates in Decommissioned 10 MV Medical Linear Accelerator, *Operational Radiation Safety*, 107, Suppl 2, S158 – S162, 2014 年 08 月.
- 松元佳嗣, 梅津芳幸, 藤淵俊王, 野口佳孝, 福永淳一, 木村知子, 平野奈緒美, 廣瀬貴章, 園田真二郎, 松本亮二: 精上皮腫に対する述語放射線治療時における睾丸シールドの有効性の検討, *日本放射線技術学会雑誌*, 70, 9, 883 – 887, 2014 年 09 月.

- Fujibuchi T, Obara S, Nakajima M, Kitamura N, Sato T: Estimation of neutron and gamma radiation doses inside the concrete shield wall for 10 and 15 MV medical linear accelerators, *Progress in Nuclear Science and Technology*, 4, 280 – 284, 2014 年 04 月.
- Masumoto K, Iiduka H, Kuga K, Fujibuchi T, Sasaki M, Fukumura T, Nakajima, Toyoda A: Effectiveness of self-shielding type cyclotrons, *Progress in Nuclear Science and Technology*, 4, 223 – 227, 2014 年 04 月.
- Isobe T, Fujibuchi T, Takada K, Mori S, Kato H, Kasahara T, Sato E, Sakae T: Measurement of dose distribution during combined IVR procedure using the film method, *Progress in Nuclear Science and Technology*, 4, 816 – 819, 2014 年 04 月.
- Murata T, Miwa K, Matsubayashi F, Wagatsuma K, Akimoto K, Fujibuchi T, Miyaji N, Takiguchi T, Sasaki M, Koizumi M: Optimal radiation shielding for beta and bremsstrahlung radiation emitted by (89)Sr and (90)Y: validation by empirical approach and Monte Carlo simulations, *Annals of Nuclear Medicine*, 28, 7, 617 – 622, 2014 年 07 月.
- Wakabayashi G, Nohtomi A, Yahiro E, Fujibuchi T, Fukunaga J, Umezu Y, Nakamura K, Hosono M, Itoh T: Applicability of self-activation of an NaI scintillator for measurement of photo-neutrons around a high-energy X-ray radiotherapy machine, *Radiological Physics and Technology*, 8, 1, 125 – 134, 2015 年 01 月.
- Fujibuchi T, Kodaira S, Sawaguchi F, Abe Y, Obara S, Yamaguchi M, Kawashima H, Kitamura H, Kurano M, Uchihori Y, Yasuda N, Koguchi Y, Nakajima M, Kitamura N, Sato T: Measurement of the secondary neutron dose distribution from the LET spectrum of recoils using the CR-39 plastic nuclear track detector in 10 MV X-ray medical radiation fields, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B*, 349, 239 – 245, 2015 年 03 月.
- Watanabe H, Maehara Y, Fujibuchi T, Koizumi M, Yamaguchi I, Kida T, Ohyama M, Horitsugi G, Hiraki H, Tsukamoto A, Itami J: Assessing the effectiveness of risk communication for maintenance workers who deal with induced radioactivity management of medical linear accelerators, *Health Physics Journal*, 2015 年 03 月.
- Fujibuchi T, Nohtomi A, Baba S, Sasaki M, Komiya I, Umedzu Y, Honda H: Distribution of residual long-lived radioactivity in the inner concrete walls of a compact medical cyclotron vault room, *Annals of Nuclear Medicine*, 29, 1, 84 – 90, 2015 年 01 月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- 三笠 翔平, 赤松 剛, 谷口 隆文, 木寺 大輔, 木原 謙, 松岡 光貴, 甘舛 慎史, 吉田 毅, 佐々木 雅之, Shingo Baba, 筒井悠治: A study of the influence of partial volume correction on the heterogeneous FDG uptake of multiple metastases in patients with breast cancer., 61st Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2014 年 06 月 09 日, United States of America.
- 木寺 大輔, 赤松 剛, 谷口 隆文, 三笠 翔平, 小宮 勲, 筒井 悠治, 佐々木 雅之: Quantitative evaluation of edge artifacts on PET images of PSF-based reconstruction at different radioactivity concentrations., 61st Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2014 年 06 月 09 日, United States of America.
- 前島 彬, 谷口 隆文, 木寺 大輔, 三笠 翔平, 加々美 るり子, 佐藤 真帆, 筒井 悠治, 小宮 勲, 佐々木 雅之: Variation in image quality with respect to difference in the frame number and acquisition time on PET/CT, 61st Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2014 年 06 月 09 日, United States of America.
- 前島 彬, 佐藤 真帆, 加々美 るり子, 谷口 隆文, 木寺 大輔, 三笠 翔平, 山下 泰生, 小宮 勲, 佐々木 雅之: Evaluation of the quantitative analysis of brain dopamine transporter SPECT images between different SPECT/CT devices., 61st Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2014 年 06 月 09 日, United States of America.
- 赤松 剛, Yasuhiko Ikari, Tomoyuki Nishio, Hiroyuki Nishida, Akihito Ohnishi, Michio Senda, 佐々木 雅之: Optimization of reconstruction parameters for FDG and amyloid brain PET imaging., 61st Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2014 年 06 月 10 日, United States of America.
- 赤松 剛, Hiroyuki Nishida, Yasuhiko Ikari, Tomoyuki Nishio, Akihito Ohnishi, Michio Senda, 佐々木 雅之: Effect of image noise in reproducibility and accuracy of standardized uptake values: a phantom study., 61st Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2014 年 06 月 10 日, United States of America.

- Takuro Isoda, Yoshiyuki Kitamura, Yasuhiro Maruoka, Shingo Baba, 佐々木 雅之, Hiroshi Honda: Evaluation of Diagnostic Performance of a Computer-Aided Diagnostic System, BONENAVI, on Bone Scintigraphy Images , 61st Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2014年06月09日, United States of America.
- Yoshiyuki Kitamura, Shingo Baba, Takuro Isoda, Yasuhiro Maruoka, 佐々木 雅之, Hiroshi Honda: Efficiency of the respiratory gating 18F-FDG PET/CT at lung adenocarcinoma: comparison between the amplitude gating method and the phase gating method , 61st Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2014年06月10日, United States of America.
- Yoshiyuki Kitamura, Shingo Baba, Takuro Isoda, Yasuhiro Maruoka, Yoshio Matsuo, 佐々木 雅之, Hiroshi Honda: Comparison between lacrimal gland tumors of IgG4-related disease and MALT lymphoma at FDG PET/CT, 61st Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2014年06月10日, United States of America.
- Yasuhiro Maruoka, Shingo Baba, Takuro Isoda, Yoshiyuki Kitamura, 佐々木 雅之, Hiroshi Honda: Relationship between Effectiveness of I-131 Therapy and 18F-FDG accumulation in Differentiated Thyroid Carcinoma patients with lung metastasis , 61st Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2014年06月09日, United States of America.
- Shingo Baba, Takuro Isoda, Yasuhiro Maruoka, Yoshiyuki Kitamura, 長尾 充展, 佐々木 雅之, Hiroshi Honda: Usefulness of myocardial 123I-MIBG-SPECT for the differential diagnosis of Parkinson's syndrome, 61st Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, 2014年06月10日, United States of America.
- Go Akamatsu, Yasuhiko Ikari, Hiroyuki Nishida, Tomoyuki Nishio, Akihito Ohnishi, Michio Senda, 佐々木 雅之: Effect of statistical noise on reproducibility and accuracy of maximum and peak SUV: a phantom study. , The 4th Annual International Asian Society of Nuclear Medicine Technology Conference, 2014年11月06日, Japan.
- Hideki Hirata: Collaboration between diagnostic radiology and Radiation Oncology* in Japan*, XIIth Balkan congress of Radiology, 2014年10月16日, Turkey.
- Yabuuchi H, Satoshi Kawanami, Kamitani T, Yonezawa M, Yamasaki Y, Nagao M, Honda H: Prediction of post-operative pulmonary function after lobectomy for primary lung cancer*: sub-segment counting method vs. volumetry using inspiratory/expiratory MDCT data, The 100th Scientific Assembly and Annual Meeting of Radiological Society of North America, 2014年11月30日, United States of America.
- Yabuuchi H, Satoshi Kawanami, Kamitani T, Matsuo Y, Yonezawa M, Yamasaki Y, Nagao M, Honda H: Utility of diffusion tensor imaging in predicting pathological T-factor in breast cancer showing non-mass enhancement on breast MRI, European Congress of Radiology 2015, 2015年03月05日, Austria.
- Kazutoshi Okamura, Yutaka Yoshida, Toru Chikui, Kazunori Yoshiura: Evaluation of the effect of iterative reconstruction method on image quality improvement in hard tissues, The 10th ACOMFR, 2014年11月20日, Indonesia.
- Seiji Kumazawa, Yoshiura Takashi, Honda Hiroshi, Toyofuku Fukai, Image-based estimation method for field inhomogeneity map in brain EPI image, International Society for Magnetic Resonance in Medicine, 2014年05月13日, Italy.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 藤淵 俊王: 平成 26 年度海外短期留学報告書, 日本放射線技術学会雑誌 Vol.71, No.3 279-283, 2015 年 03 月.

e. 国内学会での講演, 発表

- Shohei Mikasa, Masayuki Sasaki: Influence of partial volume correction on heterogeneous fluorodeoxyglucose uptake by multiple metastatic lesions in patients with breast cancer, 第 70 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2014 年 04 月 11 日, 横浜市.

- 木寺 大輔, 佐々木 雅之: PSF 補正 PET 画像のエッジアーチファクトと放射能濃度の関係, 第 70 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2014 年 04 月 13 日, 横浜市.
- 前島 彬, 佐々木 雅之: PET/CT 画像の画質と収集時間・収集フレームの関係, 第 70 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2014 年 04 月 11 日, 横浜市.
- 前島 彬, 佐々木 雅之: 脳ドパミントランスポータ SPECT の定量的解析のための関心領域の検討, 第 70 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2014 年 04 月 12 日, 横浜市.
- 前島 彬, 佐々木 雅之: 脳ドパミントランスポータ SPECT 解析における異なる装置間差の検討, 第 70 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2014 年 04 月 12 日, 横浜市.
- Go Akamatsu, Masayuki Sasaki: Optimization of image reconstruction parameters for FDG and amyloid brain PET imaging, 第 70 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2014 年 04 月 11 日, 横浜市.
- Norikazu MATSUTOMO, Masayuki Sasaki: Impact of PSF and TOF correction for myocardial FDG PET imaging: Quantitative analysis of phantom and clinical studies, 第 70 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2014 年 04 月 13 日, 横浜市.
- Kenta Miwa, Masayuki Sasaki: Performance characteristics of clustered multi-pinhole technology for simultaneous high-resolution SPECT/PET, 第 70 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2014 年 04 月 13 日, 横浜市.
- Yasuhiro Maruoka, Masayuki Sasaki: Association between response to I-131 therapy and 18F-FDG accumulation for differentiated thyroid carcinoma patients with lung metastasis, 第 73 回 日本医学放射線学会総会, 2014 年 04 月 10 日, 横浜市.
- 佐々木 雅之: PET 研修セミナー・医師歯科医師コース 臨床編③「悪性リンパ腫・原発不明癌・炎症その他」, 第 14 回 日本核医学会春季大会, 2014 年 04 月 27 日, 東京都.
- 佐々木 雅之: 核医学専門医教育セミナー・核医学指導者コース「PET/CT」, 第 14 回 日本核医学会春季大会, 2014 年 04 月 27 日, 東京都.
- 今村 綾花, 前島 彬, 國府寺 由依, 守田 圭伸, 氷室 和彦, 山下 泰生, 佐々木 雅之: 脳ドパミントランスポータ SPECT における逐次近似画像再構成の検討, 第 9 回 九州放射線医療技術学術大会、第 63 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 60 回 九州放射線技師学術大会, 2014 年 11 月 01 日, 北九州市.
- 國府寺 由依, 前島 彬, 今村 綾花, 守田 圭伸, 氷室 和彦, 山下 泰生, 佐々木 雅之: 脳ドパミントランスポータ SPECT/CT 画像における減弱補正法の検討, 第 9 回 九州放射線医療技術学術大会、第 63 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 60 回 九州放射線技師学術大会, 2014 年 11 月 01 日, 北九州市.
- 守田 圭伸, 竹下 利貴, 木寺 大輔, 三笠 翔平, 前島 彬, 今村 綾花, 國府寺 由依, 筒井 悠治, 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: PET 画像における不均一性の評価に再構成条件が及ぼす影響, 第 9 回 九州放射線医療技術学術大会、第 63 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 60 回 九州放射線技師学術大会, 2014 年 11 月 02 日, 北九州市.
- 竹下 利貴, 筒井 悠治, 前島 彬, 守田 圭伸, 小宮 勲, 氷室 和彦, 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: 呼吸性移動が腫瘍 FDG-PET の不均一集積評価へ及ぼす影響, 第 9 回 九州放射線医療技術学術大会、第 63 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 60 回 九州放射線技師学術大会, 2014 年 11 月 02 日, 北九州市.
- 江藤 秀俊, 芝 弘晃, 高橋 昭彦, 氷室 和彦, 山下 泰生, 小宮 勲, 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: 90Y-PET/SPECT の検知限界に関する研究 I, 第 9 回 九州放射線医療技術学術大会、第 63 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 60 回 九州放射線技師学術大会, 2014 年 11 月 02 日, 北九州市.
- 芝 弘晃, 山田 晃介, 江藤 秀俊, 高橋 昭彦, 氷室 和彦, 山下 泰生, 小宮 勲, 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: 90Y-PET/SPECT の検知限界に関する研究 II, 第 9 回 九州放射線医療技術学術大会、第 63 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 60 回 九州放射線技師学術大会, 2014 年 11 月 02 日, 北九州市.
- 豊田 高稔, 藤淵 俊王, 寺崎 健人, 納富 昭弘, 馬場 眞吾, 梅津 芳幸, 小宮 勲, 佐々木 雅之: PET 用小型サイクロtron本体の放射化の状況の評価, 第 9 回 九州放射線医療技術学術大会、第 63 回 日本放射線技術学会九州部会学術大会、第 60 回 九州放射線技師学術大会, 2014 年 11 月 01 日, 北九州市.
- 竹下 利貴, 筒井 悠治, 木寺 大輔, 三笠 翔平, 前島 彬, 小宮 勲, 氷室 和彦, 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: 腫瘍 FDG-PET の不均一集積の評価における呼吸性移動の影響, 第 34 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2014 年 11 月 07 日, 大阪市.

- 前島 彬, 木寺 大輔, 竹下 利貴, 三笠 翔平, 今村 綾花, 國府寺 由依, 守田 圭伸, 筒井 悠治, 小宮 勲, 氷室 和彦, 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: 小さなホット球の設置位置とPET 値の変動に関する検討, 第 34 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2014 年 11 月 07 日, 大阪市.
- 木寺 大輔, 三笠 翔平, 前島 彬, 竹下 利貴, 筒井 悠治, 馬場 眞吾, 佐々木 雅之: PSF 補正 PET 画像に用いる Gaussian Filter の至適条件の検討, 第 34 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2014 年 11 月 07 日, 大阪市.
- 三笠 翔平, 木寺 大輔, 竹下 利貴, 前島 彬, 松岡 光貴, 甘舛 慎史, 吉田 毅, 馬場 眞吾, 筒井 悠治, 佐々木 雅之: 2 施設 4 機種を用いた乳癌 PET 検査の部分容積効果補正による標準化の検討, 第 34 回 日本核医学技術学会総会学術大会, 2014 年 11 月 06 日, 大阪市.
- 赤松 剛, 井狩 彌彦, 西尾知之, 相田一樹, 西田 広之, 大西 章仁, 佐々木 将博, 佐々木 雅之, 千田 道雄: ^{11}C 薬剤を用いる PET 検査における定量性向上に関する検討, 第 54 回 日本核医学会学術総会, 2014 年 11 月 07 日, 大阪市.
- 丸岡 保博, 馬場 眞吾, 長尾 充展, 磯田 拓郎, 北村 宜之, 米澤 政人, 山崎誘三, 佐々木 雅之, 本田 浩: 心サルコイドーシスにおける心筋および縦隔・肺門リンパ節の FDG 集積とステロイド治療後反応性との関連性, 第 54 回 日本核医学会学術総会, 2014 年 11 月 06 日, 大阪市.
- 北村 宜之, 馬場 眞吾, 磯田 拓郎, 丸岡 保博, 佐々木 雅之, 本田 浩: 肺病変に対する FDG-PET/CT での位相同期法および振幅同期法による効果の比較, 第 54 回 日本核医学会学術総会, 2014 年 11 月 07 日, 大阪市.
- 磯田 拓郎, 馬場 眞吾, 丸岡 保博, 北村 宜之, 佐々木 雅之, 本田 浩: 甲状腺癌骨転移病変への放射性ヨウ素集積: FDG 集積との関係, 第 54 回 日本核医学会学術総会, 2014 年 11 月 07 日, 大阪市.
- 馬場 眞吾, 渡邊 祐司, 磯田 拓郎, 丸岡 保博, 北村 宜之, 佐々木 雅之, 本田 浩: PET/MRI 頭部撮像における頭蓋骨の有無による MR 吸収補正值への影響—3D 脳ファントムを用いた検討—, 第 54 回 日本核医学会学術総会, 2014 年 11 月 07 日, 大阪市.
- 北村 宜之, 馬場 眞吾, 磯田 拓郎, 丸岡 保博, 佐々木 雅之, 本田 浩: 振幅呼吸同期 PET を用いた肺病変の最適データ収集割合の検討, 第 50 回 日本核医学会九州地方会, 2015 年 02 月 14 日, 福岡市.
- 藪内 英剛, 松尾 芳雄, 川波 哲, 神谷 武志, 本田 浩: 原発性肺癌における肺葉切除後の肺機能予測: 亜区域カウンタ法, 吸呼吸 CT による容積測定との比較, 第 73 回 日本医学放射線学会総会, 2014 年 04 月 11 日, 横浜市.
- 吉田 豊, 倉本 卓: 管電流時間積の変化がデジタルトモシンセシス画像の画素値とコントラストに及ぼす影響, 第 70 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2014 年 04 月 12 日, 横浜.
- 岡村 和俊, 吉田 豊, 筑井 徹, 吉浦 一紀: 逐次近似法における硬組織評価時画質改善効果の検討, 第 55 回 日本歯科放射線学会総会学術大会, 2014 年 06 月 08 日, 東京.
- 赤松志歩, 吉田 豊, 齋藤高志, 大賀正浩: 水晶体被ばく線量を考慮したトモシンセシスによる顎関節前後方向撮影の検討, 第 9 回九州放射線医療技術学術大会, 2014 年 11 月 01 日, 北九州国際会議場.
- 井本早紀, 吉田 豊: 低線量時の逐次近似再構成における回転中心部の解像度低下について, 第 9 回九州放射線医療技術学術大会, 2014 年 11 月 01 日, 北九州国際会議場.
- 倉本 卓, 赤嶺寛地, 辰見正人, 吉田 豊, 塩見 剛, 加藤豊幸, 中村泰彦: ワイヤの種類がトモシンセシス断層厚測定に与える影響, 第 70 回 日本放射線技術学会総会学術大会, 2014 年 04 月 12 日, 横浜.
- 赤坂 勉: 文献と現物照合による歴史的医用 X 線管の技術的考察—第 1 報ガス X 線管, 九州放射線医療技術学術大会, 2014 年 11 月 01 日, 北九州市国際会議場.
- 赤坂 勉, 古川早姫, 廣岩茜: 文献と現物照合による歴史的医用 X 線管の技術的考察—第 2 報クーリッジ形 X 線管, 九州放射線医療技術学術大会, 2014 年 11 月 01 日, 北九州市国際会議場.
- 西懸大介, 熊澤 誠志, 藪内 英剛, 豊福 不可依, 拡散強調画像における信号減衰曲線と組織構造の関係—シミュレーションによる検討—, 第 9 回九州放射線医療技術学術大会, 2014 年 11 月 01 日, 北九州市.
- 津村勇大, 熊澤 誠志, 頭部 GRE-EPI におけるポジショニングの違いと磁化率アーチファクトとの関係, 第 9 回九州放射線医療技術学術大会, 2014 年 11 月 01 日, 北九州市.
- 平山咲英, 熊澤 誠志, 西懸大介, シミュレーションを用いた拡散強調画像における biexponential モデルの有用性の検討, 第 9 回九州放射線医療技術学術大会, 2014 年 11 月 01 日, 北九州市.

- 白尾朱梨, 熊澤 誠志, 西懸大介, モンテカルロ法を用いた q-space imaging のシミュレーション, 第9回九州放射線医療技術学会大会, 2014年11月01日, 北九州市.
- 西懸大介, 熊澤 誠志, 藪内 英剛, 豊福 不可依, シミュレーションを用いた拡散強調画像における信号減衰での biexponential モデルの検討, 第42回日本磁気共鳴医学会大会, 2014年09月20日, 京都市.
- 西懸大介, 熊澤 誠志, 藪内 英剛, 豊福 不可依, Restricted diffusion simulation using Monte Carlo method in diffusion-weighted imaging, 第70回日本放射線技術学会, 2014年04月12日, 横浜市.

f. 学会以外での講演, 発表

- 平田 秀紀: 画像誘導放射線治療における肛門カテーテル挿入と空気吸引の意義, 平成26年度文部科学省採択事業「実践能力強化型チーム医療加速プログラム」, 2015年01月25日, 福岡.

著作

a. 単行本

- 平田 秀紀, 藤淵 俊王, 斉藤勉: (共著) 日常診療のための放射線被曝の知識, 2014年12月, 金原出版.
- 齋藤 勉, 平田 秀紀, 藤淵 俊王: (共著) 日常診療のための放射線被曝の知識, 2014年12月, 金原出版株式会社.

b. 総説

- 馬場 眞吾, 磯田 拓郎, 丸岡保博, 北村宜之, 佐々木 雅之, 本田 浩: FDGによる治療効果判定と予後予測. 悪性リンパ腫の治療戦略におけるFDG-PETの役割., 臨床放射線, 2014年10月.
- 三輪建太, 赤松剛, 筒井悠治, 光元勝彦, 坂口裕一, 我妻慧, 佐々木 雅之: FDG-PET/CTの呼吸制御に関する研究., 日本放射線技術学会雑誌, 2014年11月.

c. 解説, 書評など

- 村上康二, 佐々木 雅之: FDGによる治療効果判定と予後予測. はじめに., 臨床放射線, 2014年10月.
- 藤淵 俊王: 本棚 ICRP Publ.113 放射線診断およびIVRにおける放射線防護教育と訓練, Isotope News No.727 52-53, 2014年11月.

受賞

- 杜下, 「Doi Award (年間最優秀論文賞)」, Doi Award, JSRT and JSMP, 2014年06月.
- 佐々木, 「大学院生(三笠翔平)の研究成果発表が第70回日本放射線技術学会総会学術大会にてCypos銅賞を受賞した。’, 第70回日本放射線技術学会総会学術大会 Cypos銅賞, 日本放射線技術学会, 2014年04月.
- 佐々木, 「大学院生(三笠翔平)が62st Annual Meeting of SNMMIにて2014 SNMMI Technologist Best Poster Award 3rd Placeを受賞した。’, 2014 SNMMI Technologist Best Poster Award 3rd Place, Society of Nuclear Medicine, 2014年06月.
- 佐々木, 「大学院生(赤松剛)がASNMT2014にてBest Presentation Awardを受賞した。’, 2014 ASNMT Best Presentation Award, Asian Society of Nuclear Medicine Technology, 2014年10月.
- 藤淵, JJR Excellent Reviewer Award in 2013, 日本医学放射線学会, 2014年04月.

報道なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 藤淵, 医療用リニアックからの光子線照射に伴う二次中性子線量計測, 放射線医学総合研究所, 2015年01月~2016年03月.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 佐々木, Society of Nuclear Medicine(United States of America), 国際会議, 2014年06月.
- 藤淵, International Atomic Energy Agency Seibersdorf Laboratory(Austria), その他, 2014年07月～2014年09月.

2. 外国人研究者の受入れ

a. 訪問教授・研究員 なし

b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ なし

学生の海外派遣

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員 なし

2. 部局委員

- 杜下, 分野長(医用量子線科学分野).
- 佐々木, 九州大学病院サイクロトロン運用・薬剤審査委員会 委員.
- 佐々木, 九州大学病院放射性医薬品委員会 委員.
- 佐々木, 九州大学病院放射線医療安全管理専門委員会 委員.

3. 部門・コース内委員

- 佐々木, 医学研究院保健学部門 研究推進委員会 委員長.
- 佐々木, 医学研究院保健学部門 年報委員会 委員長.
- 平田, 施設委員長.
- 平田, 広報副委員長.
- 平田, 大学院副委員長.
- 藤淵, 教務委員.
- 吉田, 百人部会委員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 佐々木, 熊本大学医学部保健学科, 非常勤講師.
- 佐々木, 浜松医科大学 医学部, 非常勤講師.
- 平田, 久留米大学認定看護師センター, 非常勤講師.
- 平田, 首都大学東京 保健学科大学院, 非常勤講師.

2. 学協会

- 杜下, 日本ラジオロジー協会, 理事, 国内.
- 杜下, 公益社団法人 日本放射線技術学会, 理事(第 69 回総会学術大会大会長 国際化特別委員会委員長 広報委員会委員長 英語論文誌編集委員会担当理事 倫理審査委員会委員), 国内.
- 平田, 日本放射線腫瘍学会, 理事, 国内.
- 佐々木, 日本医学放射線学会, (代議員), 国内.
- 佐々木, 日本核医学会, (理事), 国内.
- 佐々木, 日本核医学会, (評議員), 国内.
- 佐々木, 日本核医学会, (教育専門医認定委員会), 国内.
- 佐々木, 日本核医学会, (PET 核医学分科会), 国内.
- 藪内, 日本医学放射線学会, (代議員), 国内.
- 藪内, 日本磁気共鳴医学会、その他(教育委員会), 国内
- 藤淵, 日本放射線技術学会, その他(放射線防護分科会), 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, その他(編集委員会), 国内.
- 藤淵, 公益社団法人日本アイソトープ協会, その他(放射線安全取扱部会広報専門委員会), 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, その他(専門資格委員会委員), 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会雑誌, 編集委員, 国内.
- 藤淵, Isotope News, その他(放射線安全取扱部会 広報専門委員会), 国内.
- 吉田, 公益社団法人福岡県診療放射線技師会, その他(代議員), 国内.
- 吉田, 公益社団法人日本放射線技術学会, その他(診断領域線量標準センター九州地区担当者), 国内.
- 吉田, 全国歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師連絡協議会, その他(幹事, 学術委員長), 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 杜下, 「九州大学医学部保健学科と診療放射線技師について魅力についての広報 対象は鹿児島県内の高校生」, 鹿児島県診療放射線技師会. , セミナー・研修会.
- 平田, 「男と女の腫瘍学」, 西日本ベアリング販売協会. 福岡, 講演会・公開討論.
- 平田, 「放射線で治す一期待されるがんの放射線治療学」, 富山大学. 富山市, 講演会・公開討論.
- 藤淵, 「平成 26 年度 市民公開講座 放射線に対するリスクの正しい考え方 ー放射線と上手に付き合うためにー、講師」, 日本放射線技術学会. 大宮, 公開講座.
- 藤淵, 「第 9 回九州放射線医療技術学術大会 市民公開講座「放射線検査と医療被ばく」 ～安心して放射線検査を受けていただくために～」, 日本放射線技術学会. 北九州, 公開講座.
- 藤淵, 「『医療被ばくに関する勉強会』第 3 回 シミュレーションソフトを用いた線量評価について、講師」, 九州医療センター、実践能力強化型チーム医療加速プログラム. 九州医療センター, セミナー・研修会.
- 藤淵, 「『医療被ばくに関する勉強会』第4回 医療被ばくのリスク評価の考え方と患者説明について、講師」, 九州医療センター、実践能力強化型チーム医療加速プログラム. 九州医療センター, セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-3. 教員の活動：検査技術科学分野

検査技術科学分野

《生体情報学》

教授	栢森 裕三
教授	藤本 秀士
准教授	水上 令子
講師	田代 洋行
講師	小島 夫美子
助教	桑原 真理子
助教	安田 洋子

1. 教育活動

1. 大学院講義

生体情報解析学 I	栢森	後期
生体情報機能検査学	栢森	後期
ヘルスサイエンス論	栢森	前期
生体情報解析検査学演習	藤本	後期
病原情報解析学論	藤本	後期
分子生物化学検査学論 (分担)	水上	後期
臨床化学分析学論 (分担)	水上	後期
生体情報解析学 II (分担)	水上	前期

2. 大学院実験・実習

検査技術科学特別研究	栢森	通年
保健学特別研究	栢森	通年

3. 大学院演習

生体情報機能検査学 (分担)	栢森	後期
生体情報解析学 II (分担)	栢森	後期
生体情報機能検査学 (分担)	水上	後期
生体情報解析学 II (分担)	水上	前期

4. 大学院修士課程修了者

- グリセロール脱水素酵素と水溶性ホルマザン色素を用いた中性脂肪測定法の
河野 弥季 開発 Development of triglyceride assay using glycerol dehydrogenase coupled
with water soluble formazan dye (指導教員 栢森)
- UHPLC を用いた尿中 Thiodiglycolic acid の測定法の開発 Development of
宿利 淳 method for the measurement of urinary Thiodiglycolic acid using UHPLC
(指導教員 栢森)
- Glutamine synthetase を利用したアンモニア測定法 A new enzymatic method
船越 駿介 for ammonia assay using glutamine synthetase (指導教員 栢森)

5. 大学院博士課程修了者

- 秋本 卓 (指導教員 栢森)
野田 多美枝 (指導教員 藤本)

6. 学部講義

検査管理総論	栢森	前期
臨床化学	栢森	後期
生物化学分析検査学特論 (分担)	栢森	後期
病因・生体防御特論 (分担)	藤本	後期
病原体学Ⅱ	藤本	前期
病原体学Ⅰ	藤本	前期
臨床微生物学および実習	藤本	前期
遺伝子・細胞工学 (分担)	水上	前期
生物化学分析検査学特論 (分担)	水上	後期
医用工学・情報概論 (分担)	田代	前期
医療安全管理学 (分担)	田代	後期
呼吸機能検査学 (分担)	田代	前期
生理機能検査学特論 (分担)	田代	前期
一般検査学および実習	小島	前期
国際感染症学および実習	小島	後期
人体の構造と機能Ⅰ (分担)	小島	通年
検査基礎技術Ⅱ (分担)	小島	前期

7. 学部の実験・実習・演習

生化学・臨床化学実習 (分担)	栢森	前期
生物化学分析検査学特論 (分担)	栢森	後期
病因・生体防御特論 (分担)	藤本	後期
臨床微生物学および実習	藤本	前期
卒業研究 (分担)	水上	通年
自然科学総合実験 (分担)	水上	後期
遺伝子検査学実験 (分担)	水上	後期
生物化学分析検査学特論 (分担)	水上	後期
生理機能検査学実習 (分担)	田代	後期
医用工学・情報概論実験 (分担)	田代	前期
生体情報計測学実験 (分担)	田代	後期
一般検査学および実習	小島	前期
国際感染症学および実習	小島	後期
検査基礎技術Ⅱ (分担)	小島	前期
一般検査学および実習 (分担)	桑原	前期
生化学・臨床化学実習 (分担)	桑原	前期
検査基礎技術Ⅱ (分担)	桑原	前期

8. 卒業論文作成者

調 聡子	金属キレート試薬 Nitroso-PSAP を用いた NADH の高感度・可視化の開発における 基礎的検討 (指導教員 栢森)
松尾 明彦	HPLC による酸化型アルブミン, 還元型アルブミンの分別測定 (指導教員 栢森)
樫木 彬仁	ロイコ系発色系を利用した生体試料物質の高感度測定法 -色素の安定化とロイコ系色素による生体試料の測定系への応用- (指導教員 栢森)
田中 侑紀	尿中サルコシン測定に利用する酸化還元試薬の非特異的反応消去に関する検討 (指導教員 栢森)
下川 佳純	HPLC を用いた尿中サルコシンの高感度測定法に関する研究 (指導教員 栢森)
中尾 純子	16S rRNA 遺伝子を用いた Campylobacter 属の菌種鑑別 (指導教員 藤本)
檜垣 すみれ	Cytolethal distending toxin 遺伝子を利用した Campylobacter 属の菌種鑑別方法の検討 (指導教員 藤本)
古川 絢華	gyrB 遺伝子を用いた Campylobacter 属種の鑑別 (指導教員 藤本)
平川 愛	鞭毛蛋白構成遺伝子 flagellinA を用いた Campylobacter の菌種鑑別について (指導教員 藤本)
鎌田 菜奈子	食作用時のヒト好中球における Rab7 の機能 (指導教員 水上)
岩田 七生	好中球における p40phox の膜移行と p67phox 結合との関係 (指導教員 水上)

山中 宏晃	p67phox の PB1 ドメインのヒト好中球における機能について (指導教員 水上)
松尾 綾花	ヒト好中球における p67phox の食胞膜移行と Rac との結合 (指導教員 水上)
篠澤 亜沙子	ホルマリン保存アニサキス幼虫の分子生物学的鑑別法 (指導教員 小島)
河村 美希	ホルマリン保存虫体の分子生物学的アニサキス同胞種鑑別法の検討 (指導教員 小島)
大城 彰梧	cox2 遺伝子を用いた PCR-RFLP 法による Anisakis simplex の鑑別法の検討 (指導教員 小島)

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

栢森 保健学科新入生研修
栢森・田代 2年生クラス担任
藤本・小島 1年生クラス担任

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	生体試料バイオマーカーの分析法開発・改良と臨床応用・測定法の標準化と検査データの共有化・精度管理	栢森
2	感染症の遺伝子診断と分子疫学	藤本
3	病原細菌の感染機構の解明	藤本
4	バイオリスク管理教育の方法および教材の開発	藤本
5	トロポニン遺伝子の変異と家族性心筋肥大症	水上
6	食細胞 NADPH oxidase の食作用にともなう活性化機構	水上
7	人工視覚システムの開発	田代
8	アニサキスに関する研究	小島
9	臨床工学	桑原

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」BMI, BCI 医療機器の安全性評価のための培養細胞による通電毒性評価法の開発, 田代(代表), 1400 千円.

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄附金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「(株)ニデック 人工視覚システムの開発 内容 STS 方式人工視覚システムの安全性と耐久性の検証及び、次世代の人工視覚システムに適用する電気刺激デバイスと生体とのインターフェースに関する基礎研究。」 田代, 3996 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- Masakazu Nakamura, Shinji Yokoyama, Yuzo Kayamori, Hiroyasu Iso, Akihiko Kitamura, Tomonori Okamura, Masahiko Kiyama, Hiroyuki Noda, Kunihiro Nishimura, Michikazu Nakai, Isao Koyama, Mahnaz Dasti, Hubert W. Vesper, Tamio Teramoto, Yoshihiro Miyamoto: HDL cholesterol performance using an ultracentrifugation reference measurement procedure and the designated comparison method, *Clinica Chimica Acta*, *Clinica Chimica Acta* 2015; 439: 185–190, 2015 年 01 月.
- Murakami Koichi, Noda Tamie, Maeda Eriko, Sera Nobuyuki, Fujimoto Shuji: Easy washing of lysed cell plugs for bacterial typing by pulsed-field gel electrophoresis using simple equipment *Journal of Microbiological Methods.*, *Journal of Microbiological Methods*, 2014 年 04 月.
- Maeda Eriko, Murakami Koichi, Okamoto Fuyuki, Etoh Yoshiki, Sera Nobuyuki, Ito Kenitiro, Fujimoto Shuji: Nonspecificity of Primers for *Escherichia albertii* detection., *Japanese Journal of Infectious Diseases.*, 2014 年 12 月.
- Noda Tamie, Murakami Koichi, Y Etoh, Sera Nobuyuki, Fujimoto Shuji: Increase in resistance to extended-spectrum cephalosporins in *Salmonella* isolated from retail chicken products in Japan., *PLoS One.* , 10, 2, 2015 年 02 月.
- Maeda Eriko, Murakami Koichi, Sera Nobuyuki, K Ito, Fujimoto Shuji: Detection of *Escherichia albertii* from chicken meat and giblets., *J Vet Med Sci.* , 2015 年 03 月.
- Maeda Eriko, Murakami Koichi, Y Etoh, Sera Nobuyuki, Fujimoto Shuji: Does sequence type 33 of Shiga toxin-producing *Escherichia coli* O91 cause only mild symptoms?, *J Clin Microbiol*, 53, 1, 362 – 364, 2015 年 01 月.
- V Phongsisay, H Hara, Fujimoto Shuji: Toll-like receptors recognize distinct proteinase-resistant glycoconjugates in *Campylobacter jejuni* and *Escherichia coli*., *Mol Immunol*, 64, 1, 195 – 203, 2015 年 03 月.
- Abo, Masahiro; Minakami, Reiko; Miyano, Kei; Kamiya, Mako; Nagano, Tetsuo; Urano, Yasuteru; Sumimoto, Hideki: Visualization of Phagosomal Hydrogen Peroxide Production by a Novel Fluorescent Probe That Is Localized via SNAP-tag Labeling, *ANALYTICAL CHEMISTRY*, 86, 12, 2014 年 06 月.

- 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 原口 和敏, 大澤 孝治, 野田 俊彦, 徳田 崇, 太田 淳: ナノコンポジットゲルコートによる生体埋植刺激電極の高性能化に関する基礎的検討, 電子情報通信学会技術研究報告, 114, 212, 39 - 43, 2014 年 09 月.
- Toshihiko Noda, Kiyotaka Sasagawa, Takashi Tokuda, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Hiroyuki Kanda, Takashi Fujikado, Jun Ohta: Performance improvement and functionalization of an electrode array for retinal prosthesis by iridium oxide coating and introduction of smart-wiring technology using CMOS microchips, SENSORS AND ACTUATORS A-PHYSICAL, 211, 1, 27 - 37, 2014 年 05 月.
- Toshihiko Noda, Kiyotaka Sasagawa, Takashi Tokuda, Hiroyuki Kanda, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Takashi Fujikado, Jun Ohta: Fabrication of Fork-Shaped Retinal Stimulator Integrated with CMOS Microchips for Extension of Viewing Angle, Sensors and Materials, 26, 8, 637 - 648, 2014 年 07 月.
- 小島 夫美子, 藤本 秀士: 冷蔵保存下でのアニサキス幼虫の侵入性, Clinical Parasitology, 25, 1, 80 - 82, 2014 年 12 月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Shigematsu Mika, Fujimoto Shuji, Kigawa Mika: Further analysis of the knowledge retention rate and students interest for the introduction to biorisk management lecture., 57th American biological safety association annual conference. , 2014 年 10 月 06 日, United States of America.
- Fujimoto Shuji, Shigematsu Mika, Fumiko Kojima: Alternative to dry ice: examination of temperature control with cold-storage plate system during hot summer transportation., 57th American biological safety association annual conference. , 2014 年 10 月 06 日, United States of America.
- Kojima Fumiko, Fujimoto Shuji: Genetic Identification of Anisakis simplex larvae by PCR-RAPD., International Meeting of Emerging Infectious Disases and Surveillance 2014., 2014 年 11 月 01 日, Austria.
- Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Yukari Nakano, Koji Osawa, Motoki Ozawa, Toshihiko Noda, Takashi Tokuda, Jun Ohta, Takashi Fujikado : Safety Assessment of Chronic Suprachoroidal-Transretinal Stimulation in Normal Rabbits by the Femtosecond Laserinduced Porous Electrodes, The Association for Research in Vision and Ophthalmology(ARVO) 2014 Annual Meeting, 2014 年 05 月 05 日, United States of America.
- Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Yukari Nakano, Koji Osawa, Motoki Ozawa, Toshihiko Noda, Takashi Tokuda, Jun Ohta, Takashi Fujikado : Charge Injection Capacities of Femtosecond Laser-induced Porous Electrodes measured in vitro and in vivo: Comparison between porous and smooth electrodes, The Association for Research in Vision and Ophthalmology(ARVO) 2014 Annual Meeting , 2014 年 05 月 05 日, United States of America.
- asuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Yukari Nakano, Kouji Oosawa, Motoki Ozawa: An Analysis of

Abnormal Peak in Cyclic Voltammogram of Porous Platinum Electrode, 36th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society(EMBS), 2014年08月28日, United States of America.

- Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Kouji Osawa, Toshihiko Noda, Takashi Tokuda, Jun Ohta: Current state of the development of retinal prosthesis with Suprachoroidal- Transretinal Stimulation, 2014 Taiwan-Japan Joint Symposium, 2014年12月15日, Japan.
- T Noda, T Fujisawa, K Sasagawa, T Tokuda, H Takehara, Y Terasawa, H Tashiro, H Kanda, T Fujikado, J Ohta: Fabrication of a smart electrode array with built-in CMOS microchips for STS retinal prosthesis, The Eye and The Chip, The 8th Biennial World Congress on the Relationship between Neurobiology and Nano-Electronics Focusing on Artificial Vision, 2014年09月29日, United States of America.
- Fujimoto Shuji, Shigematsu Mika, Kojima Fumiko: Alternative to dry ice: examination of temperature control with cold-storage plate system during hot summer transportation., 57th Annual Biological Safety Conference, 2013., 2014年10月07日, United States of America.
- Fumiko Kojima, Shuji Fujimoto: Genomic identification of Anisakis simplex larvae by PCR-RAPD., International Meeting on Emerging Diseases and Surveillance, 2014年11月02日, Austria.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

- 藤本 秀士, 重松 美加, 小島 夫美子: 国際的な基準を参照した病原体取扱い教育実習室の設計の検討. (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2015年03月.
- 重松 美加, 藤本 秀士: バイオリスク管理システムの国際規格構築に関する研究 (厚生労働科学研究費補助金 (新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書), 2015年03月.
- 小島 夫美子: 熱帯医学研究拠点共同研究報告集 2013年度 ケニアにおける住血吸虫症の水系伝播リスクのアセスメント法の開発と実践 1)ケニア国・ビクトリア湖畔・ビタ県における中間宿主 Biomphalaria sp.分布に関する基礎的調査. 2)水中の住血吸虫セルカリアを種特異的に高感度・定量的に検出するためのアッセイ系の確立. 3)中間宿主貝における住血吸虫感染率測定法の確立, 長崎大学熱帯医学研究所, , 2014年07月.
- 小島 夫美子, 藤本 秀士: 寄生虫学実習における電子版寄生虫卵アトラスの教育的効果, 日本臨床検査学教育学会, , 2014年09月.
- 藤本 秀士, 重松美加, 小島 夫美子: 国際的な基準を参照した病原体取扱い教育実習室の設計の検討. (厚生労働科学研究費補助金 (新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究推進事業) 分担研究報告書)2014, 2015年03月.

e. 国内学会での講演, 発表

- 河野 弥季, 立石 多貴子, 太田 英里, 秋本 卓, 外園 栄作, 栢森 裕三: グリセロール脱水素酵素と水溶性ホルマザン色素を用いた中性脂肪測定法の開発, 第 61 回 日本臨床検査医学会, 2014 年 11 月 23 日, 福岡国際会議場(福岡市).
- 宿利 淳, 河野 弥季, 太田 英里, 秋本 卓, 立石 多貴子, 外園 栄作, 栢森 裕三: UHPLC を用いた尿中 Thiodiglycolic acid の測定法の開発, 第 25 回生物試料分析科学会, 2015 年 02 月 14 日, 文京学院大学(東京都).
- 河野 弥季, 立石 多貴子, 太田 英里, 秋本 卓, 外園 栄作, 栢森 裕三: グリセロール脱水素酵素と水溶性ホルマザン色素を用いた中性脂肪測定法の開発, 第 25 回生物試料分析科学会, 2015 年 02 月 14 日, 文京学院大学(東京都).
- 太田 英里, 外園 栄作, 河野 弥季, 秋本 卓, 立石 多貴子, 中野 由依, 大澤 進, 栢森 裕三: 糖負荷残存検体を利用した胃粘膜障害検査としての Maltose 酵素的測定法の開発(第 2 報), 第 25 回生物試料分析科学会, 2015 年 02 月 14 日, 文京学院大学(東京都).
- 川村 亮輔, 秋本 卓, 太田 英里, 河野 弥季, 立石 多貴子, 外園 栄作, 栢森 裕三: 金属キレート試薬を用いた NADH の高感度可視化に関する基礎的検討, 第 25 回生物試料分析科学会, 2015 年 02 月 14 日, 文京学院大学(東京都).
- 小島 夫美子, 藤本 秀士: 冷蔵保存下でのアニサキス幼虫の侵入性, 第 25 回日本臨床寄生虫学会大会, 2014 年 06 月 14 日.
- 重松 美加, 藤本 秀士, 小島 夫美子: リスク管理学習プログラムの試み, 第 88 回日本感染症学会学術講演会・第 62 回日本化学療法学会総会合同学会, 2014 年 06 月 19 日.
- 藤本 秀士, 重松 美加, 小島 夫美子: 病原体等の輸送における保冷方法の検証, 第 88 回日本感染症学会学術講演会・第 62 回日本化学療法学会総会合同学会, 2014 年 06 月 19 日.
- 小島 夫美子, 藤本 秀士, 岡田章良: 内視鏡によりヒト体内から摘出された Anisakis simplex 幼虫の分子生物学的解析, 第 88 回日本感染症学会学術講演会・第 62 回日本化学療法学会総会合同学会, 2014 年 06 月 19 日.
- 藤本 秀士, 重松 美加, 小島 夫美子: 病原体・感染性検体等の輸送における保冷方法の検証, 第 23 回日本臨床微生物学会, 2015 年 02 月 01 日.
- 中野 由香梨, 寺澤 靖雄, 田代 洋行, 大澤 孝治, 大槻 幹: 人工視覚システム用レーザー加工刺激電極による1ヶ月間の慢性電気刺激の評価, 第 52 回日本生体医工学会大会, 2014 年 06 月 26 日, 仙台国際センター.
- 田代 洋行, 寺澤 靖雄, 原口 和敏, 大澤 孝治, 野田俊彦, 徳田 崇, 太田 淳: ナノコンポジットゲルコートによる生体埋植刺激電極の高性能化に関する基礎的検討, 電子情報通信学会 ME とサイバネティクス研究会, 2014 年 09 月 12 日, 信州大学, 長野市.
- 藤沢 匠, 野田 俊彦, 寺澤 靖雄, 田代 洋行, 竹原 宏明, 笹川 清隆, 徳田 崇, 太田 淳: 人工視覚用 CMOS チップ内蔵型スマート電極デバイスの刺激機能実証, 第 75 回 応用物理学会秋期学術講演会, 2014 年 09 月 17 日, 北海道大学札幌キャンパス, 札幌.

- 小島 夫美子, 藤本 秀士: 冷蔵保存下でのアニサキス幼虫の侵入性, 第25回日本臨床寄生虫学会大会, 2014年06月14日, 東京医科歯科大学.
- 重松美加, 藤本 秀士, 小島 夫美子: リスク管理学習プログラムの試み, 第88回日本感染症学会学術講演会・第62回日本化学療法学会総会 合同学会, 2014年06月19日, 福岡.
- 藤本 秀士, 重松美加, 小島 夫美子: 病原体等の輸送における保冷方法の検証, 第88回日本感染症学会学術講演会・第62回日本化学療法学会総会 合同学会, 2014年06月18日, 福岡.
- 小島 夫美子, 藤本 秀士, 岡田章良: 内視鏡によりヒト体内から摘出された *Anisakis simplex* 幼虫の分子生物学的解析, 第88回日本感染症学会学術講演会・第62回日本化学療法学会総会 合同学会, 2014年06月19日, 福岡.
- 藤本 秀士, 小島 夫美子: 病原体・感染性検体等の輸送における保冷方法の検証, 第23回日本臨床微生物学会, 2015年02月01日, パシフィコ横浜.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- 栢森 裕三: (共著) 新版 臨床化学 第3版 ; 片山善章, 栢森裕三, 長村洋一 (編), 2014年10月, 講談社.

b. 総説 なし

c. 解説, 書評など なし

受賞 なし

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 田代, 人工視覚システムの開発 内容 STS 方式人工視覚システムの安全性と耐久性の検証及び、次世代の人工視覚システムに適用する電気刺激デバイスと生体とのインターフェースに関する基礎研究, (株)ニデック, 2014年03月~2015年02月.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

p5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 栢森, チンゲルテイ地区病院(Mongolia), その他, 2014年07月～2014年07月.
- 藤本, American Biosafety Association Preconference & Conference(United States of America), 国際会議, 2014年10月～2014年10月.
- 藤本, IMED2014(Austria), 国際会議, 2014年10月～2014年11月.

2. 外国人研究者の受入れ

- a. 訪問教授・研究員 なし
- b. 訪問研究者 なし

留学生の受入れ なし

学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 栢森, 21世紀プログラム委員会 委員.
- 藤本, 医療系統合教育研究センター 副センター長.
- 藤本, 学生支援センター 企画運営委員会 委員.
- 藤本, 学生支援委員会 委員.
- 藤本, 研究用微生物安全管理委員会 委員.

2. 部局委員

- 栢森, 九州大学医系地区部局臨床研究倫理審査委員.

3. 部門・コース内委員

- 栢森, 広報委員会委員長.
- 栢森, 施設・環境委員会 委員.
- 藤本, 地域国際連携推進委員会・FD実行委員会 副委員長.
- 藤本, 学生委員会 委員長.
- 藤本, 学生相談員.

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 栢森, 純真学園大学, 非常勤講師.
- 水上, 福岡教育大学教育学部, 非常勤講師.

- 小島, 博多メディカル専門学校・臨床工学士科, 非常勤講師.

2. 学協会

- 栢森, 生物試料分析科学会の編集委員長として、学会誌「生物試料分析」の編集に携わっている。
生物試料分析科学会.
- 栢森, 日本臨床化学会の集会・広報委員会(常置委員会)委員長として、学会の年次学術集会の企画推進、学会情報の広報(ホームページ等)の充実に図っている。日本臨床化学会.
- 栢森, 日本臨床検査自動化学会, 評議員, 国内.
- 栢森, 日本臨床検査医学会, 評議員, 国内.
- 栢森, 生物試料分析科学会, 理事, 国内.
- 栢森, 日本臨床化学会, 評議員, 国内.
- 栢森, 生物試料分析科学会, その他(九州支部長), 国内.
- 栢森, 日本臨床化学会, 理事(常務理事), 国内.
- 栢森, 日本臨床検査自動化学会, その他(監事), 国内.
- 藤本, 日本細菌学会, 評議員, 国内.
- 藤本, 日本細菌学会九州支部会, その他(監事), 国内.
- 藤本, 日本細菌学会九州支部会, 評議員, 国内.
- 小島, 日本寄生虫学会, 評議員, 国内.
- 小島, 日本臨床寄生虫学会, 評議員, 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 栢森, 「九州精度管理研究会生化学部門 副委員長として、地域の臨床検査標準化活動に貢献している。」.
- 藤本, 「コンサルタント(株)日立ハイテクノロジーズ 研究開発本部」.
- 小島, 「大学内保育園における評議委員」.

5. 公開講座・公開講演会

- 藤本, 「平成26年度病原体等の包装・運搬講習会」, 厚生労働省. 福岡第二合同庁舎2階 共用第2~4会議室, セミナー・研修会.
- 藤本, 「第2回 BMSA九州 感染症セミナー 感染症の正しい理解のために:食中毒:感染性腸炎を中心に」, NPO法人 バイオメディカルサイエンス研究会. パピヨン24 10+11号会議室, セミナー・研修会.

6. 初等中等教育への貢献 なし

検査技術科学分野

《病態情報学》

教授	梅村 創
教授	永淵 正法
教授	杉島 節夫
講師	勝田 仁
講師	外園 栄作
助教	栗崎 宏憲
助教	渡邊 壽美子

1. 教育活動

1. 大学院講義

病態情報解析学 (分担)	杉島	前期
国際社会とチーム医療 (分担)	杉島	前期
代謝内分泌病態検査学論 (分担)	勝田	前期
ヘルスサイエンス論(分担)	梅村	前期
血液機能検査学論	梅村	前期
保健学研究論 (分担)	永淵	前期
免疫機能検査学論	永淵	後期
病理細胞検査学論	杉島	後期
国際社会とチーム医療論	杉島	後期
代謝内分泌病態検査学論 (分担)	勝田	後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

病態情報病理細胞検査学演習 (分担)	杉島	後期
--------------------	----	----

4. 大学院修士課程修了者

江口 奈津希	BCG曝露におけるp21とpRBリン酸化の関連性 - T24細胞を使って - The Relation between p21 and pRB Phosphorylation with BCG Exposure (指導教員 杉島)
川崎 章平	肺腺癌のEGFR遺伝子変異の有無による細胞学的検討 Cytological study of lung adenocarcinoma with EGFR gene mutations (指導教員 杉島)

白濱 早紀	exosome microRNA に及ぼす低酸素の影響 under hypoxic condition (指導教員 梅村)	Changes in exosome microRNAs
弘津 真由子	造血バイオマーカーとしての miR-451 の解析 erythropoiesis (指導教員 梅村)	Analysis of miR-451 as biomarker for
平川 可南子	日本人糖尿病患者における TYK2 promoter variant の意義 TYK2 promoter variant in Japanese diabetic patients (指導教員 永淵)	The significance of
松元 彩香	膵β細胞分化・再生における分子メカニズムの解明 pancreatic β-cell differentiation and regeneration (指導教員 永淵)	The molecular mechanism of

5. 大学院博士課程修了者

6. 学部講義

組織病理検査学及び実習Ⅲ(分担)	杉島	後期
細胞生物学	杉島	前期
形態検査学特論	杉島	後期
血液検査学Ⅰ	梅村	前期
血液検査学Ⅱ	梅村	後期
輸血検査学(分担)	梅村	前期
検査基礎技術Ⅰ(分担)	梅村	前期
生体防御学(分担)	永淵	前期
臨床病理学総論(分担)	永淵	前期
臨床免疫学Ⅰ(分担)	永淵	前期
臨床病理学特論(分担)	永淵	前期
医学総論(分担)	永淵	前期
臨床免疫学Ⅱ(分担)	永淵	後期
免疫細胞解析学(分担)	永淵	後期
生理機能検査学Ⅰ(分担)	勝田	前期
生理機能検査学Ⅱ(分担)	勝田	前期
生理機能検査学Ⅲ(分担)	勝田	前期
医学総論Ⅱ(分担)	勝田	前期
生化学	勝田	前期
公衆衛生学	外園	前期
臨床検査統計学および演習	外園	前期
生物化学分析学特論	外園	後期
科学の進歩と女性科学者	渡邊	前期
組織・病理検査学および実習Ⅱ	渡邊	前期

7. 学部の実験・実習・演習

組織病理検査学及び実習Ⅲ（分担）	杉島	後期
血液検査学実習（分担）	梅村	前期
遺伝子検査学実習（分担）	梅村	後期
臨床免疫学実習（分担）	永淵	後期
生理機能検査学実習（分担）	勝田	後期
検査基礎技術Ⅱ（分担）	勝田	後期
検査基礎技術Ⅱ（分担）	外園	前期
臨床検査統計学および演習	外園	前期
検査基礎技術Ⅰ	外園	後期
生物化学分析学特論	外園	後期
臨床微生物学および実習	栗崎	前期
臨床免疫学実習	栗崎	前期
遺伝子検査学実験	栗崎	前期
国際感染症学および実習	栗崎	後期
血液検査学実習	渡邊	前期
組織・病理検査学および実習Ⅱ	渡邊	前期
組織病理検査学及び実習Ⅰ	渡邊	後期
組織病理検査学及び実習Ⅲ	渡邊	後期

8. 卒業論文作成者

古賀 美咲	マラリア感染症バイオマーカーとしての赤血球 microRNA（指導教員 梅村）
竹内 久琴	血漿 microRNA 測定の標準化のための基礎的検討 -フィルター濾過の影響-（指導教員 梅村）
中村 優里	採血時溶血で血漿に放出される赤血球由来 miRNA の定量的解析（指導教員 梅村）
松元 雄大	TET2 遺伝子を介したチロシンキナーゼ阻害剤による miR-203 の発現調節 （指導教員 梅村）
徳澄 奏	DBA/2 マウスの Tlr3 プロモーター領域の解析及びインターフェロン刺激による ISGs 誘導 における Jak1 の意義（指導教員 永淵）
池田 遥	マウスにおける Jak1 の塩基配列解析および IFN 刺激による Jak1 遺伝子の意義 （指導教員 永淵）
笠木 貴光	脳心筋炎ウイルス D 株の感染マウス臓器における IFN- α 、インスリン、グルカゴン、CD45 および MHCclass I の免疫組織染色による発現解析（指導教員 永淵）
下田 ゆかり	DBA/2J マウスにおける Reg 遺伝子プロモーター領域の変異検索及び EMC-D ウイルス 感染マウスの免疫組織化学的検討（指導教員 永淵）

河津 大雅	甲状腺穿刺吸引細胞診における濾胞性腫瘍の鑑別点の検討 (指導教員 杉島)
林 真希	子宮頸部腺細胞の良悪性の鑑別 (指導教員 杉島)
藤井 直人	リンパ節細胞診における良性疾患と悪性リンパ腫の細胞像の検討および Giemsa 染色と Papanicolaou 染色の細胞像の比較 (指導教員 杉島)
吉田 幸代	体腔液細胞診における悪性中皮腫の細胞形態 (指導教員 杉島)
和田 育子	マウス腎被膜下に移植したヒト膵島における発現遺伝子解析(マイクロアレイ解析) (指導教員 勝田)
幸田 彩花	高血糖および正常血糖マウス腎被膜下に移植したヒト膵島における遺伝子発現解析(マイクロアレイ解析) (指導教員 勝田)
中野 由依	糖負荷試験後の残余検体を利用した胃粘膜検査法の開発 (指導教員 外園)
林 江梨香	生体試料中の還元物質の影響を受けにくい超微量高感度 H ₂ O ₂ 検出法の開発における基礎的検討 (指導教員 外園)
吉村 汐里	血漿コリンの酵素的測定法の開発と生体試料中における血漿コリンと PLD 活性の関連性についての検討 (指導教員 外園)
植村 瑞紀	非定型的腺細胞:AGUS の数量的解析 (指導教員 渡邊)
濱崎 有実慧	二核細胞の出現に関する検討-IV ~培養細胞を用いて~ (指導教員 渡邊)
田代 勇輝	DBA/2 マウスにおける Tlr2, Tlr-4 遺伝子のプロモーター領域および Aire 遺伝子の発現の解析 (指導教員 栗崎)

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

杉島・勝田 4年生クラス担任

永淵・外園 3年生クラス担任

3. 研究活動

1. 主要研究事項

- | | |
|--------------------------------|----|
| 1. 疾患バイオマーカーとしての血漿 microRNA 解析 | 梅村 |
| 2. 造血機能解析に関わる血液検査学の開発 | 梅村 |
| 3. 白血病化の分子機構に関する研究 | 梅村 |
| 4. ウイルス誘発糖尿病 | 永淵 |
| 5. AIRE 遺伝子の発現調節と機能 | 永淵 |
| 6. 1型糖尿病感受性遺伝子研究 | 永淵 |

7. 臨床細胞診断学	杉島
8. 膵島再生機構の解明と糖尿病再生医療の確立	勝田
9. 生体試料, 特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断法の開発	外園
10. 生体試料中の酸化・還元成分が生体に及ぼす影響についての研究	外園
11. 自己免疫調節遺伝子の機能解析	栗崎
12. 癌細胞における細胞形態学	渡邊
13. 細胞形態の客観的評価のためのソフト開発	渡邊

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「挑戦的萌芽研究」 AIRE 研究を基盤とした新たな自己抗原(DI)に対する自己抗体の臨床的意義, 永淵(代表), 1400 千円.
- 「基盤研究(C)」膵SP細胞を用いた膵β細胞再生法の開発, 勝田(代表), 800 千円.
- 「基盤研究(C)」核クロマチン分布解析を用いたBCG膀胱注入療法における治療効果評価法の確立, 渡邊(代表), 1100 千円.

3. 学内研究経費の受け入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

- ビューレット反応と金属錯体法を組み合わせた新規高感度タンパク質測定試薬に関する共同研究」 関東化学株式会社, 外園, 500 千円.

5. その他の外部資金の受入れ

- 「関東化学株式会社 ビューレット反応と金属錯体法を組み合わせた新規高感度タンパク質測定試薬に関する共同研究」 外園, 1800 千円

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

a. 学会誌・学術専門誌

- 野上美和子, 大久保文彦, 清松桂子, 仲 正喜, 中附加奈子, 寺戸信芳, 杉島節夫, 小田義直: LIQUID BLOCKER を用いた尿細胞診検体処理法の評価, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 2014:45:23?28., 2014 年 07 月.
- 湯田翔子, 大石善丈, 渡辺寿美子, 大久保文彦, 山元英崇, 小田義直, 岩本幸英, 大喜雅文, 加来恆壽, 杉島節夫: 軟骨肉腫と内軟骨腫の細胞像の比較検討, 日本臨床細胞学会九州連合会, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 2014:45:119?126., 2014 年 07 月
- NAOKI FUJIYOSHI, KIMIO USHIJIMA, KOUICHIRO KAWANO, KEIZO FUJIYOSHI, TOMOHIKO

YAMAGUCHI3, YUKO ARAKI, TATSUYUKI KAKUMA, Sumiko Watanabe, Tsunehisa Kaku, TAKASHI NISHIDA, TOSHIHARU KAMURA: Radiation effects on DNA content of cervical cancer cells: A rapid evaluation of radiation sensitivity by laser scanning cytometry , MOLECULAR AND CLINICAL ONCOLOGY, 51 – 54, 2015 年 03 月.

b. 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Sumiko Watanabe, Natsuki Eguchi, Setsuo Sugishima, Tunehisa Kaku: Formation Mechanism of Binucleated HeLa Cells, The 38th European Congress of Cytology 2014. 29th Sep. , 2014 年 09 月 29 日, Switzerland.
- Setsuo Sugishima: Education of the Cytotechnologist in the Master's Degree Course in Kyushu University, The 7th Japan, Taiwan, Korea Cytotechnology Joint Meeting, 2015 年 03 月 21 日, Japan.
- Eisaku Hokazono, E. Ota, S. Osawa, S. Kiuchi, M. Akimoto, T. Tateishi, Yuzo Kayamori: Development of the high sensitive assay of protein by new principle of three-dimensional complex with protein-copper-Chromazurol B, IFCC WORLDFLAB ISTANBUL , 2014 年 06 月 23 日, Turkey.

c. 大学・研究機関などの刊行誌 なし

d. 調査研究報告

e. 国内学会での講演, 発表

- 川崎章平, 大久保文彦, 仲 正喜, 中附加奈子, 杉島 節夫, 小田 義直: 肺腺癌の EGFR 遺伝子変異の有無による細胞学的検討について, 第 55 回日本臨床細胞学会春期大会, 2014 年 06 月 06 日, 横浜市.
- 下代清香, 渡邊 壽美子, 加来 恒壽, 桑岡 勲, 大屋正文, 江口冬樹, 杉島 節夫: 子宮頸部扁平上皮病変における HPV 感染と二核細胞の出現意義, 第 55 回日本臨床細胞学会春期大会, 2014 年 06 月 06 日, 横浜市.
- 軍場麻紀, 渡邊 壽美子, 林田 涼, 西村和徳, 仲 正喜, 杉島 節夫, 加来 恒壽, 岩坂 剛: 二核細胞の検討-II ~出現機序および細胞周期との関連性について~, 第 55 回日本臨床細胞学会春期大会, 2014 年 06 月 06 日, 横浜市.
- 寺戸芳信, 仲 正喜, 野上美和子, 大久保文彦, 中附加奈子, 杉島 節夫, 孝橋賢一, 山元英崇, 小田義直: 多形型非浸潤性小葉癌の二例, 第 30 回日本臨床細胞学会九州連合会学会, 2014 年 07 月 05 日, 横浜市.
- 仲 正喜, 大石善丈, 加来 恒壽, 渡邊 壽美子, 大久保文彦, 田宮貞史, 加藤聖子, 小田義直, 杉島 節夫: 卵巣明細胞腺癌における核内封入体の細胞診断学的有用性, 第 53 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2014 年 11 月 08 日, 下関市.

- 江口奈津希, 渡邊 壽美子, 杉島 節夫, 加来 恒壽: 膀胱癌培養細胞における BCG 曝露効果の検討 -pRB, p21 の発現-, 第 53 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2014 年 11 月 08 日, 下関市.
- 外園 栄作, 太田 英里, 秋本 卓, 立石 多貴子, 栢森 裕三, 川元 ゆかり, 大澤 進: Chromazurol B を用いた新しい測定原理による高感度尿中総蛋白測定法の開発, 日本臨床化学会, 2014 年 09 月 07 日, 東京(東京大学).
- 太田 英里, 外園 栄作, 秋本 卓, 立石 多貴子, 栢森 裕三: 血清 Ethanolamine の酵素的測定法の開発, 日本臨床検査自動化学会, 2014 年 10 月 11 日, 神戸(神戸国際会議場).
- 外園 栄作, 太田 英里, 大澤 進, 川元 ゆかり, 秋本 卓, 立石 多貴子, 栢森 裕三: Chromazurol B(CAB)を用いた高感度尿中総蛋白測定法の改良とその基礎的性能評価, 日本臨床検査医学会, 2014 年 11 月 24 日, 福岡.
- 太田 英里, 外園 栄作, 秋本 卓, 立石 多貴子, 栢森 裕三: 血清 Ethanolamine の酵素的測定法の開発とその臨床的意義の検討, 日本臨床検査医学会, 2014 年 11 月 23 日, 福岡(国際会議場).
- 秋本 卓, 立石 多貴子, 太田 英里, 外園 栄作, 栢森 裕三: 逆相クロマトグラフィーによる尿中 Tamm-Horsfall Protein(THP)測定法の開発, 日本臨床検査医学会, 2014 年 11 月 24 日, 福岡(国際会議場).
- 坂本 舞, 立石 多貴子, 田中 侑紀, 太田 英里, 秋本 卓, 外園 栄作, 栢森 裕三: 尿中サルコシンの酵素的測定法の基礎的検討, 日本臨床検査医学会, 2014 年 11 月 24 日, 福岡(国際会議場).
- 河野 弥季, 立石 多貴子, 太田 英里, 秋本 卓, 外園 栄作, 栢森 裕三: グリセロール脱水素酵素と水溶性ホルマザン色素を用いた中性脂肪測定法, 日本臨床検査医学会, 2014 年 11 月 25 日, 福岡(国際会議場).
- 河野 弥季, 立石 多貴子, 太田 英里, 秋本 卓, 外園 栄作, 栢森 裕三: グリセロール脱水素酵素と水溶性ホルマザン色素を用いた中性脂肪測定法の開発, 生物試料分析科学会, 2015 年 02 月 14 日, 東京(文京学院大学).
- 太田 英里, 外園 栄作, 河野 弥季, 秋本 卓, 立石 多貴子, 中野 由衣, 大澤 進, 栢森 裕三: 糖負荷試験残余検体を利用した胃粘膜障害検査としての Maltose 酵素的測定法の開発(第2報), 生物試料分析科学会, 2015 年 02 月 14 日, 東京(文京学院大学).
- 立石 多貴子, 田中 侑紀, 坂本 舞, 河野 弥季, 秋本 卓, 太田 英里, 外園 栄作, 栢森 裕三: 酵素法による尿中サルコシンの高感度測定法の開発, 生物試料分析科学会, 2015 年 02 月 15 日, 東京(文京学院大学).
- 宿利 淳, 河野 弥季, 太田 英里, 秋本 卓, 立石 多貴子, 外園 栄作, 栢森 裕三: UHPLC を用いた尿中 Thiodiglycolic acid の測定法の開発, 生物試料分析科学会, 2015 年 02 月 15 日, 東京(文京学院大学).
- 川村 亮輔, 秋本 卓, 太田 英里, 河野 弥季, 立石 多貴子, 外園 栄作, 栢森 裕三: 金属キレート試薬を用いた NADH の高感度可視化に関する基礎的検討, 生物試料分析科学会, 2015 年 02

月 15 日, 東京(文京学院大学).

- 外園 栄作, 河野 弥季, 太田 英里, 秋本 卓, 立石 多貴子, 林 江梨香, 大澤 進, 栢森 裕三: 生体試料中の還元物質の影響を受けづらい高感度検出技術の開発, 生物試料分析科学会, 2015 年 02 月 15 日, 東京(文京学院大学).
- 軍場 麻紀, 渡邊 壽美子, 林田 涼, 西村 和徳, 仲 正喜: 二核細胞の検討 II~出現機序および細胞周期との関連性について~, 第 55 回日本臨床細胞学会総会(春期大会), 2014 年 06 月 06 日, パシフィコ横浜.

f. 学会以外での講演, 発表 なし

著作

a. 単行本

- 吉田 眞一, 永淵 正法, 南嶋洋一: (共著) 微生物学, 2014 年 04 月, 医学書院.

b. 総説 なし.

c. 解説, 書評など なし

d. 受賞 なし

e. 報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 梅村、「アジア諸国における貧血診断ネットワーク構築を目指す研究」、株式会社堀場製作所、2012 年 04 月～.
- 梅村、「診断用とチップの開発」三菱レイヨン株式会社、2013 年 04 月～.
- 外園, エタノールアミンの酵素的測定法の確立, 旭化成ファーマ株式会社, 2006 年 04 月～.
- 外園, 遊離コリンの酵素的測定法の確立, 旭化成ファーマ株式会社, 2006 年 04 月～.
- 外園, ビューレット反応と金属錯体法を組み合わせた新規高感度タンパク質測定試薬に関する共同研究, 関東化学株式会社, 2014 年 07 月～2016 年 06 月.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 栗崎, Eurocentres London Central(United Kingdom), その他, 2015年02月～2015年03月

2. 外国人研究者の受入れ

a.訪問教授・研究員 なし

b.訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 杉島, 教育企画委員会委員
- 杉島, 基幹教育会議委員
- 永淵, 医学研究院保健学部門検査分野 分野長
- 外園, 環境安全センター委員会
- 外園, 環境安全管理委員

2. 部局委員

- 杉島, 医療系統合教育委員会委員
- 勝田, 高度先端医療センター 百人部会・委員

3. 部門・コース内委員

- 杉島, 教務委員会委員長
- 永淵, 人事委員会委員
- 永淵, 大学院委員会委員
- 永淵, 広報委員会委員
- 勝田, 検査技術科学分野・会計
- 外園, FD 実行委員
- 渡邊, 将来計画委員会

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 外園，博多学園高等学校，非常勤講師
- 外園，久留米歯科衛生専門学校，非常勤講師
- 栗崎，純真学園大学保健医療学部検査科学科，非常勤講師
- 栗崎，福岡県私設病院協会専門学校 看護専門課程 看護科，非常勤講師
- 栗崎，純真学園大学保健医療学部看護学科，非常勤講師
- 渡邊，純真学園大学保健医療学部検査科学科，非常勤講師
- 渡邊，福岡県立大学大学院看護学研究科，非常勤講師

2. 学協会

- 杉島，日本臨床細胞学会九州連合会，理事，国内.
- 杉島，福岡県臨床細胞学会，副会長，国内.
- 杉島，日本臨床検査教育学協議会，理事，国内.
- 杉島，日本臨床細胞学会九州連合会雑誌，編集委員，国内.
- 永淵，日本感染症学会西日本地方会，理事（監事），国内.
- 勝田，日本臨床検査学教育学会，評議員，国内.
- 外園，日本臨床検査同学院の主催する試験の九州地区試験委員として緊急臨床検査士試験に参加，日本臨床検査同学院，学術団体.
- 外園，生物試料分析科学会，評議員，国内.
- 外園，日本臨床検査自動化学会，運営委員，国内.
- 外園，生物試料分析科学会，理事，国内.
- 渡邊，日本臨床細胞学会福岡県支部，理事（会計），国内.
- 渡邊，日本臨床細胞学会九州連合会，その他（編集委員），国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 外園，「身近かな健康を考える2?安全にすこやかに?」，九州大学医学部保健学科 . 九州大学百年講堂中ホール，公開講座.

6. 初等中等教育への貢献 なし

4. 教員組織および委員会一覧

❖ 教員組織・委員会一覧

教員人員及び教員配置表

保健学部門

平成 26 年度

分野・領域	教授	准教授	講師	助教(准助教)	その他
看護学					
統合基礎看護学	樗木 晶子 加来 恒壽 大池美也子 中尾 久子 藤田 君支 <small>平成 26 年 4 月 1 日採用</small>	木下 義晶 <small>平成 26 年 12 月病院へ配置換</small> 原田 博子 橋口 暢子 濱田 裕子	丸山マサ美 宮園 真美 <small>平成 26 年 4 月 30 日退職</small> 中島 充代 <small>平成 27 年 3 月 31 日退職</small> 木下 由美子 <small>平成 26 年 12 月 1 日助教から昇任</small> 松浦 俊治 <small>平成 26 年 12 月 1 日医学部門から昇任</small> 能登 裕子 <small>平成 26 年 4 月 1 日採用</small>	道面千恵子 金岡 麻希 富岡 明子 <small>平成 27 年 3 月 31 日退職</small> 梶原 弘平 藤田 紋佳 木原 深雪 潮 みゆき	
広域生涯看護学	鳩野 洋子 小野 ミツ 谷口 初美	川田 紀美子 <small>平成 27 年 1 月 1 日採用</small>	寺岡 佐和 前野有佳里 野口ゆかり	木村 一絵 重松由佳子 <small>平成 26 年 9 月 30 日退職</small> 仲道 由紀 末次 美子	
医用量子線科学					
基礎放射線科学	大喜 雅文 豊福不可依 <small>平成 27 年 3 月 31 日 定年退職</small>	高橋 昭彦 有村 秀孝 納富 昭弘			
医用放射線科学	平田 秀紀 佐々木雅之 杜下 淳次	藪内 英剛	熊澤 誠志 <small>平成 27 年 3 月 31 日退職</small> 藤淵 俊王	赤坂 勉 吉田 豊 高根 侑美 <small>(特定プロジェクト教員) 平成 27 年 3 月 16 日採用</small>	
検査技術科学					
生体情報学	藤本 秀士 栢森 裕三	水上 令子	田代 洋行 小島夫美子	桑原 真理子 <small>平成 26 年 7 月 1 日採用</small> 安田 洋子 <small>(有期教員) 平成 27 年 3 月 1 日採用</small>	
病態情報学	梅村 創 <small>平成 27 年 3 月 31 日 定年退職</small> 永淵 正法 杉島 節夫		勝田 仁 外園 栄作	栗崎 宏憲 渡邊壽美子	

No.	1		2		3		17		7		16	
	委員会	総務委員会	将来計画、点検・評価委員会	部門長	研究推進委員会	部門長	年報委員会	地域・国際連携推進委員会	前年度副委員長	【看】谷口	FD実行委員会	【看】谷口
委員長		部門長	【放】佐々木	【放】佐々木	【放】佐々木	【放】佐々木	【放】佐々木	【看】藤本	7.に同じ	7.に同じ	【看】藤本	7.に同じ
副委員長		委員長指名	【検】永淵	委員長指名	委員長指名	委員長指名	委員長指名	【検】藤本	7.に同じ	7.に同じ	【検】藤本	7.に同じ
看護学	分野から選出する委員	分野長 中尾	25.4~ 27.3	加来(26.4~)	教授(1)	2.に同じ	2.に同じ	25.4~ 27.3	谷口	助教以上(6)	7.に同じ	7.に同じ
			助教以上(1)	濱田	助教以上(2)	2.に同じ	2.に同じ	26.4~ 28.3	木下(義) 野口 道面 木村 梶原	助教以上(5)	7.に同じ	7.に同じ
医用量子線科学	分野から選出する委員	分野長 杜下	26.4~ 28.3	佐々木	教授(1)	2.に同じ	2.に同じ	26.4~ 28.3	佐々木	助教以上(3)	7.に同じ	7.に同じ
			助教以上(1)	高橋	助教以上(2)	2.に同じ	2.に同じ	25.4~ 27.3	有村 熊澤(26.4~)	助教以上(2)	7.に同じ	7.に同じ
検査技術科学	分野から選出する委員	分野長 永淵	25.4~ 27.3	梅村	教授(1)	2.に同じ	2.に同じ	25.4~ 27.3	藤本	助教以上(3)	7.に同じ	7.に同じ
			助教以上(1)	渡辺	助教以上(2)	2.に同じ	2.に同じ	26.4~ 28.3	田代 外園	助教以上(2)	7.に同じ	7.に同じ
職指定の委員		副部門長 副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長) (部内)研究推進委員会委員長 (部内)学生委員会委員長 (部内)教務委員会委員長 (部内)大学院委員会委員長	副部門長 (各分野長) (部内)財務委員会委員長 (部内)学生会委員会委員長 (部内)教務委員会委員長 (部内)大学院委員会委員長	副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長)	副部門長 (各分野長) (部内)教務委員会副委員長 (部内)大学院委員会副委員長					

※「2. 将来計画、点検・評価委員会」「3. 研究推進委員会」は同一の委員とする。
 ※「17. 年報委員会」の委員は、「2. 将来計画、点検・評価委員会」の委員の内から構成する。
 ※「7. 地域・国際連携推進委員会」と「16. FD委員会」の教授委員は同一の委員とする。

No. 委員会 委員長 副委員長	4 人事委員会 部門長 委員長指名		5 教員業績評価委員会 部門長 委員長指名		6 再任審査委員会 部門長 委員長指名		8 財務委員会 部門長 施設・環境委員長		9 施設・環境委員会 部門長指名 委員長指名		10 学生委員会 前年度副委員長【検】藤本 総務委員会で検 討、部門会議で 委員長指名	
	看護学	教授 (1)	26.4~ 28.3	教授 (1)	4. に同じ	教授 (1)	4. に同じ	教授 (1)	25.4~ 27.3	鳩野	教授 (1)	26.4~ 28.3
医用量子線科学	教授 (1)	25.4~ 27.3	教授 (1)	4. に同じ	准教授 講師 (1)	26.4~ 28.3	前野	教授 (1)	26.4~ 28.3	教授 (1)	26.4~ 28.3	豊福 (26.4~)
検査技術科学	教授 (1)	26.4~ 28.3	教授 (1)	4. に同じ	教授 (1)	25.4~ 27.3	納富 (26.4 ~)	教授 (1)	26.4~ 28.3	教授 (1)	25.4~ 27.3	有村 (26.4~)
職指定の委員	副部門長 (各分野長)		副部門長 (各分野長)		副部門長 (各分野長)		副部門長 (各分野長)		副部門長 (各分野長)		(全学)学生関係委員 口	

※「4. 人事委員会」「5. 教員業績評価委員会」「6. 再任審査委員会」の教授委員は同一の委員とする。

No.	11		12		13		14		15	
委員会 委員長 副委員長	教務委員会		大学院委員会		入学試験実施委員会		広報委員会		放射線安全委員会	
	前年度副委員長 【検】杉島 【看】大池	前年度副委員長 【看】小野 【放】平田	前年度副委員長 【看】小野	前年度副委員長 【看】小野	前年度副委員長 【看】鳩野	前年度副委員長 【検】栢森	前年度副委員長 【検】栢森	前年度副委員長 【検】栢森	前年度副委員長 【検】栢森	前年度副委員長 【検】栢森
	26.4～ 28.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3
看護学	教授 (1)	講師 以上 (1)	教授 (2)	教授 (1)	教授 (1)	教授 (1)	教授 (1)	教授 (1)	教授 (1)	教授 (1)
	大池	寺岡	藤田(君)	小野	鳩野	平田	橋口	大池	大池	大池
	26.4～ 28.3	25.4～ 27.3	26.4～ 28.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3	26.4～ 28.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3
医用量子線科学	教授 (1)	講師 以上 (1)	教授 (2)	教授 (2)	教授 (1)	教授 (1)	准教授 講師 助教 (3)	教授 (1)	准教授 講師 助教 (1)	教授 (1)
	佐々木	藤淵(26.4 ～)	平田(26.4 ～)	永淵	平田	平田	橋口 木下(由 (26.4～) 能登	平田	平田	有村 吉田
	26.4～ 28.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3	(24.4～ 26.3)	26.4～ 28.3	26.4～ 28.3	25.4～ 27.3	26.4～ 28.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3
検査技術科学	教授 (1)	講師 以上 (1)	教授 (2)	教授 (2)	教授 (1)	教授 (1)	准教授 講師 助教 (1)	教授 (1)	准教授 講師 助教 (1)	教授 (1)
	杉島	勝田	永淵	永淵	梅村	梅村	永淵	永淵	永淵	永淵
	25.4～ 27.3	26.4～ 28.3	26.4～ 28.3	26.4～ 28.3	26.4～ 28.3	26.4～ 28.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3	25.4～ 27.3
職指定の委員	(全学)教務関係委員		(全学)教務関係委員		部門長 副部門長 (各分野長)		部門長 放射線取扱主任者【納富(26.4～)】 放射線取扱副主任者【赤坂】 事務部長		部門長 放射線取扱主任者【納富(26.4～)】 放射線取扱副主任者【赤坂】 事務部長	

※(部内)教務委員会委員長・副委員長が附属図書館医学図書館運営委員を兼ねる。
 ※(全学)教育企画委員会委員は、(部内)教務委員会委員が就任する。

【H26病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現(H26)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	アイトープ総合センター 病院地区実験室運営委員会		【放射】 佐々木 教授	2年	H26.4.1	H28.3.31	教授1名	医学研究院から5名(内、保健学から1名)
2	アイトープ総合センター 病院地区学生実習室運営委員会		【放射】 佐々木 教授	2年	H26.4.1	H28.3.31	教授1名	
3	アイトープ総合センター 病院地区実験室及び病院地区学生 実習室放射線安全委員会		【放射】 納富 准教授	2年	H26.4.1	H28.3.31	教授1名	
4	アイトープ総合センター 病院地区実験及び病院地区学生 実習室放射線取扱副主任者		【放射】 藤淵 講師	2年	H26.4.1	H28.3.31		
5	附属図書館医学図書館運営委員会	部内教務委員会 委員から選出	【検査】 杉島 教授	2年	H25.4.1	H27.3.31	教授2名	〔部門内〕図書 委員会は教務 委員会と統合 →教務委員会 委員長・副委 員長が兼ねる
		部内教務委員会 委員から選出	【看護】 大池 教授		H26.4.1	H28.3.31		
6	医療系統合教育研究センター委員 会		【検査】 藤本 教授 《副センター長》	2年	H25.4.1	H27.3.31	医・歯・薬・保 の輪番で教 授1名(副セ ンター長から 1名)	・副センター長 ・〔部門内〕教 務委員長 →実質的な任 期は1年
		部門内教務委員 長(実質的な任 期は1年)	【検査】 杉島 教授		H26.4.1	H27.3.31	保健学部門 教授から1名	※センター長 は各部局選出 の副センター 長4名から1名 が輪番で選出 (原則、副セ ンター長経験者 から) ★H21-H22年 度は(保)から センター長を 選出
			【看護】 中尾 教授		H26.4.1	H28.3.31	保健学部門 の教員から1 名	
7	医療系統合教育研究センター兼任 教員		【看護】 中尾 教授		H26.4.1	H28.3.31		
8	病院地区協議会	【職指定】部門長	大喜 教授 (部門長)				部門長	医学・歯学・薬 学研究院長、 生体防御医学 研究所長、病 院長、保健学 部門長、医系 学部等事務部 長、病院事務 部長、医療系 統合教育研究 センター長及 び(オブザー バーとして)副 病院長(歯科 部門)
		【職指定】 医療系統合教育 研究センター長	(医)					
9	病院地区学生感染対策委員会	【職指定】 学生委員会副委 員長	【看護】 樗木 教授	(2年)	H26.4.1	H27.3.31	保健学部門 の学府の学 生の教育又は 感染対策に責任 を持つ組織に所 属する教員の うちから選出 された者1名	学生委員会副 委員長が兼ね る →実質的な任 期は1年

番号	委員会名	役職指定等	現(H26)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
10	病院地区教育情報委員会	【職指定】 保健学部門副部門長(教育担当)	【検査】永淵 教授		H26.4.1	H27.3.31	・保健学部門の副部門長のうち主として教育を担当する者1名 ・学部教育を担当する委員会の委員長 ・学府教育を担当する委員会の委員長 →実質的な任期は1年	
		【職指定】 部内教務委員会委員長	【検査】杉島 教授					
		【職指定】 部内大学院委員会委員長	【看護】小野 教授					
11	九州大学医の倫理に関する協議会	【職指定】部門長	大喜 教授 (部門長)				部門長	部局長・保健学部門長・各倫理審査委員会委員長・人文・社会科学の有識者・その他協議会が必要と認めた者
12	総合研究棟管理運営委員会		【放射】大喜 教授	2年	H24.8.1	H26.7.31		※4号委員 教授1名
			【看護】加来 教授		H24.8.1	H26.7.31		※5号委員 部局管理運用部分の許可を受けている者
13	職員等用駐車区域運営委員会幹事会		【検査】杉島 教授 【検査】外園 講師				教授1名、准教授以下1名	
14	病院地区特許・技術移転相談室協力教員		【検査】永淵 教授					
15	病院サイクロトン生産放射性同位元素の医学的利用に関する委員会		【放射】 佐々木 教授	2年	H26.4.1	H28.3.31	病院地区所属物理学専攻の教員	保健学部門から2名選出していたが、H22年度は1名のみ選出
16	病院放射性医薬品委員会		【放射】 佐々木 教授					
17	病院先進医療適応評価委員会		【看護】金岡 助教	2年	H25.4.1	H27.3.31	保健学部門助教以上、女性教員	
18	アジア遠隔医療開発センター運営委員会		【看護】寺岡 講師	2年	H26.4.1	H28.3.31	病院地区(医学系、歯学系、薬学系、保健学系を含む)の教員の内から選ばれた者	長家准教授(前任) H25.3.31転出
19	医系地区部局臨床研究倫理審査委員会		【放射】 納富 准教授	2年	H26.4.1	H28.3.31	保健学部門講師以上2名(1名は教授とする)	
			【検査】栢森 教授		H25.4.1	H27.3.31		
20	医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会		【看護】藤田 教授	2年	H26.4.1	H28.3.31	保健学部門教授1名(医学に関する専門家)	

番号	委員会名	役職指定等	現(H26)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
21	病院遺伝子治療臨床研究倫理審査委員会		【検査】永淵 教授	2年	H25.4.1	H27.3.31	保健学部門教授1名 (医学に関する専門家)	
22	医学研究院再任審査委員会		【検査】永淵 教授	1年	H26.4.1	H27.3.31	保健学部門教授1名 (医学に関する専門家)	年1～2回;10分/回程度
23	医学研究院情報公開委員会	【職指定】 教育研究評議員	大喜 教授 (部門長) (必要に応じて選出)					年5回程度
24	医学研究院教員業績評価専門部会	部門長 各分野長	部門長 各分野長					申し合わせでは部門長から指名された分野長1名となっているが、実質的に各分野長が行っている
25	基礎研究B棟管理運営委員会	【職指定】 ①部門長 ②当該年度施設・環境委員長 ③前年度施設・環境委員長	①部門長 ②【放射】平田教授 ③【看護】中尾教授				※部門長、当該年度及び前年度の〔部門内〕施設・環境委員長が兼ねる→実質的な任期は2年	基礎B棟の改修及び改修後の利用計画等について
26	病院運営会議 オブザーバー委員		【看護】加来 教授	2年	H26.4.1	H28.3.31	保健学部門臨床系教授1名	毎月1回開催
27	保険診療適正化推進委員会		【看護】加来 教授	2年				

【平成26年度全学委員会委員】

番号	委員会	現(H26)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
1	総長特別補佐	樗木 教授	2年	H25.4.1	H27.3.31	総長指名	
2	環境安全衛生推進室室長	樗木 教授				総長指名	
3	男女共同参画推進室副室長	樗木 教授				総長指名	
4	教育研究評議会(評議員)	大喜 教授(学科長)	2年	H26.4.1	H28.3.31	九州大学教育研究評議会規則第2条第1項第5号(各学部の教授1名)	医学部の教育研究評議員は、H18年度以降保健学科長が兼ねている。
5	G30実施調整会議	【放射】 有村 准教授	2年	H25.9.1	H27.8.31	各部局から選出された教授又は准教授 1名	※医学とは別枠
6	新キャンパス計画専門委員会	(生)	2年	H24.11.9	H26.11.8	医歯生病のうちから選ばれた1名	医・歯・薬・生・保の輪番
7	キャンパス計画及び施設管理委員会	(薬)	2年	H26.4.1	H28.3.31	医歯薬生の教授から1名	
8	研究用微生物安全管理委員会	【検査】 小島 講師	2年	H25.4.1	H27.3.31	研究用微生物を取扱う施設を置く部局の教授、准教授及び講師各1名	※医学とは別枠 ※願わくば、藤本教授、小島講師と交互に担当をお願いしたいとのこと。(H25.12.25)
9	放射線障害防止委員会	【放射】 納富 准教授		H26.4.1～			放射線取扱主任者がオブザーバーとして参加
10	環境保全管理委員会	【検査】 外園 講師	2年	H26.4.1	H28.3.31	環境保全管理委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠 (化学物質や健康問題に詳しい教員)	環境安全センター委員会委員を兼ねる ★[部門内]施設・環境委員会構成員となる
11	環境安全センター委員会(旧:特殊廃液処理施設運営委員会(H22年度改組))	【検査】 外園 講師	2年	H26.4.1	H28.3.31	環境安全センター委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠	環境保全管理委員会委員が兼ねる(H18年度から)
12	入学試験審議会	大喜 教授(学科長)					保健学科長がオブザーバーとして参加
13	入学試験実施委員会	【看護】 鳩野 教授	(2年)	H26.4.1	H27.3.31		[部門内]入学試験実施委員会委員長 →実質的な任期は1年
14	入学者選抜研究委員会	【放射】 高橋 准教授	2年	H24.5.1	H26.4.30	入学者選抜研究委員会規程第3条第1項第10号(総長が必要と認めた者若干人)	統計のできる准教授クラス
15	学生支援委員会(学生委員会から改編)	【検査】 藤本 教授	(2年)	H26.4.1	H27.3.31	医学系学府保健学専攻から選ばれた教授1名	※医学とは別枠 [部門内]学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
		【看護】 樗木 教授		H26.4.1	H27.3.31	医学部保健学科から選ばれた教授1名	
16	教育企画委員会(旧:教務委員会)	【検査】 杉島 教授	(2年)	H26.4.1	H27.3.31	医学系学府保健学専攻又は医学部保健学科から選ばれた教授1名	※医学とは別枠 [部門内]教務委員会委員長 →実質的な任期は1年

番号	委員会	現(H26)委員	任期	始期	終期	委員資格・条件等	備考
17	基幹教育委員会 (H25.11 新設)	【検査】 杉島 教授	(2 年)	H26.4.1	H27.3.31	医学系学府保健学専攻 の教授のうちから選ばれ た者 1人	教育企画委員会委員 が兼ねる 〔部門内〕教務委員会 委員長 →実質的な任期は1年
18	21世紀プログラム専門委 員会 (旧:21世紀プログラム実 施委員会)	【検査】 栢森 教授	2 年	H26.4.1	H28.3.31	各学部から選ばれた教 授1名 ※医学として	看・医・検分野の輪番
19	基幹教育実施会議 (旧:全学教育運営会議)	【検査】 杉島 教授	(2 年)	H26.4.1	H27.3.31	その他運営会議が必要 と認めた者	〔部門内〕教務委員会 委員長 →実質的な任期は1年
20	全学情報環境利用委員会 (旧:情報基盤センター学 内共同利用運営委員会)	【放射】 有村 准教授	2 年	H26.4.1	H28.3.31	各研究院の教授及び准 教授のうちから選ばれた 者各1人 ※医学として	
21	ハラスメント等対策委員会	(歯) (病) (生)	2 年	H26.4.1	H28.3.31	医歯薬生病の教授、准 教授及び講師から2名 (少なくとも1名は女性)	医・歯・薬・病・生の輪 番
22	ハラスメント等相談員	(医[保])女性教員 【看護】中島 講師 (病)	2 年	H26.4.1	H28.3.31	医歯薬生病の教授、准 教授及び講師から若干 名(実際には2名選出) (少なくとも1名は女性) ※医学として	医・歯・薬・病・生の輪 番
23	加速器・ビーム応用科学 センター複担教員	【放射】 納富 准教授		H26.4.1～			
24	学生生活・修学相談室 相談員	【検査】 藤本 教授 ----- 【看護】 樗木 教授	(2 年)	H26.4.1 ----- H26.4.1	H27.3.31 ----- H27.3.31		〔部門内〕学生委員会 委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
25	国際化100人委員会	【看護】 平野 准教授 【放射】 杜下 教授 【検査】 梅村 教授				医学から9名 (内、保健から3名選出)	各分野から1名選出
26	全学教育に関する情報処 理改訂ワーキンググルー プ	【放射】 有村 准教授		H26.4.1～			H20.6.5全学教育運営 会議承認に基づき設 置
27	全学教育企画委員会 (基礎科学科目)企画部会 〔情報処理科目〕	【放射】 大喜 教授					
28	情報通信基盤連絡会議	【放射】 有村 准教授		H26.4.1～		教員1名	元岡キャンパス等にお けるネットワーク (KITE)整備のための 連絡会議が名称変更
29	伊都キャンパスネットワ ーク	【放射】 有村 准教授		H26.4.1～			
30	総合情報伝達システム委 員会	【放射】 有村 准教授		H26.4.1～			
31	情報化推進企画小委員会	【放射】 有村 准教授		H26.4.1～			
32	基幹教育科目実施班員 ※理系ディシプリン科目班 生物専門チーム	【検査】 杉島 教授		H26.4.1～			H26新設

平成26年度
年 報

作成日 : 平成27年10月

発行者 : 保健学部門 平成27年度 年報委員会
杜下淳次
大喜雅文・中尾久子・加未恒壽・栢森裕三
藪内英剛・濱田裕子・渡邊壽美子

発 行 : 九州大学大学院医学研究院保健学部門
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1